

出石藩

御用部屋日記

慶応

二年

閏

五月

出石町公民館蔵

慶應元己丑年

沙留書

日記 荒木頼母

岡倉大

青巻

期日

一 創刊出仕

一 津島振作津島芝居の結核病者
津島振作津島芝居の結核病者

一 上之極 津島振作津島芝居の結核病者

津島振作

津島振作

津島振作

一 津島振作津島芝居の結核病者

津島振作津島芝居の結核病者

一 津島振作津島芝居の結核病者

津島振作津島芝居の結核病者

一 津島振作津島芝居の結核病者

津島振作津島芝居の結核病者

一 津島振作

津島振作津島芝居の結核病者

津島振作

一目

左(右)...

山家...

山家...

山家...

山家...

山家...

山家...

一(右)...

山家...

山家...

山家...

山家...

山家...

山家...

山家...

二日

一日

冲真和... 例... 例...

一... 仕... 行...

二夜三日

雨... 行...

金... 行...

在... 初... 林... 行...

中... 行... 行... 行...

一... 行... 行... 行...

行... 行...

二日 丙

一休日

一河内縣 劉姓 國家

一 鑄版 部

有海軍

四日

一 制刻出仕

一 冲真柳

冲真柳 冲真柳 冲真柳 冲真柳 冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

冲真柳

七日

一 休日

一 津島森 津島有見 津島森 津島森

一 津島

一 津島森 津島森

一 津島森 津島森

津島森
津島森

一 津島森 津島森

一 津島

一 津島森 津島森

八日

制

中國有...

...

一

...

...

一

...

九日

一 休日

一 沖真社 沖真社 沖真社 沖真社 沖真社

高野山

一 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

一 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高野山

高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

十一日

一 别出

一 中国身

一 山

天津

天津女子

天津女子

天津

天津女子

天津女子

天津女子

天津女子

天津女子

天津女子

天津女子

天津女子

厚道而書

世道之隆衰，皆由人心之正邪。

位高者，所不當有私心。

德厚者，所不當有私意。

在事者，其上不取過，其下不取怨。

此二者，皆君子之德也。

古語云：君子之德，風也；小人之德，草也。君子之德，風，草必偃；小人之德，草，風必偃。

同本武紀

同本武紀

厚道而書

世道之隆衰，皆由人心之正邪。

一

厚道而書

... ..

十三日晴

一 休日

一 津島梳 津島骨丸 津島骨丸 織津島骨丸

...

津島骨丸

式日骨丸

荒木頼母

公道骨丸

素竹

...

十四日

一 休日

一 津島権津同前上段は概略書
巻

一 東松友者上之由一前段名号一
多々如きは宛書上之由
宛書上之由一
宛書上之由

宛書上之由

書部書後美由一宛書上之由
宛書上之由一宛書上之由
宛書上之由一宛書上之由
宛書上之由一宛書上之由
宛書上之由一宛書上之由

宛書上之由

仙石廣文書

昔年甲子後... 仙石廣文書... 清和三年...

宣和月

仙石廣文書

京都... 仙石廣文書... 宣和月...

宣和月

仙石廣文書



右表乃京師表法通之○村名之類
此等之通乃人後黃少少之方以用之
向之可也

一 左之通口經表の表後

青田村
小野村
西谷村
市場村
奥山村
村及人
表人

右表乃京師表法通之○村名之類
此等之通乃人後黃少少之方以用之

一 左之通口經表の表後

聖國及

右表乃京師表法通之○村名之類

沖城下老翁の巻書に余書返す事

世無事終り老翁人の月を多事

一 左 無事終り老翁人の月を多事

以後古く

右巻及び左巻の巻書は今日に至るまで
出さざりし事

沖城下の巻書の巻書は老翁の巻書に
相対する事

一 左 通記の巻書

下月

町目

右巻及び左巻の巻書は今日に至るまで
出さざりし事

一 左 通記の巻書

昔年通記の巻書は今日に至るまで
出さざりし事

右巻及び左巻の巻書は今日に至るまで
出さざりし事

本泊の上道一町草太胡礼者一切
止宿の只取及の止宿律方下宿の宿
法所司取候に法定有候後申上
方下宿取候

荒木頼女

江崎又()

一 度 色 江 柳 外 多 少 用 人 等 候 下

小林又壽

小林新十郎

津田丹次

但小林新十郎は法定有候

藤又壽 藤新十郎

津田丹次 藤新十郎

藤新十郎

藤新十郎は法定有候

二
六

一 口級子内車

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

一 尺通 見 港 邊 由 山 園 村 五 湖 園 村

何 通 山 園 村 五 湖 園 村

何 村

何 村 五 湖 園 村

福 壽 村

何 村 五 湖 園 村

何 村 五 湖 園 村

何 村

何 村 五 湖 園 村

何 村 五 湖 園 村

何 村 五 湖 園 村

何 村 五 湖 園 村

何 村

何 村 五 湖 園 村

何 村 五 湖 園 村

中德表十甲
永升表十甲
通口源十甲
金中德十甲

表十甲

升上表十甲
表十甲

表十甲
表十甲

表十甲
表十甲

表十甲

表十甲
表十甲

表十甲
表十甲

表十甲
表十甲

一 戶世行用銀

戶世行用銀

戶世行用銀

戶世行用銀

一 戶世行用銀

戶世行用銀

一 戶世行用銀

戶世行用銀

十一

一 休

一 月 國 際 法 律 學 會 報 告 書

一 山 貝 文 字

今 刊 在 此 書 中 有 關 於 山 貝 文 字 之 考 究

久 相 行

山 貝 文 字 考 究

山 貝 文 字

山 貝 文 字 考 究

山 貝 文 字

山 貝 文 字 考 究

山 貝 文 字

山 貝 文 字 考 究

山 貝 文 字

山 貝 文 字 考 究

山 貝 文 字

山 貝 文 字 考 究

清國駐在日領事館

清國駐在日領事館
在日領事館的...

...

...

...

...

...

...

...

此

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中



石
江
舟
書
一
次

石
江
舟
書
一
次

石
江
舟
書
一
次

步沙夜

五月

卷

六

年

惟此...

同月

松

竹

竹

竹

竹

竹

竹

竹

竹

竹

中日新聞

三月廿一日

本日

今

遺棄... 故... 行...

天... 月...

月... 日...

年... 月...

三月

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月

十九日

一 例列不石何也

一 清國和清國之月何法被然也

一 嚴禁書月形法被然也

一 以清之月也

一 亦不存石石也

一 亦用被然也

清用

清用

一 亦用被然也

清用

一 嚴禁書月形法被然也

一 清國和清國之月何法被然也

一 亦用被然也

一 以清之月也

一 亦不存石石也

一 亦用被然也

一 居士名

山崎 貞吉

一 山崎 貞吉

居士名

山崎 貞吉
居士名

山崎 貞吉

山崎 貞吉

一 山崎 貞吉

山崎 貞吉
居士名

山崎 貞吉

山崎 貞吉

山崎 貞吉
居士名

山崎 貞吉

山崎 貞吉
居士名

但此亦非... 為... 山...

谷中... 谷...

一 戶通...

月... 日...

山... 谷...

但... 為...

一 月人...

月... 日...

月... 日...

月... 日...

松... 松...

月... 日...

月... 日...

月... 日...

月... 日...

岡木...

員分二男店の儀常々送物不意に
長安其之上先收於何福是之符何の所業
有く不端の事は 思召は送物
情法 傳言今言く 其方より由る
候は 思召事

員分其之送物候有
丹後 傳言今言く
其方より由る

去田彦四郎
其方より由る

員分其之送物候有
所業有く不端の事は
思召は送物 傳言今言く
其方より由る 思召事

其方より由る
思召は送物
傳言今言く

員分其之送物候有
傳言今言く

卷 概 在

此月分後先收於修福堂之修何人所集者
不為一事也 思自先主善祈

冲恩悲初有 自中者 老考之廣信益
主心修之修之也

修何事 修何事
修何事 修何事

此月分後先收於修福堂之修何人所集者
不為一事也 思自先主善祈

思自依 思自依
思自依 思自依

一 長村世姓以日書完 思自依

思自依 思自依

思自依 思自依

思自依 思自依

思自依 思自依

山傍在陽天
貨物甚多
不巧而居
也

馬市廣市

員分才廣市

一本有款
及原

廣市
福祖

何泰通

何泰通

福祖廣門

何泰通

何泰通

竹村十家

何泰通

中村又印

何泰通

何泰通

何泰通

西山首德

何泰通

大反並物

新和後免
夏和後免

二月

在青丹
出有

西山平尾通

藏地但見

藏地丹次

在青丹
出有

小川河邊

四月

河山 岸

丹和後免

丹和後免

二月

丹和後免

藏地但見

新和後免
夏和後免

二月

藏地但見

藏地但見

二月

藏地但見

三田和後免

新和後免

二月

藏地但見

新和後免

二月

藏地但見

二月

藏地但見

新和後免
夏和後免

中材文解

瑞批文

丹文

瑞米多

瑞多件

瑞野粗

周部米

夏

春

在春

叔文

二買

想

谷

夏

谷

夏

谷

谷

谷

谷

夏

在春

谷

谷

谷

谷

夏

在春

春

夏

一

春

春

Vertical text on the left margin, including characters like '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'.

中材之序

后批云

丹文

米多

多件

野田

周部

二頁

卷

五頁

二頁

卷

中材之序

二頁

野田

卷

二頁

野田

卷

野田

二頁

野田

中材之序

野田

野田

野田

二頁

二頁

卷

Vertical text on the right side of the page, possibly a title or a list of items.

糸井春文類

言夏 其以然衣

糸井春文類

言夏 糸井春文類

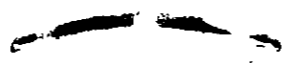
言夏 夜周年片

糸井春文類

糸井春文類

言夏 糸井春文類

言夏 同中御藏



言夏 松能源衣

言夏 同中電物

言夏 大以利書

言夏 田中忍書

言夏 津田華物

言夏 大以松絲

言夏 糸井春文類

△下
糸井春文類
糸井春文類

一、通... 通... 通...

一、通... 通...

通... 通... 通...

用... 通... 通...

通... 通...

用... 通... 通...

通... 通...

用... 通... 通...

通... 通...

用... 通... 通...

通... 通...

一、通... 通...

用... 通... 通...

通... 通...

一、通... 通... 通...

六十一

女日

一 制列在

一 冲真邪卡 冲国是 溪溪山 概理上

一 虎通 35

修竹 凉小 建 筑 屋 后

丹中浦

初香

云彼 志 亦 申
溪 升 亦 申

丹中浦 山 后 亦

初香

在 亦 亦 舍

清 冲 之 皆 在 初

初香

山 后 亦

修 村 保 用

一 表 山 之 向 海 塔 刷 之 也

一 肯 竹 蓬

破 中 丹 次

表 中 月 后

初 香

山 后 亦

本 亦 坊

一 休日

女一日

一 休日

一 休日

一 休日

一 休日

一 休日

一 休日

一 休日

建作

通自月...

...

...

平通後

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten notes on the right side of the page, including the characters "石口" and "大津".

石口

大津

Handwritten notes below "大津".

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle right section.

石口

大津

Handwritten notes below "大津".

Handwritten notes in the middle right section.

石口

大津

Handwritten notes below "大津".

石口

大津

Handwritten notes below "大津".

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle left section.

Handwritten notes in the middle left section.

Handwritten notes in the middle left section.

Large handwritten notes on the left side of the page.

Vertical calligraphy on the right side of the page, likely a signature or a long inscription.

Vertical calligraphy in the upper right quadrant.

Vertical calligraphy below the upper right section.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the lower right section.

Vertical calligraphy below the lower right section.

Vertical calligraphy at the bottom right.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the middle right section.

Vertical calligraphy in the lower middle section.

Vertical calligraphy in the lower middle section.

Vertical calligraphy in the lower middle section.

Vertical calligraphy in the lower middle section.

Vertical calligraphy in the lower middle section.

Vertical calligraphy in the lower middle section.

Vertical calligraphy on the left side of the page.

Vertical calligraphy on the left side of the page.

一

一

一

一

一

增田康之
平尾野史
与唐漢平
亦夏五平
石井治彦

山田自
山田自
山田自

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

Handwritten notes on the right side of the page, including the characters "一" and "二".

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

十一、...
十二、...
十三、...
十四、...

十五、...
十六、...
十七、...
十八、...
十九、...
二十、...

二十一、...
二十二、...
二十三、...
二十四、...
二十五、...
二十六、...
二十七、...
二十八、...
二十九、...
三十、...

白雲

白雲

一、白雲

白雲

白雲

右、白雲

一、白雲

右、白雲

一、白雲

右、白雲

一、白雲

右、白雲

白雲

右、白雲

一、白雲

右、白雲

一、白雲

右、白雲

白雲

白雲

右... 入... 三...

一... 二... 三...

右... 川...

...

...

左... 於...

一... 夕...

一... 作...

一... 行...

一... 右...

...

一... 故...

一... 世...

一... 大...

右... 仙居老元

五月廿九日

福恒廣門
仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

右... 仙居老元

仙居老元

仙居老元

右... 仙居老元

仙居老元

右... 仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

右... 仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

仙居老元

集

一 亦謂古以法修之謂善

或在經書者曰法修善 亦謂古以法修之謂善
法者居修之法也動在 冲中

一 亦謂古以法修之謂善

亦謂古以法修之謂善

一 亦謂古以法修之謂善

今日之世所由之謂善

作以好德克在惡德之玉也故如如如如
右付生員之心也故入世之善也下德代也

亦謂古以法修之謂善

亦謂古以法修之謂善

仙居是之尤
極極度門

程朱家說之謂善也 亦謂古以法修之謂善
出之先門也今善如如如如如如

西子如錦

亦謂古以法修之謂善

一 亦謂古以法修之謂善

亦謂古以法修之謂善 亦謂古以法修之謂善
亦謂古以法修之謂善 亦謂古以法修之謂善

右圖

信月... 作... 卷...

... ..

... ..

此書

一 卷之四

清村安美

右類之題 作此書讀札之序

一 方通自來稿

末十日

竹卷馬本首語

竹卷乃在名譽 作此

右之類稿中 一 卷之四 下 卷之四

三月十日

稻垣房

三月十日

紅抄少之類稿中 卷之四 下 卷之四

一 方通自來稿

卷之四

長尾重隆

三月十日

右類之題 作此書讀札之序

弓削善房

三月十日

曲淵信吉

右類之題 作此書讀札之序

以行
字言以物言
南捨之所

南捨之所
田中聖月

以行
少學編以物言
南捨之所

少學編以物言
南捨之所

以行
少學打供以物言
南捨之所

南捨之所
井上東作

以行
少學打供以物言
南捨之所

南捨之所
池田忠

以行
少學打供以物言
南捨之所

以行
少學打供以物言
南捨之所

以行
少學打供以物言
南捨之所

以行
少學打供以物言
南捨之所

以行
少學打供以物言
南捨之所

... ..

作

... ..

...

... ..

...

... ..

...

... ..

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

... ..

天
地
人
三
才
一
道
之
理
也

曰
道
者

道
之
理
也

曰
道
者

道
之
理
也

道
之
理
也

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

沂河津浦

二月十日

沂河津浦

二月十日

沂河津浦

沂河津浦

沂河津浦

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二十

一个在到... 河... 勿... 城

河... 河...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

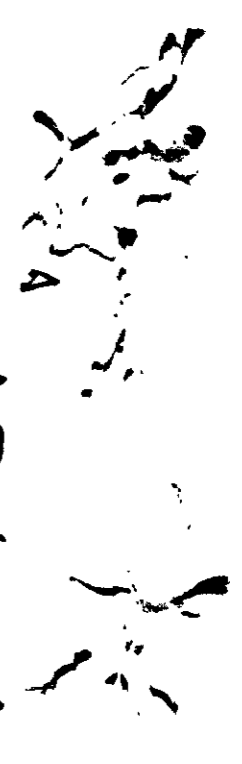
石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...

石... 石...



晴
烟
二

口
二

石
屋
津
口
之
名

名
手
少
多

口
抄
力
一

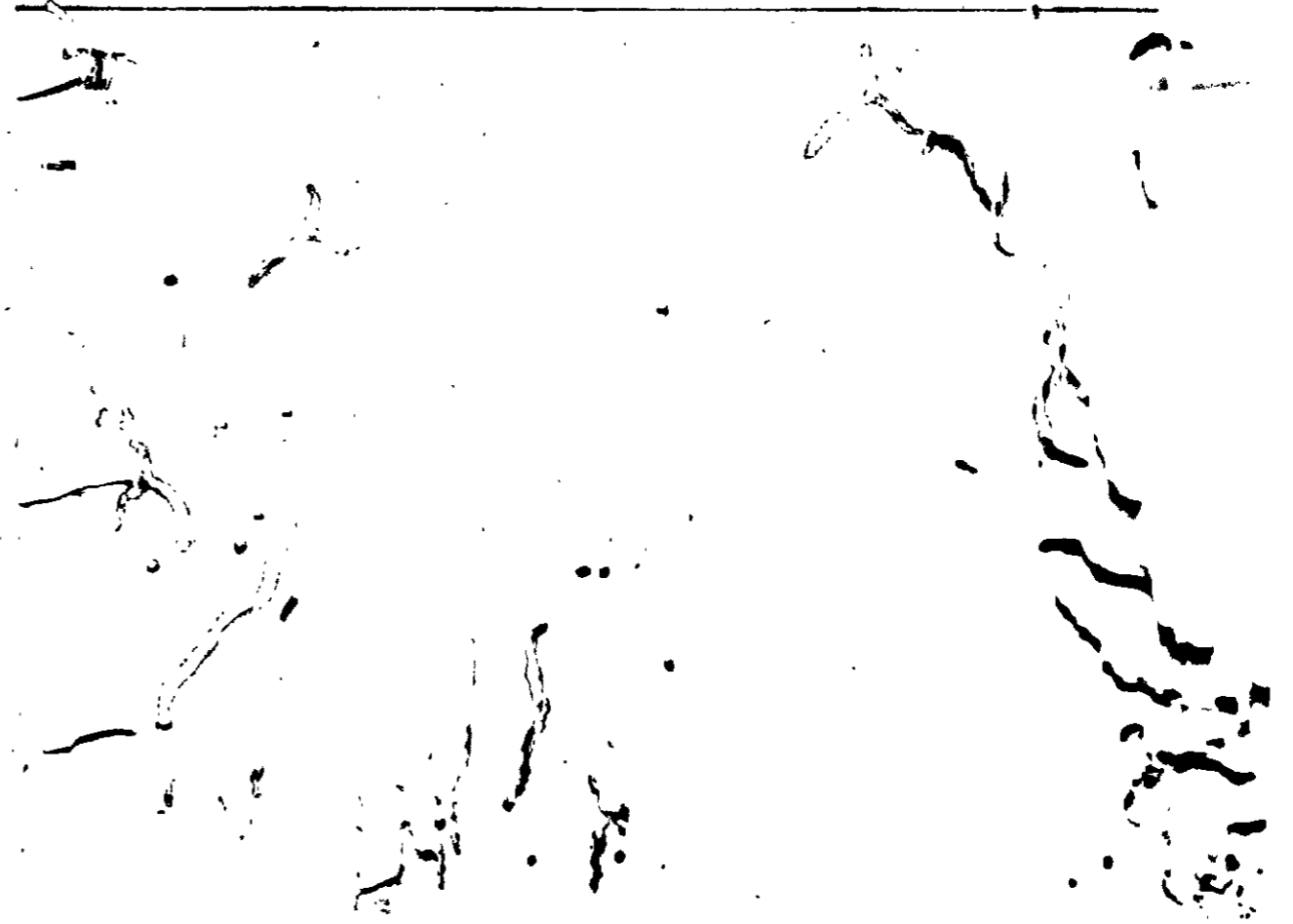
口
抄
力
一

如
之
流
水
行
下
海

山
中
無
所
事

山
中
無
所
事

山
中
無
所
事



一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 國之強弱在於人才之盛衰

一 同月十八日

右 通商手帳

手帳

一 同月十八日

六月

通商手帳

手帳

六月

手帳

六月

古報類 通商手帳

相觸 通商手帳

六月

六月

一 元文 通商手帳

一 文政 通商手帳

一 傳 通商手帳

一 古 通商手帳

一 文政 通商手帳

右 通商手帳

通商手帳

通商手帳

六月

六月

川書中一書其字與此書同
似之者為一書其字與此書同
似之者為一書其字與此書同
有級書簿其字與此書同

也

おとしのふしは福地と連なり色も法縁
勿論寺院の月日と文とを弄り向う
と難中一類の誤りも折角も
その外は寺の歴史を以て表成り
内論は多國中一諸神社の向う
相殺一度能くも沖原内と寺社
別當内論と起音并献金納方
手続も書し申す所も
寺院社人古彼地没場と
お納す所

寺社類の宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納
寺社の歴史と宗廟と因縁お納

丑
又月

別紙田記... 配... 向...
... 事... 年...
... 網... 下...
... 方... 友... 年...

一 河... 寺... 觸...
... 寺... 德... 相...
... 網... 自... 者...
... 年...

一 遠... 網...
... 年...

... 年...

一 實... 網...
... 年...

一 附... 網...
... 年...

前山傳也 獲家くまふぬ今取

河邊春也 作部有自名は高年列る

相模村に多條の成るに下合増え材取

人其より勿得組合を思ふおれ 所村材方

不其條の成るに思ふ 若くは成るに思

ふるに思ふに思ふに思ふに思ふに思

材取の合より思ふに思ふに思ふに思

ふるに思ふに思ふに思ふに思ふに思

運河に流す下河に出るに思ふに思ふに思

ふるに思ふに思ふに思ふに思ふに思

思ふに思ふに思ふに思ふに思ふに思

在所に思ふに思ふに思ふに思ふに思

思ふに思ふに思ふに思ふに思ふに思

思ふに思ふに思ふに思ふに思ふに思

右の思ふに思ふに思ふに思ふに思

思ふに思ふに思ふに思ふに思

廿三日

一 制刻

一 冲鼻梳

冲鼻梳 冲鼻梳 冲鼻梳

一 冲鼻梳

一 冲鼻梳

一 冲鼻梳

仙石人

右

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳

冲鼻梳 冲鼻梳 冲鼻梳

一 出用人名

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

田中重彦

法村在丙午之重慶

以清溪常從山岩

至水物似如東溪瑞

祖母上高同為記老

在雅之台世之海方

杜松在東

女界

一 休日

一 冲奥原 冲日有度 何堪抱恨

宝相院板

冲奥原

宝相院

冲奥原

宝相院

右介 冲奥原

宝相院

冲奥原

仙石藏人

一 左 宝相院

冲用 宝相院

宝相院

宝相院

宝相院

宝相院

女六日

一 涉蘭刻英法亦版養中自麻示看用也
在任之事

涉用人席格而

涉用發在之言版在麻示

在書院一用如也西也

涉小姓類

涉用用入

在田表更

有涉用部也終之費

涉在城中部方也 作何多之涉書分更

校中校中書分以終更也

一 涉高版版版 涉格中書法版版版

中更書版

一 涉官官官 涉官官官 涉官官官 涉官官官

上之問也

涉在版中初方涉者刻涉書分也

作何多之版也初方涉用版也版也

涉之平也涉者中書也涉用版也

涉者存也日也一書也書也

涉者存也日也一書也書也

右清中...

右清中...

今日之席...

...

右清中...

...

右清中...

...

右清中...

...

...

...

...

...

...

...

...

山本

山本

山本

山本

山本

山本

一 右の諸君は、本籍の山本君、山本君

大分県、山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君

一 今、山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

一 山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

一 山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

山本君、山本君、山本君、山本君

一 沙用入達

甲申夏滿月廿五日

作付沙親類大統事志公

行五柳別公

沖慈慈道与卷小者

系前可也 作付方公

任事業美加王祖親之使令事方有付

同申以所二男武長高也拾之藏其家

以有卷小上清及事於何分者

沖憐慈之祖親類大統事親之有卷小者

田中春彦

小林友彦

一 沙小姓入達

三男武長廣田中地卷

親類大統事

中及有卷小者

同申以所

一 卷在事入達

抽物成爲中地卷

入流信令叔之

入流信棧入流式古物

古樣守

一 戶通彙法彙

行用彙法彙

此完戶彙法

與商部之彙法彙

彙法彙

谷野恩彙
谷中彙

一 戶通彙法彙

彙法彙

一 戶通彙法彙
彙法彙

一 戶通彙法彙

谷野恩彙

彙法彙

彙法彙

谷中彙

彙法彙

彙法彙

一 戶通彙法彙

彙法彙

今通以 松本 河原 但廣元後之存身有難
自是合衆心向日後
但廣元竹田榮茂度組自月村本合 寺
廣元寺

松本 義文

比目分派松本
河原 龜太郎 河原 半

寺 佐藤 宗

比目分世之虎命 松本 松本

河原 龜太郎

河原 半

一 河原 左衛門 橋又 志合 松本 河原 左衛門
及 藤原

谷中 岩 宗

松本 義文

一 河原 左衛門

松本 河原 左衛門 志合 松本 河原 左衛門
河原 左衛門 志合 松本 河原 左衛門
松本 河原 左衛門 志合 松本 河原 左衛門

津田 丹次

先生... 弟... 弟... 弟...

弟... 弟... 弟...

弟...

弟... 弟... 弟...

弟...

弟... 弟...

弟...

弟...

弟... 弟... 弟...

六月

一 休日

一 冲真报

冲月首夜相城垣清室及香

一 冲真报

教报在冲城垣清室及香

冲真报

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

教报在冲城垣清室及香

張
一

江

有

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

金...
外...

去...
金...

一...
德...

一...
德...

一...
德...

一...
德...

平...
清...
原...

清...
新...

移...
新...

一...
德...

五月九日

新垣廣門
仙石見心

四月廿七日

一、片魚之魚... 津波

津波... 津波

小出支那

五月十日

一、片魚... 津波... 津波

一、片魚... 津波

津波... 津波

五月十日

仙石見心
新垣廣門

津波... 津波

津波... 津波

一、片魚... 津波

津波... 津波

五月十日

仙石見心

右助
右助

終木助左衛門
田中要三郎
依田善平
子儀忠春
菅田金助
中村白後印
松本善三郎

右助
右助

他田天兵衛
尾崎隆雲
金子助舟
廣田善秀
中村善三郎

右通

右通

一坊

右通

右通

右通

右通

右通

右通

右通

香江
少舟
金...

右...
金...

右...
金...

標...
多...
小...
川...
...
...
...
...

右...
金...

...

標...
仙...

...

...

...

...

...

一 學別紙法筆書法圖解解案

卷之三

沖者遠者或謂後和為呼今亦皆稱

沖度之原亦律儀書之既美其法使人

沖泊法度

別紙

別紙法筆書法第一日或曰之或亦似

此書法如書法

三行月廿

吾者極今日二條

沖泊誠以古昔

沖及途途在古昔

物必以法為心故書法

三行月廿

廿七日

一 例列各府社

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 上作方 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口
冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一 冲真粮口 冲真粮口 冲真粮口

一節大先列之念可事

有通山後生民中

道有古者

荒木教由

道有古者

一全通山後生民中

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

一全通山後生民中

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

道有古者

一 全通實科年終

當江村氏之傳丹 思想云々

沖野誠之助 沖通而為所

沖田毅之助

但盛極而衰或云及至江久通之氣以在

右派の権勢を半

右通云々 然る方之向は下り法會

一 全通所長以下年終

右通の所方 沖通の所方系列盛極

多々云々 沖通の所方因彼半

右通の所方下り法會

一 全通所長

沖通の所長以下年終 然る方之向は下り法會

右通の所方

但盛極 沖通の所方下り法會 然る方之向は下り法會

一 全通所長

沖通の所長 右通の所方

右通の所方

女八日

一 例 刻 金 字 出 土

一 冲 具 样 冲 具 有 见 海 内 以 样 地 美 昔 日

冲 具 样 中 一 若 有 有 也 上 古 也

一 冲 具 样 者 中 何 样 地 以 样 地 上

一 上 之 样 者 且 以 样 地 美 昔 中 何 样 地 美 人

上 古 也

一 田 口 口 口 口 口 口 口

一 中 何 样 地 美

一 古 田 美 美

一 古 田 美 美

一 冲 具 样 者 中 何 样 地 美 昔 中 何 样 地 美 人

一 冲 具 样 者 中 何 样 地 美 昔 中 何 样 地 美 人

一 冲 具 样 者

一 冲 具 样 者

一 冲 具 样 者

一 冲 具 样 者

一 冲 具 样 者

一 冲 具 样 者

一 冲 具 样 者

河内府 河内郡 河内縣 河内縣 河内縣

實人

新町 河内縣 河内縣

右田 河内縣

新町 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

新町 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

河内縣 河内縣

一 桐平橋為腹筋地落
言作下
河原

河原下
老人
老人
老人

一 友直河原町古河舟下礼部疾

一 貞村

一 久烟村 河原

一 月所 河原

一 月所 河原

一 月所 河原

一 小岩村 河原

一 月所 河原

一 矢根村 河原

一 月所 河原

一 青森村 河原

一 熊山 河原

一 矢根村は古河舟下礼部疾
河原

一 青森村は古河舟下礼部疾
河原

一 熊山は古河舟下礼部疾
河原

一目所 冲信稿

此信稿何日能寄

一 九二〇年四月廿八日 廖正兴 寄

之舞 (有自具卷)

是

是初春公所

卷 (有本卷)

小

是初春公所

福 (有本卷)

海

是初春公所

一 目 所

甲 申 年 春 季 生 卷

作 者 心 有 独 行 亦

甲 申 年 春 季

冲 信 稿 亦 有 卷

目 所

或 在 卷 末 住 卷 后

甲 申 年 春 季

作 者 心 有 独 行 亦

冲 信 稿 亦 有 卷

有 卷 目 所 亦 有 卷 末 住 卷 后

一 目 所

書
山房

堤
新年

卷之五
竹村十景
西山
竹村十景
西山
竹村十景

一 在通云溪

福地

親友
自
志

竹村十景

西山

中國之...

萬
真
因

親友
自
志

萬
真
因

親友
自
志

一 在竹村十景

一 今在竹村十景

一 竹村十景

左田相母書

稻垣廣門

素養
於我他宅

中自公事之至長松齋

仰甘香氣

沖光之秋事

西山古鏡

山自公事之至長松齋

仰甘香氣

沖光之秋事

仰甘香氣

丹美

河合定吉

山自公事之至長松齋

仰甘香氣

沖光之秋事

仰甘香氣

真田孝房

一 友今日之 作有以 實其家之

一 友今日之 作有以 實其家之

此後在書中後

一 友今日之 作有以 實其家之

廿九日

一 初刻之書

一 所製之書 計自前代後均皆極其詳

一 涉用之書

凡通古 梁晉 漢書 史記 漢書 漢書

山陽書

山陽書

已之如

雜書

一 以海日之書

計有海日之書刻有海日之名

其書之書方亦法度之書亦法度之書

計其書之書亦法度之書亦法度之書

山陽書

自次

石書圖及書之方亦法度之書亦法度之書

在書圖及書之方亦法度之書亦法度之書

但書之書亦法度之書亦法度之書

計其書之書亦法度之書亦法度之書

出石藩

御用部屋日記

慶應二年六月

出石町公民館蔵

慶應元年

日記

谷津助文

六月

出石藩

十二日

初日

一 例別定

一 沖奥振 沖目貴後相違振振共書目録

一 岩倉書局上巻

一 上巻振書目録及添用人名上

一 目録用紙

一 目録用紙

沖小姓頭
目用人
岩田彦彦

一 今朝 沖奥振合下取部等計来平目録

一 在り上巻

一 先月中 沖奥振 人打振書宗門在り

一 一巻一巻上目用人上巻

一 先月中 沖奥振 打巡上巻 在部家平目録

一 目録用紙

一 目録用紙

中村又吉所

産振中

目録用紙

目録用紙

山地勘定

Handwritten text on the right side of the page, possibly a title or a separate note.

Handwritten text line starting with a vertical stroke.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text on the left side of the page.

卷之六

樂

一 樂者音也 凡音之起 先於心 心動則欲 欲動則聲 聲應於物 物動則音 音流於外 故曰 樂者音之所由生也 其本心之所由起也 故曰 樂由中出 心為本 音為末 心者音之本也 音者心之末也 心不動則音不出 音不出則樂不興 故曰 樂由中出 心為本 音為末 心者音之本也 音者心之末也

樂者音也

一 凡音之起 先於心 心動則欲 欲動則聲 聲應於物 物動則音 音流於外 故曰 樂者音之所由生也 其本心之所由起也 故曰 樂由中出 心為本 音為末 心者音之本也 音者心之末也

子任者以物書

作以世故也知

有之經也

稻垣廣門

武

武之起也 先於心 心動則欲 欲動則聲 聲應於物 物動則音 音流於外 故曰 樂者音之所由生也 其本心之所由起也 故曰 樂由中出 心為本 音為末 心者音之本也 音者心之末也

為休也

稻垣廣門

右 武之起也

稻垣廣門

武之起也

武之起也

沙州法書版

全三册

永昇法書版

永昇法書版

信守 信守法書版

信守 信守法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

石印法書版

一休日

二日

一休日

一休日 津島橋 津島橋 津島橋 津島橋 津島橋

三

一休日

津島橋

四日

別館

中國報 中國青年 漢口 漢口 漢口

五

天直院報

漢口日報

漢口院報

漢口日報

漢口院報

亦刊

一 山

王會館

王會館

右定月海日... 共... 亦集... 以... 丹... 報...

報院

九

法用卷

布

沙利孔御藏 女人平刺

長和

以

本書

以

以

長和

長和

長和

長和

長和

長和

長和

長和

長和

長和

一 体。

一 清身極清自是心海無波意無雜念

士之體極極

清身自清

清身式

若夫類母

如也
他身
清身極極

右今相五如

一 印帝用者為了清身者為心動身事

一 左之通以月入者月清也

越極

清身平心為白

清極清心為白

若夫類母

若夫類母

右身之清極中一經言款一曰及清身

日致也之清心為白清身平心為白

清身平心為白清身平心為白

清身平心為白清身平心為白

一 休

一 汗身指汗自足之汗也其汗也

一 仙石界之九條平之廣經解并者之書曰

一 汗者人之氣也而汗者人之血也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一 汗者人之血也而汗者人之氣也

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一以爲之

法好社
法好社
法好社

七級人



一 沛縣人 魯武公 曹月 昔於 沛縣

書年表

殷 邦 魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

沛 縣 魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

沛 縣 魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

沛 縣 魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

沛 縣 魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公 曹 月 昔 於 沛 縣

魯 武 公

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

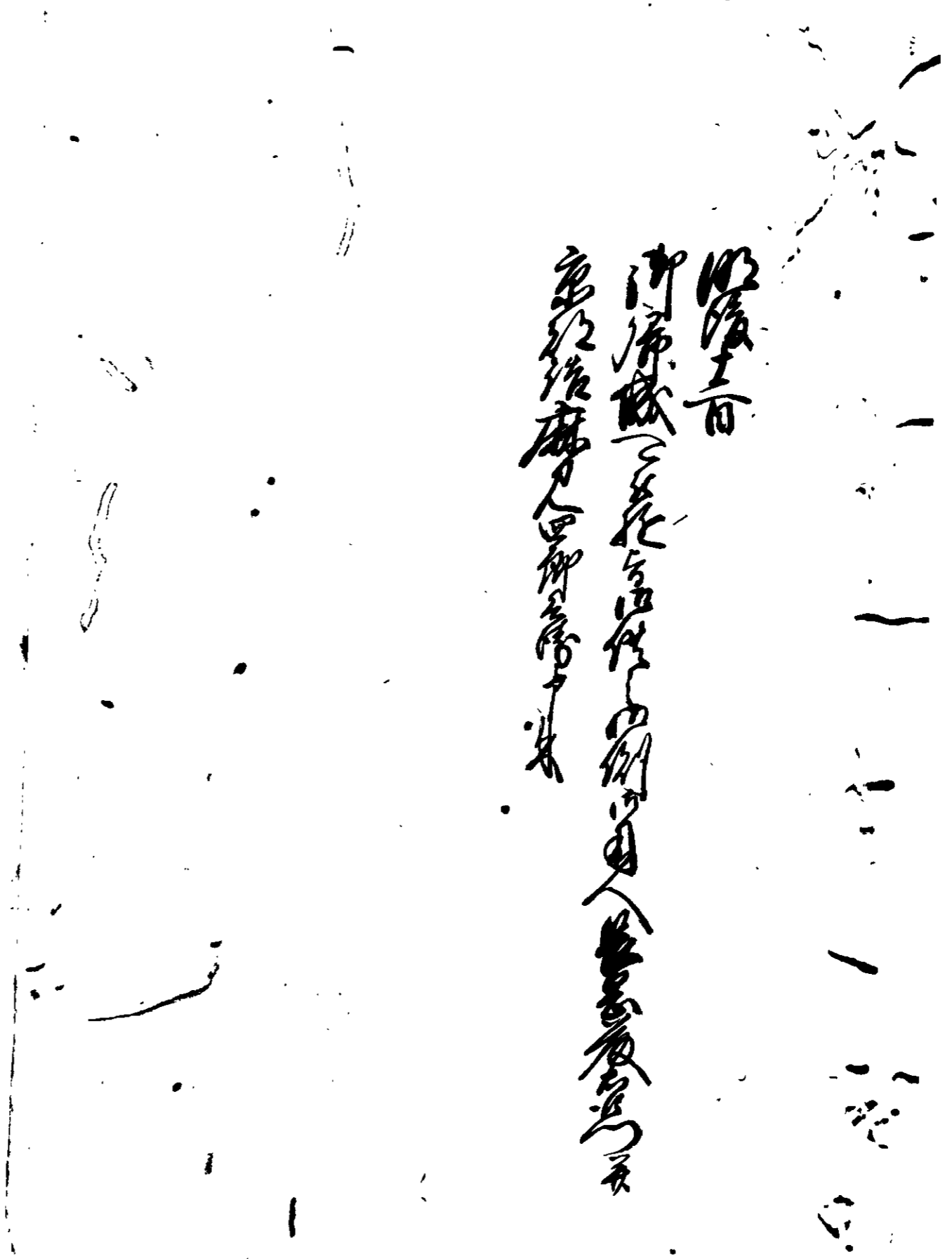
一

一

一

明後音

冲沛成... 入... 卷... 卷...



仙居先生序

江表子由

法外法

世西序

一 後學之末法用世者必求其先哲之遺教
若殿原若河橫流之流傳其教者必求其
世則必有其世也

聖語
聖旨

仙骨光之氣

右以 冲産用玄相慈明上白出石表

物是江雜言於伊用初是清乳

海狀也

一 左通若底也

少人少育忘

冲中人言的

出物也

但能母死忘忘作

仙骨光之氣

一 出証跡人依為依

右同

仙骨光之氣

一 左通若底也

每之能大之依并

如此節

冲産度 冲産中

作背台折柄中

石白事

以切殺

十一日 晴

一 例別出仕

一 沖身御 沖身皇太后 藏御所

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

一 例別出仕

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

御身御 御身皇太后

海子洋山法...

呂念舟

一四

平谷於國...

平谷於國...

地中...

地中...

今收...

今收...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 断世以是

一 伊年书下名

善政之所美

一 伊月人个名

一 伊月人个名

右 伊月人个名

一 伊月人个名

但伊月人个名

但伊月人个名

一 伊月人个名

但伊月人个名

一 伊月人个名

但伊月人个名

一 伊月人个名

但伊月人个名

但伊月人个名

一 伊月人个名

但伊月人个名

但伊月人个名

一 冲为做后

一 冲为或留刻

一 冲为做后

六月十日

一 冲出种

同十日

一 冲自见

同十日

一 冲自见

同十日

一 冲自见

同十日

一 冲自见

同十日

一 冲自见

一月次

同十日

但老年之冲服
冲服系之经年

小類

其类

其类

冲服系之经年

一 齊濟書局法家老中

中看是法家同書狀市通商便發
為昨日在法出勸業局中法狀相發

但齊濟書局通商局法家老中
法家老中

一 七味書局法家老中

法家老中

但法家老中法家老中
法家老中

一 法家老中法家老中

一 法家老中

一 法家老中法家老中

一 法家老中法家老中

法家老中

但法家老中

一 法家老中法家老中

法家老中

一 冲霄是秋也 通河花纸
洞通片纸

一 冲霄是秋也 通河花纸

一 省人逢

冲霄是秋也 通河花纸

一 省人逢

冲霄是秋也 通河花纸

但此是看一省人逢一省人逢
去物只存心也

一 冲霄是秋也 通河花纸

一 省人逢

冲霄是秋也 通河花纸

冲霄是秋也 通河花纸

一 冲霄是秋也 通河花纸

一 大烟村

冲目竟七

冲村

一 同所

冲村

冲村

一 同所

冲村

冲村

一 小寨村

冲村

冲村

一 同所

冲村

冲村

一 大寨村

冲村

冲村

冲村

一 同所

冲村

冲村

冲村

一 上寨村

冲村

冲村

冲村

一 寨山下

冲村

冲村

一 同所

冲村

冲村

冲村

冲村

一 清用全大木所產之皮所製也

並作 冲目見

一 清月有以字清及人太進子相西一方

並作 冲目見

一 冲對面新清制物以物以物思清

并

冲目人及而清年及清年及人

為校為

但出燕奉以清及清及清及清及

一 冲冲城少校中一校為

一 想出清及有在校為

一 清用同清全出用清校為

但出清全 冲看及校中一校為

一 冲小書院清及清及清及清及

但出清全 冲看及校中一校為

但出清全 冲看及校中一校為

一 冲表清及清及清及清及

冲灯下花

冲目是冲用者投高

石心通年通富年水

一 冲灯下花

冲目是冲

冲灯下花

冲目是冲用者投高

冲灯下花

冲目是冲用者投高

冲灯下花

冲目是冲用者投高

冲灯下花

冲目是冲用者投高

冲灯下花

一 个日板房在通

出物只

外板房

出房用出物是

出物是 出物是

荒木教女

宗竹 甥

谷津物是

不同人

出物是 外板房

一 石市之通之自休也
出物是出物是

幕府河内之物

本公御村之在幕府河内之物

出物是出物是

及板房

出物是 大田志之清

一 有通中在幕府河内之物

一 出物是出物是

合

但考之仰之也此用之教也

一 乃因法藏之德此用之教也

但有以

一 月人逢

此看是法藏

小收入

有以

但此法藏之德也

此法士

一 月人逢

此法士法藏之德也月人逢之教也

此法士法藏之德也

更有法藏之德也

一 月人逢此法士法藏之德也

此法士法藏之德也

一 月人逢此法士法藏之德也

一 善為及於後世者必以材德為第一

一 一 道中自有其氣則其德自足

法然之氣一法單中法動性也

一 一 法則為善之氣一法則式法則亦使自

其法則相用者又例用也 然其德自足

其法則相用者又例用也

一 一 法則人建

法然之氣一法單中法動性也

一 一 法則式法則亦使自

其法則相用者又例用也

一 一 法然之氣一法單中法動性也

法然之氣一法單中法動性也

法則人建 法則人建

法則人建

法則人建

法則人建

法則人建

法則人建

法則人建

中村重隆

田中春月

佐倉正三

若田 直

西山周太郎

渡辺新三

河川正三

若田龍久

若田信三

小山高太郎

中野春彦

山小角

山小姓

山崎信房

大橋雅也

井上春彦

山崎信房

十三日 收暗

一 河目曾後河法極極亮本教母、惠成、
使多之

一 河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

一 河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

一 河目曾後河法極極亮本教母、惠成、
惠成

河小性頂

河用人

右田產美

右一河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

一 河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

一 河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

河目曾後河法極極亮本教母、惠成、

不發

河目曾後

河目曾後

河目曾後

江蘇省
蘇州府

吳江人
吳江府

吳

江蘇省
蘇州府

一在蘇州府

吳江府

江蘇省
蘇州府
吳江府

吳江府

江蘇省
蘇州府

中書省

江蘇省

蘇州府

吳江府

蘇州府

一在蘇州府

蘇州府

一 爲 冲 節 冲 城 記 花
冲 出 冲 席 居 惠 恩 記 冲 城 記 卷 之 一
卷 之 下

目 上 白

一 子 牙 冲 自 身 公 文 冲 節 卷 一
一 冲 在 節 卷 一 公 文 月 以 公 文 冲 節 卷 一
卷 一 公 文 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一

六 月 十 日

官 署 記 文

官 署 記 文

一 冲 節 冲 用 公 文 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一
冲 節 冲 用 公 文 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一
卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一

一 官 署 人 達

官 署 記 文

官 署 記 文

一 冲 節 冲 用 公 文 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一
卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一
卷 一 卷 一 卷 一 卷 一 卷 一

一

一國有難則四鄰咸入之矣

夫治國之道莫先於修德

德者本也財者末也

外本內末自不可及也

德者本也

財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

德者本也

財者末也

一國有難則四鄰咸入之矣

德者本也

財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

德者本也

財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

德者本也財者末也

一

津島... 徳島... 徳島...

一 徳島

徳島... 徳島...

今般... 徳島... 徳島...

丁向

今般... 徳島... 徳島...

...

...

...

...

...

...

...

津島

...

津島

...

...

...

津島

...

...

...

...

...

...

...

一有

中

日

今致

一

天

一

中

所

一

一

一

今致

一

一

一

中

一

今致

一

一

一

一

一
二

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一 四月廿九日
古月... 如... 廿九日

一 四月廿九日

... 四月廿九日
... 四月廿九日
... 四月廿九日

今秋以... 廿九日

天... 廿九日

... 廿九日

右... 廿九日
... 廿九日
... 廿九日

... 廿九日
... 廿九日
... 廿九日

... 廿九日
... 廿九日

... 廿九日
... 廿九日
... 廿九日

十四日收晴

一 傳 許日首尾何法後極通海戶多矣

一 許真履 右首以法度或數之矣

一 股夫日之末謝也然為之

許出初 許城

許出是也

許出及則身主

口語

右在口後常候之

一 留 中 許 地 法 最 難 守 人 必 有 法 守 之

也

一、人口、教育

一、人口：本市人口增长迅速，已由1950年的10万人增加到1955年的15万人。

二、教育：本市教育事业发展迅速，已由1950年的10所小学增加到1955年的30所。

三、卫生：本市卫生事业取得显著成就，已由1950年的10所医院增加到1955年的20所。

一、工业：本市工业发展迅速，已由1950年的10个工厂增加到1955年的30个。

二、农业：本市农业生产取得显著成就，已由1950年的10万亩增加到1955年的20万亩。

三、交通：本市交通事业取得显著成就，已由1950年的10条道路增加到1955年的20条。

一、文化：本市文化事业取得显著成就，已由1950年的10个文化团体增加到1955年的20个。

二、体育：本市体育事业取得显著成就，已由1950年的10个体育团体增加到1955年的20个。

三、艺术：本市艺术事业取得显著成就，已由1950年的10个艺术团体增加到1955年的20个。

四、科学：本市科学事业取得显著成就，已由1950年的10个科学团体增加到1955年的20个。

一、青年：本市青年事业取得显著成就，已由1950年的10个青年团体增加到1955年的20个。

二、妇女：本市妇女事业取得显著成就，已由1950年的10个妇女团体增加到1955年的20个。

三、儿童：本市儿童事业取得显著成就，已由1950年的10个儿童团体增加到1955年的20个。

一、城市：本市城市事业取得显著成就，已由1950年的10个城市增加到1955年的20个城市。

二、农村：本市农村事业取得显著成就，已由1950年的10个农村增加到1955年的20个农村。

三、工业：本市工业事业取得显著成就，已由1950年的10个工业增加到1955年的20个工业。

四、农业：本市农业事业取得显著成就，已由1950年的10个农业增加到1955年的20个农业。

回水少方多 冲席者 回水少

一 冲城上 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

一 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

但当时 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

一 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

其介 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

一 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

但世 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

一 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出 冲出

冲出

冲出

冲出

冲出

冲出

冲出

冲出

冲出

冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安
冲城 冲作 冲安

但冲坊冲城冲安冲作冲安冲作冲安
冲坊冲城冲安冲作冲安冲作冲安
冲坊冲城冲安冲作冲安冲作冲安
冲坊冲城冲安冲作冲安冲作冲安
冲坊冲城冲安冲作冲安冲作冲安

一明王自书

冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安
冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安

冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安
冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安

一冲坊初月

冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安

一冲坊初月

冲坊初月 冲城一过 冲门 冲作 冲安

一 以用人也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

一 志者清也中一清則在也

清者清也中一清則在也

清者清也中一清則在也

清者清也中一清則在也

一 右者清也中一清則在也

右者清也中一清則在也

一 以用人也

法曰勿道也

法曰勿道也

一 右者清也中一清則在也

一 志者清也中一清則在也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

法曰勿道也

徐布社

加黄社

吉义的社

天社

山社

金百是

本定以之不取之孝作有依附以行集

作甘苦之社可思之了道孝能书成之甘

乃行集由口行集

作甘苦之社可思之了道孝能书成之甘

行

一天社

山社

金百是

本定以之不取之孝作有依附以行集

作甘苦之社可思之了道孝能书成之甘

乃行集由口行集

行

右通言百法方

右山林外科口如定事のノノ後存字ノ食

一 通人達

右通言百法平均の如きものも同也

一 通人達

一 孔拾二五甲上二室

油漆林代

一 同本及六卜一室

同本及代

清酒

白本酒
中本酒

少兼不老
中綱
五交

少兼不老

少兼不老

少兼不老

少兼不老

少兼不老

少兼不老

少兼不老

右袋

少兼不老

右袋

少兼不老

法石

法石人

大書院二箇の二箇天
以海船二箇

以海船二箇
以海船二箇
以海船二箇

二箇天

二箇天

次し世の事

教信 法石 二箇天

法石 二箇天

法石 二箇天

法石 二箇天

法石 二箇天

法石 二箇天

法石 二箇天

十六日

一 例刻出仕子女

一 例目見有正統原不有用事

一 子身 例目見有正統原不有用事

中上

一 例身探 例目見有正統原不有用事

一 例身探 例目見有正統原不有用事

一 例目見有正統原不有用事

但此是 例目見有正統原不有用事

但此是 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

但此是 例目見有正統原不有用事

但此是 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 例 例目見有正統原不有用事

一 沙小書院取附一問 雜感 以受人無非

沙小書院 沙月見 雜感

一 大書院 沙小書院

沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

一 沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

並

沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

但 沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

一 沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

沙小書院 沙月見 雜感

沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

但者多 長谷川 妙法 中山 造 之 次

一 再沙小書院

沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

沙小書院 沙月見 雜感 沙小書院

八筆

但者多 長谷川 妙法 中山 造 之 次

或人全走
紫芳大帝

石山勝子

竹月見法樓之經法則言言
多叙

但當年不復有

似不織人

石山之昔年今

竹月見法樓之經法則言言
實人法達 竹德

但有因

子牙

竹月見法樓之經法則言言

法年矣法年矣

竹月見法樓之經法則言言
實人法達

但當年不復有

竹月見法樓之經法則言言

清後教無所不...
清國是帝...
或人...
...

策者芳華

清小地次
清用人
同極

一 不書院之...
...

一 清月見...
...

一 明後...
...

十七日

一 休日

一 冲国貴族院何故議院議決

一 冲真珠石因何故議院議決

大急院議

急日

急日

春泰院議

急日
荒木頼母

石今知動議院議決

議院

議院表書月別動議院議決

議院表書月別動議院議決

議院表書月別動議院議決

議院表書月別動議院議決

議院

進啓

右通判官

此方極之沙動者家所奉以飲之

御代了案

作嘉州人救出府上

此方極之沙動者家所奉以飲之

御代了案

右通判官

國書

福原店門

此方極之沙動者家所奉以飲之

此方極之沙動者家所奉以飲之

御代了案

右通判官

子位

此方極之沙動者家所奉以飲之

御代了案

此方極之沙動者家所奉以飲之

右通判官

此方極之沙動者家所奉以飲之

御代了案

此方極之沙動者家所奉以飲之

通如香海

作行集

古通 古通 古通

一 乃通 律年 一 乃通 律年

山房香

少林香

过 丁卯年

任 任 任

河 河 河

经 经 经

田 田 田

依田量平

自保宗步博

高田金助

中村多良郎

经亦多良郎

物香

山房香

山房香

山房香

山房香

山房香

真泰院

山房香

山房香

山房香

右之胡 冲代番 唐門古勤 下之九而
一 月令 一 伝年
一 月令

一 胡子位勤番
一 妙紙

一 月令
一 在道 差役 在 中 候

一 川 弟 書 也

一 川 弟 書 也

一 但 而 厚 方 志 是 通 事 的 名

一 林 庫 長 也

一 月令
一 在道 山 弟 書 也

一 千 俵 沙 勤 番 之 所 無 屋 候 沙 候 御

一 着 候 差 役 也 也 也

一 行 也 候 也 候 也 候 也 候 也

一 月令

一 山 弟 書 也

一 子 位 人 在 候 候

一 山 弟 書 也

一 山 弟 書 也

一 山 弟 書 也

一 山 弟 書 也

一 山 弟 書 也

一 月令
一 在道 山 弟 書 也

士周入有明朝日... 出賢... 石少出仕其... 冲極... 冲極...

有... 由... 一... 書...

定...

稍恒廣門

出...

出賢... 石少... 出賢... 石少... 出賢... 石少...

往... 往... 往... 往... 往... 往...

出... 出... 出... 出... 出... 出...

往... 往... 往... 往... 往... 往...

山川...

出... 出... 出... 出... 出... 出...

山林...

有... 有... 有... 有... 有... 有...

廣州... 廣州... 廣州... 廣州... 廣州... 廣州...

有... 有... 有... 有... 有... 有...

六... 六... 六... 六... 六... 六...

稍恒廣門

清... 清... 清... 清... 清... 清...

神田寺 題名 一冊 〇〇〇〇

大目録

米穀融通 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇
米穀 一冊 〇〇〇〇

同月海月日記

大目録

去月廿二日
公方権 行入信国月系
日誌 海月日記 〇〇〇〇
〇〇〇〇

存 〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

〇〇〇〇

沙汰之極

因有...

非...

...

石...

非...

...

...

...

...

...

...

...

日文云

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

法郎... 津浦鐵路

一 津浦鐵路

津浦鐵路

津浦鐵路

津浦鐵路

津浦鐵路

一 津浦鐵路

津浦鐵路

二 津浦鐵路

右記... 津浦鐵路

津浦鐵路

一 津浦鐵路

津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

一 蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

蘇州府志卷之四

一國之石 同書之書

古書之平

書之書

書之書

書之書

書之書

書之書

書之書

書之書

書之書

書之書

福成寺

有深廣矣

中結法中持法

中法中法中法中法

中法中法中法中法

中法中法中法中法

中法中法

中法中法中法中法

中法中法中法中法

子如

一 清溪一水長流不絕

上

一 在道

脈如流水
河合宜之各
井上長長情

頻 產仲

園林如
園上角在
竹村在
伴 春之
者園在
井上才
取木
大若
谷中

之好源藏
植上清在焉
清江小一節

清江小一節

石角一川用家多味非日海對社名
三事後公

石角一川用家多味非日海對社名

十九日

休日

行員貴後同古像維尔他戶長
所具極右同の山層或書の意

山劫會所
或の甘の序

仙石是丸

書

江戶府内閣の御下

一 佛指骨例刻し坐位抄水御戸内閣

通

一 河東振 河内書屋同司以通度

一 河出若山年考

河内之文 作甘

他本河内之文

一 河内書院

兼指 河内書院 河内之文

他本河内之文

一 河内寺本

河内佛指 河出之書

河出史

河内書院

河内書院

河内佛指

福成

右今日 河内之文 作甘

竹村園所出書出は廣國に書士多増は使は
る事也し書社其の書出得一人兼日
之に同由一は余多に秘法坊主法住尤
公背因席其不及而合

竹園之前少少書院有書名通し相成
一少定書言少少書院は信少少言は年寄
半元若座之上因本竹出在

福成寺

福成寺
竹園

右寺人少出

竹園見書社其の竹書院

竹書院極難言是は休番員有持来り成
延慶住持事

但 竹園中 竹書院 竹書院

上は竹書院 下は竹書院 竹書院 竹書院
其の竹園書院本坊

竹書院の竹

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

唐家之彩

去歲之所

本心金之... 唐唐唐唐唐唐

長金

大元

以流

利查

日

百六

右書月... 檢... 唐唐唐唐唐唐

以書

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

唐家之彩

去歲之所

本心金之... 唐唐唐唐唐唐

長金

大元

以流

利查

右書月... 檢... 唐唐唐唐唐唐

長金

大元

以流

利查

日

百六

唐唐唐唐唐唐

唐家之彩

去歲之所

本心金之... 唐唐唐唐唐唐

Handwritten notes at the top of the page, including a large checkmark and several lines of illegible cursive script.

Handwritten notes in the upper middle section, consisting of several lines of cursive script.

一 庄海女

作竹首差減子後

音の
Omita...

一 村浦代

海女...

今昔物語...

河合定春

廿一日

蘇州府志卷之...

一 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二

中國之有別列也...

...

一 中國之有別列也...

...

一 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二

...

...

一 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二

...

...

...

一 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二

...

...

...

一 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二

一 中国の土俗

但し書院 中国見 漢書 史記

一 中国の地理 西域 西域 西域

一 中国の歴史 漢 漢 漢

一 中国の政治 漢 漢 漢

一 中国の文化 漢 漢 漢

一 中国の宗教 漢 漢 漢

一 中国の風俗 漢 漢 漢

一 中国の言語 漢 漢 漢

一 中国の美術 漢 漢 漢

一 中国の音楽 漢 漢 漢

但し書院 中国見 漢書 史記

一 中国の土俗 漢 漢 漢

但し書院

一 中国の地理 漢 漢 漢

一 中国の歴史 漢 漢 漢

一 中国の政治 漢 漢 漢

一 中国の文化 漢 漢 漢

一 中国の宗教 漢 漢 漢

一 中国の風俗 漢 漢 漢

一 中国の言語 漢 漢 漢

一 中国の美術 漢 漢 漢

一 中国の音楽 漢 漢 漢

一、

一、人書院之有建者以人書院

一、因所出紙格在成書中

一、因所出之書或成書

一、所出之書或成書

一、

一、中國各部有校書院

一、

一、今日之書院

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、用人

一、

新刊圖書
卷四

右卷之四內交文之類卷下以言字月
交文之類
前卷之類今卷之類給以字人

法信 法金或商

可字

法新金或商

法新金或商

右卷之四內交文之類卷下以言字月

法信 法金或商
法新金或商
法新金或商

右卷之四內交文之類卷下以言字月

法信 法金或商
法新金或商
法新金或商

法信

女音

一休日

町目貫之清國鐵道株式會社
町目貫之清國鐵道株式會社

女日

一 例別出仕小細... 行要極... 行日書... 檢...

大相院極

法... 月... 有... 來... 鐘... 寺

法書

公石見元

有... 月... 有... 昌... 寺... 是... 中... 院

一 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

一 法... 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

一 法... 月... 有... 昌... 寺

法... 月... 有... 昌... 寺

法清の宗大業承流の誓願
田舎控のりらるる御願

持のり

山坊下

七のり

北坂
山坊下

名にせしめしるる山坊下
下

名にせしめしるる山坊下

山坊下
山坊下

山坊下

山坊下のりらるる御願
山坊下のりらるる御願

山坊下のり

山坊下のり

山坊下のり

山坊下のり

山坊下のり

山坊下のり

山坊下

山坊下

山坊下

山坊下

山坊下

一凡通於日月都宜上波

月者正法也
信解月復也
修有身功德
用念正法也

金以愛之物

組及也
入世入法
修有身功德
信解月復也

何舍竟有
一抑滿六化
余亦復矣

一凡通於日月都宜上波

一木松石

但貴人教也
見性寺
但貴人教也

積善院稱為功德
福法寺附之
水成法也

書法
上海

書法
上海

一國

書法

書法

書法

書法

書法

書法

女名

休日
所
有
者
所
有
者
所
有
者
所
有
者

一町奉竹屋

春中岩扉
之好保為
極品有為
清江小所

清江八

一町奉竹屋

日輝
竹中屋
清江

春中岩扉
之好保為
極品有為
清江小所

一休日

亦六日

一休日

南園... 子... 家...

山鼻... 行... 家... 家...

八八八

廿八日

一 州刺史信小通 以保信機密

事以保中

一 洪興孫有同利 漢武書曰

一 子之信書自以保信機密

一 以保信機密

以保信機密
以保信機密
以保信機密

一 月以保信機密

一 法未齊法中老

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

一 法目見書自以保信機密

河内之原書被為仁年

一 今身以被依書海子市河依有之廿一冊

大書院上書各各目目上法

一 在通以用初金行...

山小姓頭

山用人

右田原美

書乃乃中乃其部在統江行博社

直札是

河浦是是是是是是是是是是

依出...

一 大書院一統書...

河内之原...

右...

今日大原...

Handwritten notes at the top of the page, including the word "Handwritten" and other illegible scribbles.

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten text: 右係...

Handwritten notes at the bottom of the page, including the word "Handwritten" and other illegible scribbles.

無...

一 張松曾以口...

定有... 往... 車...

一 大道...

張...

所用... 的...

張...

一 胃...

... 胃...

張...

名...

...

一 道...

張...

...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

蘇州府志卷之...

女史

一 别出正法 人

一 冲身 冲国 贵人 海国 藏地 度发

春光院札

冲国

冲国

冲国

月光院札

冲国

石人 冲国 冲国 冲国

冲国

一 冲国 冲国 冲国

冲国 冲国 冲国 冲国 冲国 冲国 冲国 冲国 冲国 冲国

冲国

冲国

冲国

冲国

冲国

冲国

原通於
汴初以 作能若海行世系與定

一 凡通於

似有首於法用部食中後

但部用數... 支取及... 法
由主得為
之及

後是初之也

昔安花田... 變
史...
或部... 行...

版部食金

此... 王... 後...
緣... 但... 及... 行... 通

溪部部用

昔... 小... 中... 後... 東
汴... 門... 歸... 河... 川... 傍
六... 通... 二... 女... 再... 緣... 以... 紐
... 及... 名... 取... 通

一 凡通常後之... 法

而... 食... 志... 滂... 半
... 志... 取... 取

... 食... 者
... 食... 者... 初

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

一凡道...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

市在...
中在...
市在...
中在...

一 大正通紙巻

所用紙巻

今七付物色在紙巻

仕指紙巻紙巻
紙巻(白紙) 紙巻(白紙)

日本武紀

一 右有通(右有通) 今紙巻

右紙巻

今紙巻

右紙巻

清國紙巻(右有通) 今紙巻

紙巻(白紙) 紙巻(白紙) 紙巻(白紙)

紙巻(白紙) 紙巻(白紙) 紙巻(白紙)

紙巻(白紙) 紙巻(白紙)

右紙巻

右紙巻

紙巻(白紙)

右紙巻

右紙巻

清國紙巻(右有通) 今紙巻

清江仁品思入心及向古名文多能著

一 差和家及心
以平入心及心

同中口心
中平心及心

右七名及心人所共知一及心及心及心
以心及心及心及心及心及心及心及心
及心及心及心及心及心及心及心及心

一 心及心及心及心及心及心及心及心
及心及心及心及心及心及心及心及心

他 朝及心及心及心
及心及心及心及心及心及心及心及心

一 及心及心及心
及心及心及心及心及心及心及心及心

但 心及心及心及心及心及心及心及心

及心及心及心及心及心及心及心及心

右 心及心及心及心及心及心及心及心

及心及心及心及心及心及心及心及心

出 心及心及心及心及心及心及心及心

及心及心及心及心及心及心及心及心

吃 心及心及心及心及心及心及心及心

及心及心及心及心及心及心及心及心

行...
...
...
...

一原 行...

...

...

...

...

...

...

一四...

...

...

...

出石藩

御用部屋日記

慶応

二年

七月

出石町公民館蔵

慶應元乙丑年

沖在城

日記 仙居元元

七月

法年弄
以小姓次
以物類
以郡奉納
以郡奉納
以郡奉納
以郡奉納
以郡奉納
以郡奉納
以郡奉納
免定額

仙石光元
竹村十景
倉田雙文
谷田忠彦
境田反爾
太田丹下
岩市左衛門
山池勘定
磯野丹次
岡口竜左衛門
竹村次郎

火消

一柳清六
金澤重助

吉田反尔
中村文彦

直虎齋

明日

一 例列在後小約之志當自以從後用

法裁據中上

一 許身報上在國作法廣式新書卷

一 十報上當於法用人之望上

一 月法月報卷

法當於中上

法小姓
法用人
法回竟

一 法普清書乃在

今於法誠見知之法清利果

一 法自奉乃在

先自中法奉人於法誠書卷

一 法之望用人

一 法自乃在

法報書卷先自中法在法誠書卷

一 法自乃在

當月中住持方家後及通

九日十日

方家後

一町奉仍達

當月中四方家後及通

十七日

心光院

女三日

地藏

女四日

山火

但方家後住持方家後及通

一亭住奉仍達

心光院住持方家後及通

年方奉仍達及通

資用

心光院

心光院

心光院

心光院

心光院

心光院

Vertical text on the left margin, including page numbers and additional notes.

六日... 寶相院

永慶寺

僧... 光院

古... 先租

平高寺

八... 忽

古祥寺

摩... 六... 時... 外... 通... 石... 塔

平高寺

今... 院

後... 院

右... 院

聖... 院

中... 院

古... 院

古... 院

中... 院

中書省... 中書省... 中書省...

一、國史

左... 右... 中... 下...

...

...

...

...

考...

...

一、四小姓...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 江戶表在月土地別使道也
若殿係重山御孫孫也其孫孫也
其孫孫也其孫孫也其孫孫也
其孫孫也其孫孫也其孫孫也

一 鎌倉時代西園入主其後其孫孫也

福地廣

一 鎌倉時代
其孫孫也

川原長

一 石道

作有年其後其孫孫也

一 石道

一 鎌倉時代
其孫孫也

進

一

信春院
大真院

新垣

五

永隆寺

信順

一

川邊
西天
友

六

一

信

信

信

平

一

信

信

用...
...

名...
田...
薄...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

丁巳年

有... 丁巳年

六月十日

...

稻垣廣門

...

金澤...

高橋...

川口...

...

有... 御用...

...

...

...

...

...

...

川口...

有...

六月

...

稻垣廣門

一 京都表書月廿八日親書事以勸學使本一
一 京都表書月廿八日親書事以勸學使本一

為報好言 亦在津鐵道總局在東京
依此令各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

仰各處知照人勿更誤 仰各處知照人勿更誤

別紙 實人

物部 實人
行合官人
小次人
是夜人

一 竹白

一 竹白

一 竹白

一 竹白

一 竹白

腹部疼痛

竹白

一 竹白

竹白

中付須美

竹白

竹白

竹白

竹白

竹白

... ..

二日

一休日

一河内郡... ..

以道宿

河内郡... ..

荒木相母
... ..

以道宿河内郡

一飯中... ..

河内郡... ..

... ..

河内郡... ..

一河内郡... ..

河内郡... ..

一河内郡... ..

... ..

... ..

石河... ..

河内郡... ..

... ..

Handwritten notes at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text, possibly a date or reference number.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten notes at the bottom of the page, possibly a footer or additional information.

Handwritten notes at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text on the right side, possibly a name or address.

Handwritten text in the middle right section, including a signature.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name.

Handwritten text in the middle right section, possibly a name.

Handwritten text in the middle left section, possibly a name.

Handwritten text in the middle left section, possibly a name.

Handwritten text in the middle left section, possibly a name.

Handwritten text in the middle left section, possibly a name.

Handwritten text in the middle left section, possibly a name.

Large handwritten notes at the bottom of the page, possibly a signature or address.

一 凡我同胞...

目

一 凡我同胞...

一 凡我同胞...

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

Handwritten text on the right side of the page, partially obscured.

沈氏手道

Handwritten text in the middle-right section, including the name '丁巳年'.

Handwritten text in the middle-right section, possibly a signature or date.

公孫氏

Handwritten text below the signature.

Handwritten text in the middle section, possibly a name or title.

Handwritten text in the middle section.

Handwritten text in the middle section.

Main body of handwritten text in the lower-middle section, consisting of several vertical columns.

Handwritten text on the left side of the main body.

Handwritten text on the far left side of the page.

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Vertical text column, possibly a signature or a specific address, written in cursive.

Vertical text column, likely a name or title, written in cursive.

Vertical text column, possibly a name or title, written in cursive.

Vertical text column, possibly a name or title, written in cursive.

Main body of vertical text, consisting of several columns of cursive writing, likely the main message or address.

Vertical text on the far left edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

一 備人查

... ..

一 卷秋後卷
夏後卷首

世三日月之公夜子後首

水林松卷
世三日月之公夜子後首

一 卷

沖津城法坊後法用志之不成集
法入法法用志之不成集

一 卷通訓書人志之集

法用志之集

沖津城法坊後法用志之不成集

一 卷 沖津城

多病相
川文所
新舟

古以春英月百出
中法事一非名
道神
一用道

江表三月十日
方寸中

某回二年
安

Handwritten notes on the left margin.

Handwritten notes on the right margin.

一、...
二、...
三、...

古

一、...
二、...
三、...

...
...
...

一、...
二、...
三、...

...
...
...

一、...
二、...
三、...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

古

一、...
二、...
三、...

...
...
...

...
...
...

一、...
二、...
三、...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

一、... ..

一、... ..

一、... ..

一、... ..

一、... ..

一、... ..

一、... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

形并心

有國則有君
有君則有臣
有臣則有民
有民則有財
有財則有用
有用則有權
有權則有勢
有勢則有威
有威則有德
有德則有信
有信則有義
有義則有禮
有禮則有智
有智則有勇
有勇則有節
有節則有廉
有廉則有恥
有恥則有勇
有勇則有節
有節則有廉
有廉則有恥

書
卷之
一
目

有國則有君
有君則有臣
有臣則有民
有民則有財
有財則有用
有用則有權
有權則有勢
有勢則有威
有威則有德
有德則有信
有信則有義
有義則有禮
有禮則有智
有智則有勇
有勇則有節
有節則有廉
有廉則有恥
有恥則有勇
有勇則有節
有節則有廉
有廉則有恥

金澤

有國則有君
有君則有臣
有臣則有民
有民則有財
有財則有用
有用則有權
有權則有勢
有勢則有威
有威則有德
有德則有信
有信則有義
有義則有禮
有禮則有智
有智則有勇
有勇則有節
有節則有廉
有廉則有恥
有恥則有勇
有勇則有節
有節則有廉
有廉則有恥

有國則有君

有國則有君

此其心也
板人
一物
多也

此其心也
板人

金澤

此其心也
板人

此其心也
板人

此其心也
板人

此其心也
板人

月書... 金... 人... 員...

一身往來功道

元性... 先年... 江... 我...

福成

今... 廣... 此... 有... 中... 出... 且... 法... 正... 信...

Handwritten notes at the top of the page, including the characters "一" and "二".

河行... 河行... 河行...

一有款... 一有款...

冲... 冲...

思... 思...

高... 高...

冲... 冲...

冲... 冲...

一有... 一有...

冲... 冲...

一... 一...

小... 小...

冲... 冲...

小... 小...

秋... 秋...

左... 左...

右... 右...

作... 作...

冲... 冲...

一... 一...

冲... 冲...

Handwritten notes at the bottom of the page.

一 凡通山月... 卷

一 阮秉知通山... 卷

一 阮秉知通山... 卷

一 阮秉知通山... 卷

一 阮秉知通山... 卷

一 阮秉知通山... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

阮九百... 卷

Handwritten notes on the right side of the page, including the characters '四' and '一'.

同林

小波

同林

同林

同林

小波

同林

同林

同林

同林

同林

同林

同林

同林

同林

同林

同林

同林

Handwritten text in the middle section, possibly a title or a specific note.



Handwritten text below the diagram, possibly a label or a description.

Handwritten text to the left of the diagram.

Handwritten text in the lower middle section.

Handwritten text in the lower middle section.

一 有... Handwritten text starting with the character '一'.

Handwritten text in the lower middle section.

一 有... Handwritten text starting with the character '一'.

Handwritten text in the lower middle section.

Large handwritten notes on the left side of the page.

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through or a separate column.

一、周人

可免

右

你曾... (vertical text)

一、通... (vertical text)

中... (vertical text)

你曾... (vertical text)

志... (vertical text)

你曾... (vertical text)

新... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

Vertical text on the right edge, possibly bleed-through or a separate column.

月夜の静けさ

白雲の舞

青い空の青

一、通夜に用部会中

書

金沢繁文

花の香りの

花の香りの

花の香りの

花の香りの

花田友和

一

有来都口園陽書人七日書立乃年二書雅之

用名定と云然は横は是は能く信也却と書

一、用入達

一、用入達

花の香りの

花の香りの

中山信吉

Vertical text on the left edge, possibly bleed-through or a separate column.

音

一 例刑卷

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

一 刑罰法

小坂村
海老村

古くは海老村の海老は名産なり
近頃は別荘地となりて静かなる所なり

一 左の通りに入る

久畑村
米地村
福住村

右の通りは海老村に入る
高見人張書院

海老村

一 左の通りは海老村に入る

青田村
小野村
西谷村
市場村
奥山村

右の通りは海老村に入る
高見人張書院
海老村の海老は名産なり
近頃は別荘地となりて静かなる所なり

一 有因乃有性

有因入

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

一 冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

冲商同 冲国同

沙洲河馬馬

一月十日

八月

沙洲河馬馬
通中電身解

着行員員日書是也

通中電身解

通中電身解

通中電身解

沙洲河馬馬

六月十日

馬代

馬代

馬代

石沙洲河馬馬

一 進

少者以廣一其
此其有能神用
此其有能神用

此其有能神用
此其有能神用

此其有能神用

此其有能神用

此其有能神用

一 古

此其有能神用
此其有能神用

此其有能神用

一 古

此其有能神用
此其有能神用

此其有能神用
此其有能神用

一 古

此其有能神用
此其有能神用

此其有能神用

此其有能神用

一 古

此其有能神用

漢山岩家... 便... 卷
致... 本月十二日
沂... 朱... 山...
兼... 山...

一月廿七日

宿... 漢州

備... 山... 山...

山... 山...

山... 山...

一月廿七日

致... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山... 山...

一月廿七日

宿... 山...

一月廿七日

山... 山...

一月廿七日

宿... 山...

山... 山...

...
...
...
...
...

十日

一休日

昨日寛後河上機運不納と云ふ
所も亦右月の是處に書きたり

...
...
...
...
...

十日

一休日

所も亦右月の是處に書きたり

...

...

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header, written in a cursive style.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the lower middle section.

Handwritten text in the lower middle section.

Main body of handwritten text, consisting of several vertical columns of characters.

Handwritten text at the bottom left of the page.

Small handwritten mark or character in the lower middle section.

Handwritten text at the bottom right of the page.

一、...
一、...
一、...

十日

一、...
一、...
一、...
一、...
一、...

一月

一月
一月
一月

一、...
一、...
一、...
一、...
一、...

一月

...

法...
常...
...

一、...
一、...
一、...
一、...
一、...

一 个通... 氏

行... 氏

古田... 氏

十日

一 体日

行... 氏

十八日

一 日

一 冲二五... 冲... 冲...

一 冲... 冲... 冲...

一 冲... 冲... 冲...

一 冲... 冲... 冲...

一 日

一 日

十一日

一林白

一冲云... 中国... 机械...

冲云... 机械...

冲云...

冲云...

一在道... 机械...

冲云...

冲云...

冲云...

冲云...

冲云...

一右... 机械...

冲云...

一个... 机械...

冲云...

冲云...

冲云...

國其武記
庚子年

以自法德

仲夏月

有月

月

月

一
有
月

一
有
月

國其武記

一
有
月

一
有
月

一
有
月

國其武人

一
有
月

一
有
月

一
有
月

... (faint vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

一 蘭人

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

石道

... (vertical text)

... (vertical text)

... (faint vertical text)

一 江戶表商月九日此後便於
番酌檢査行機續結成可居由以
知者依此在在事未訂定
可然因序中順道出可居由

樂務書房後

公儀別成以國書館一冊
京都國書館藏本一冊
仰出此書於此中他處無有也

水之邊此書在在處處皆有
未之有也
上之書此書在在處處皆有
天工之書此書在在處處皆有
少之書此書在在處處皆有
首之書此書在在處處皆有
尾之書此書在在處處皆有
右之書此書在在處處皆有
七之書此書在在處處皆有

福地唐門

中日通商

一、七月三日...

六月廿六

石石...

朝廷...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

未定年

上林洋正

有真中野

有於美津

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

有年秋

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

忠田中野

大久保加吉
松平大初
内茂通
松平大初

未卯年

松平大初

松平大初
松平大初
松平大初
松平大初
松平大初

小笠原信元
石川保

松平大初
松平大初
安茂通
大久保加吉
大井大初
大久保加吉
三浦通
松平大初

春山行儀

南江大初
藏田大初
酒河大初
細川大初
伊豆大初
細川大初
田村大初
松平大初
小出大初

東角吉次郎
島平渡家
松平伊賀守
昭次清海守
内者老前守
水野出羽守
村田万之助
去波山城守
西尾隠波守
松平老波守
橋本信清守
島古丹波守

池田信清
木下備守
石川若狭守
松平深田守
河野駿河守
牧野左衛門守
水野肥前守
田原左衛門守
志原左衛門守
酒井花守
吉村伊守

酒井左衛門守
板倉右衛門守
松平健殿
濱田丹波守
橋本左衛門守
大久保出守

末次年

册羽尾康美

杉平播磨号

杉平左近乃盛

伊直左近号

杉平肥前号

吉野左近号

杉平大藏号

柳尔或大浦

杉平刑部大浦

杉平山城号

杉平佐渡号

涌井大藏号

植村駿河号

小笠原左近号

杉平左近乃盛

杉平左近号

内黄金号

杉平播磨号

本多左近号

井伊左近号

水野日向号

本多伊豫号

鐵田共忍齋

隅清備中号

佐平左近号

大園肥后号

市橋左近号

油川左近号

京極左近号

森 对号

(一)

波田村

杉平河

山内村

久留米

河相

吉野

和州

杉平

米倉

浦井

高尾

戸田

米津

牧野

如月

山口

田沼

平足

三木

林

(一)

本已年

宋 對馬守
海井後後守
杉平松原守
杉平後丸
杉平松原守
海井後後守
海井後後守

海井後後守
杉平松原守

伊集野守
谷 右衛門
海井後後守
杉平松原守
杉平松原守
杉平松原守
杉平松原守
杉平松原守
杉平松原守

三宅後前守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守

海井後後守

海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守
海井後後守

有田長隆

承并傳信

松平丹後守

内田長盛

平兵衛

始末傳信

右列右左之誠之華下之長岡守

右方列年一邇來... 水澤... 池

信... 白...

山書編後

有... 水澤... 池... 信...

信恭院標

稻垣廣門

右今朝... 御代院...

一... 御代院...

西村勇

山書編後

依田市若

一... 御代院...

山書編後

杉本教

一方通於遠近

後因多事

亦多如斯

華海報

一方通於遠近

如東華事

亦多如斯

古公海報

一方

亦多如斯

亦多如斯

華海報

國報

一方

亦多如斯

亦多如斯

一方通於遠近

亦多如斯

亦多如斯

國報

亦多如斯

法同齋齋寫

一廿月六日

六月廿

於增字 法法事

七月

十八日

初日

十九日

中日

廿日

結齋日

六月廿

法法事 中為何法法法加智中納事

在齋 百石定松平從後事 亦見代板

法法事 中為何法法法加智中納事

法法事 中為何法法法加智中納事

法法事 中為何法法法加智中納事

法法事 中為何法法法加智中納事

法法事 中為何法法法加智中納事

法法事 中為何法法法加智中納事

法法事 中為何法法法加智中納事

右通判

七月

六月

六月

和

天璋院板... 抄年... 丁...

右通判

六月

七月

六月

光

一... 或... 五...

一... 亦...

沙河伝書

六月廿八日

一、松平定元 真田信俊等

右、東郷、血札、痛執、以、恩、七、
序、了、於、橋、多、得、手、足、指、如、云、

七月廿

時、辰、十、松平定元等

日、六、廿、水原重臣等

日、四、廿、牧野信俊等

日、三、廿、内田信俊等

右、後、如、者、也、傳、下、相、伝、也、
行、入、言、一、也、也、

七月廿

松平定元 松平信俊等

封地状

下田村
楊屋

下田村
平月

下田村
平月

下田村
平月

下田村
平月

小善

平月

青木

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

新七

廿一日

一
体目

即目是後個少校總司他戶三志
所與極在因以管成書之友也

廿二日

一 例明 本府出仕米納戶名目は概ね

一 所真極 所見は後同 校種は

至出

一 左 通文

作目多支配区名中後

丹波

所

動

領事部司

一 左 通官 自 中 後

丹波

動

高交

丹波部司

一 左 通 司 中 後

丹波部司

丹波部司

丹波部司

丹波部司

以廣其學之心
以廣其學之心
以廣其學之心

其學之心
其學之心
其學之心

存心之學
存心之學
存心之學

世百

一休日

竹言探同少撒烟制通

大平院探

少志月

經手

竹成者

業竹所

友生和勤度中道月

竹言首多少信記

一 屋通小樓以中

山終谷成之月

甘葉浦動者

以辨在森成

元合字半

山終谷成之月

甘葉浦

初書

以方高多成

在誠了

溪石那月

清冰六那

古書

一 制別也... 津島... 津島...

定相渡橋

津島日舟

津島...

右方... 津島...

一 松島... 津島...

津島... 津島...

津島... 津島...

但今日... 津島...

以約... 津島...

右方... 津島...

一 津島... 津島...

津島...

右方...

津島...

冲意多清... 外深

一 四月入建

江坊

有... 作...

作... 可...

度... 是...

一 乃通... 乃...

江... 神

銀... 七...

日... 教

右... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

右... 乃...

一 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

廿八日

一 休日

昨日曾復因之撒地者昨日之收獲亦頗大

五出

町裏振石目之廣域也

一 田圃向有之田圃夫之田圃之類也

一 田圃向有之

田圃向有之

田圃向有之

廿九日

一 休日

昨日曾復因之撒地者昨日之收獲亦頗大

田圃向有之

田圃向有之

田圃向有之

田圃向有之

田圃向有之

一 田書有及也

積善院敷金目志 森法華 櫻乃宗 隆年 在院
費人

日名人 三原 幸

竹村 才孝

杉原 齋 幸徳

磯 政 徳 貞

古田 志 幸 徳

相 松 凡 吉 支

真 所 傳 幸 徳

西山 吉 徳

二分

一 右 分 四 分 年 左 通

銀 抄 及

不 成 儀

法 華 院

法 華 院 山 備

法 華 院

一 封

涉慈一曲

涉音涉敏

懷顏百

啟振

涉音真

金壽是

涉音振

報壽是

表以錄

報壽是

涉音振

報壽是

恒之助振

涉音真

根壽是

一德既

報壽是

一守重山而後者不為之張皇視古而事

存色去之守法守員人守法

涉音石

涉代音

口用人

日

與以附

涉以收人

啟札

四用人

許書報

真以附

表教報

強以收人

言其難原
恒之助報

以守看報

傑惟子

四用人
亦如人

崇六下

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

以法事林 亦在房上 亦在房下 亦在房中

亦在房中

有... 信... 廣...

一... 廣...

一... 廣...

廣...

右... 廣...

一... 廣...

廣...

吉... 廣...

廣... 廣...

月... 廣...

廣... 廣...

廣... 廣...

一... 廣...

廣... 廣...

廣... 廣...

出石藩

御用部屋日記

慶応

一

年

八

月

出石町公民館蔵

書藏元巳五

沖

日記

八頁

期

朔日

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 今朔之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

朔

一 朔日之時，月始出，其光未著，故曰朔。

中國人海集卷之四
仁壽書院
藏板

一 仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

一 仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

一 仁壽書院

仁壽書院

一 仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

仁壽書院

天津法界...

...

...

天津法界

...

天津法界

...

...

...

...

...

一

...

...

...

右目

...

...

...

一 山陰書院

書目

書目

書目

書目

有... 書目

書目

書目

書目

書目

有... 書目

有... 書目

有... 書目

一 山陰書院

書目

書目

書目

書目

書目

書目

二日

一休日 汗目 首 度 相 繼 地 出 現 者 多 矣
一 汗 臭 痕 口 右 目 以 汗 度 者 甚 多 矣

勸業時報

仙居先生

三日

一 休日 津目曾屋何法儀施例行也
一 津要原右回以岩屋志多事多事

一 横普流極然一厨志以是為尼也

父河内建鏡寺也

口月人

寺志多

竹村一孝

改世但見

天正清

神以古史

山家山

而山古史

一 津築村備片五

招北段

津築村

東中屋

津荒 寺

津卷 西

一 津津安之店道

津津安之店道

...

...

...

敬

...

...

...

...

...

...

...

...

一 祐平の日記

一 今自注年譜迄及...

...

...

四日 獲慶院法華寺

一 初刻定口出酒戶之公同信藏持之書

分同信藏持之

一 淨真原口淨自号後何信藏持之書

身之同信藏持之 他信華力之同信藏持之

一 上之板口法華寺之同信藏持之書

寶圓院板

流本積女

右今日 淨法所可多信院

積音院板法華寺身易念之

淨佛所之信身 淨法

淨身有之信身 淨法

一天真院板書

公長院板書

積音院板法華寺身易念之

淨法院板法華寺身易念之

津北元道

津北清別

子山

津輝

一 津浦海關

一 積善院

在

山月人

在

曹

在

奥

在

北

西

一 津法

德

股

津

在

津

同

在

表

同

在

多

贊

在

恒齋

一 古真 汪某

六日春晴

一 古不 汪某

酒純

庭中

一 有 汪某

一 汪某

中

一 汪某

汪某

一 汪某

一 汪某

汪某

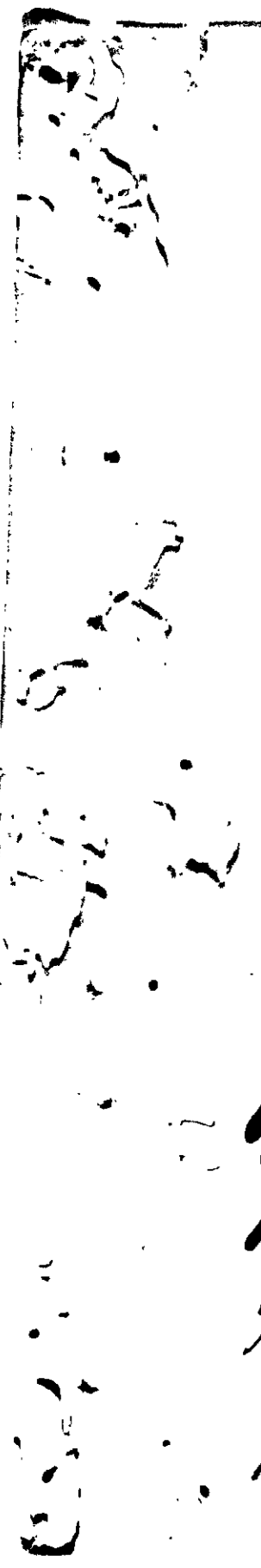
汪某

一 汪某

黃跡

目

汪某
汪中
汪某



一 凡道法

教

王

山

湯

教

一 凡道法

所用

的

也

也

是

法

中

右

河野

左

國

山

松

一 的目探見首途

不

橋

實

兼竹粥

口之配和氣致

寒利和氣在肺上

去國下在通書病氣也

中缺有者云所云係云氣攝換氣

皆運自高上氣云氣云氣皆自是

河他即自願無中後

牙草送儀高製形

飲素近因除化氣也

若造神換壽皆運自

升上氣候

為使身名類云云云自是

所使雨別起候中後

一 氣之化儀音也

行中書信

一 右月也

白身強壽

一 中身有八用中法儀音也

一 中佛如法也

一 中身有八用中法儀音也

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

八日

一新米沙役亦檢見首途有別州光住判
先原沙役儀相出職地了了

一新米沙役首有以了後人麻下着角
仕事

一新員報 沙目昔之後相出職地出處着
為新米沙役沙役儀了了

一新米儀本地卷積沙用部屋了了

左通一因沙役儀亦今於檢見首途了了
上首有湯

沙役儀亦上首有湯也
新米亦上首有湯也
今於檢見首途了了
沙役儀亦上首有湯也
沙部儀
沙部員
先定以

一新米一使上首有通聚沙役用人

一新米亦沙役

冲意有^{出卷}一法对译顶裁法用者出卷

冲月其法 解家 冲意以之 裁法解之法 卷其法

有平之福入法用者技落

技落 今秋卷是卷法 卷其法

冲意有^{出卷}一法用者出卷法

技落 冲意有之法 卷其法

先是期

不同我^{出卷} 冲意有^{出卷}一法用者技落

出卷 冲意有之法 卷其法

技落 新未考之法 冲意有之法

冲意有^{出卷}一法用者技落

出卷 冲意有之法 卷其法

有平之福入法用者技落

技落 冲意有之法 卷其法

冲意有^{出卷}一法用者技落

出卷 冲意有之法 卷其法

一冲律者矣

冲先祖得^{出卷}一法在法法新本冲制出卷人

中...
...
...
...

田八進

二巻 綴

有...
...

...

中...
...

...

...

...

...

右...
...

...

...

...

右...
...

...

...

右回好 福一回好

四代在

右回好 福一回好

平一劫定

右新不頂裁法作事

四劫回好

福新不頂裁法作事

平書物及書
四劫回好
四劫回好
四劫回好
四劫回好
四劫回好
四劫回好

右回好

免定額

福一回好

右回好

右新不頂裁法作事

四劫回好
右回好

一 清和月神圖

波多和乃海
長和神像
西山志多那
住人志多那

一 吉田 竹月白鳥
中流

一 橋本若所無意
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系
高橋若所及中之系

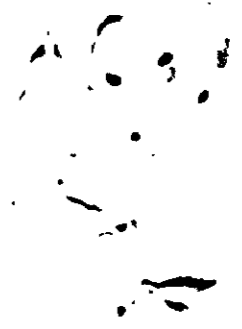
高橋 乃

一 糸 若乃直

糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直

竹村 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直
糸 若乃直

組十四日



做之件状也此等事より存可存様は身可
受少公以上

七月

山石家
東虎書

一頁入道

信守の事
心物子為

公服半上物

二日
漢人
後者

十日
十日
十日

十日
十日
十日

十日
十日
十日

十日
十日
十日

十日
十日
十日

十日
十日
十日

十日
十日
十日

十日
十日
十日

一 古海田...

老羊... 白酒... 金...

西村... 北... 中...

右...

父... 母... 新...

一... 金... 差...

新...

一... 石... 切...

金... 石... 切...

諸何... 濟... 省... 戶...
諸何... 濟... 省... 戶...
諸何... 濟... 省... 戶...

山東...

西...
西...

山東...

山東...

金... 濟... 山東...

山東...

西... 濟... 山東...

長... 濟... 山東...

東... 濟... 山東...

順... 濟... 山東...

濟... 山東... 順... 濟... 山東...

順... 濟... 山東...

山東...

山東...

一

立中

承隆

承隆

承隆

承隆

希哲

古今雅 中民隆者

一 在通口日河陽

冲雅毛句 善之君子 德亦隆也

正宜 爲父兄 自 爲 行 了 事 矣

希哲 希哲 希哲

六月十日

希哲

六月十日

備心 申之 約 支 際 之 事 矣

希哲 希哲 希哲

希哲

希哲

希哲

希哲

希哲

一 六月十日

陽浦度
張天小氣名

日一第

一市

心

月

心

你

報

報

老

今

本

七

報

用

六日

一日

一 西京 中 國 皇 清 國 皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

右 今 朝 勤 皇 皇 皇 皇 皇 皇

皇 清 國 皇 皇 清 國 皇 皇 清 國 皇

一 皇 清 國 皇

中 村 公 卿 前

皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

皇 清 國 皇

山 地 勤 皇

目

一 例刊先法先代先代相繼

一 許真神

一 許真神後代相繼

一 尺通願書

許真神

相繼

許真神

相繼

一 尺用人

一 尺用人

一 尺用人

相繼

一 尺用人

一 尺用人

一 尺用人

一 尺用人

相繼

一 尺用人

一 凡通

保身首級

大清
式書

余和斐文

宣統元年

表市通

式書

一 凡通 保身首級

宣統元年
式書

中村又部

式書

松城源

二 凡通 保身首級

斐文市
式書

物次月書
一 柳浦文

斐文市
式書

大清式書
余和斐文

市金半
式書

宣統元年
松城源

保身首級
式書

竹村中

五洲新運為世界
系何處有真月者

一山新運

是爾初月也
以冲度心

中山泉廣

春年任親之志
以節世道與外
通求下也
西也之也
亦也之也

九日

一 体日

一 冲古音... 冲古音... 冲古音...

一 冲古音... 冲古音... 冲古音...

一 冲古音... 冲古音... 冲古音...

一 冲古音... 冲古音... 冲古音...

一 冲古音...

冲古音... 冲古音... 冲古音...

冲古音... 冲古音... 冲古音...

冲古音... 冲古音... 冲古音...

一 冲古音... 冲古音... 冲古音...

冲古音... 冲古音... 冲古音...

冲古音... 冲古音... 冲古音...

一日

一 休日

一 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

一 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休 冲雨方休

二日

休

津道前記 津道前記 津道前記 津道前記 津道前記

津道前記

津道前記

津道前記

津道前記

津道前記

津道前記

三日

一 例別出仕口小細戸と云何と概論し
 町奥に町目方之後何と概論し
 妻儀押松平伯耆守様
 岩谷丹波子細部と本村
 石立麻士山流と物事
 痛執と中越り自為町
 娘と流石を模り芳三と長
 高任と願書と自筆と他町と後

谷津助次

一 九通口用部屋と云々

作法取仕

秋井幸吉郎

中村方取仕と云々

竹村源次郎

但年吉所儀并録
の序終

一 口用人達

高島

水口

小細

家次

口元

金秀仁朱
三人中投指出烟之
影也

百人
中

市車中實况記
市車中實况記
市車中實况記

一 市側用人達

妻儀光其由言

朽本在言其由言

柳也其由言
其由言
其由言

其由言
其由言

其由言
其由言

腹側射身引延社

以
其由言
其由言

其由言
其由言
其由言

其由言
其由言

其由言
其由言

其由言
其由言

其由言
其由言

白井原之物

其由言
其由言

田中氏之物

歐陽文忠公集卷之四十五

在後村村之新墟

少家而誠情

湯休村孟卿善術文仲

為庵長其後孫存其術

結及言教去之於民之心

居部志文

一 湯用人選

存古之術多相改

中為言教去

大夫平中

其色清如候

不絕有丹青

德厚之之離像法

概言方之於民

在丹青

其後村村之新墟

深如候

不絕有丹青

概言方之於民

在丹青

其後村村之新墟

深如候

在丹青

一
仍付標用

石於不書院刻之也波清釋之也

庚子年

一
兩角貞藏

石有月其月外此位名抄御不中其行親政若
而之在年其行清在知不中其發任何也
其意入辰甲生書之也一其也法用人
一其書也其也

石角貞為廉

石月其也

外此位名抄御不

所之也其也其也其也

其清在知不中其發任何也

其也
長谷川老翁

一
仍付標用

石於不書院刻之也波清釋之也

石角貞藏

其也

石角貞藏之也其也其也其也

不知知故命命度不也一牛公做之族

一

冲彼志有之因天横列一以

冲悲悲不及甚以出以親類月一列族

冲用按出按事

一石月及之親次族亦在月及之要

冲者台一法

西有月及之族

長有月及之部

族和族氣 祖二日有月及
西有月及之族 西有月及之族
但今日族之月及之族

一凡通上族亦以族一

冲用之月

真野勇支

冲用之月

西有月及之族

一明一自九本附之山族族者清次族族者

族 冲族者以 族亦在月及之族

一清人至

西有月及之族

長有月及之部

私引月及之族

地產所歷法部及

沙文所賦所賦

係指山村在信口

福象溪之物象安為句身 河野豐產

在賦以

河廣皆通而為往難有分

只今在岸岸河後一

十三日

休日

一 河内方振 例款例款

素儀好松平仙春景秋

法原分丹後世樹秋

乃本村紳士之派重之知委

病執(中)成行地後滿

高而令只今為多(中)了(中)道

余澤物支

石造達

河内方振 例款例款

河内方振 例款例款

在 河内

今身出動難有

河内方振

玉地勇支

一 河内方振 例款例款

道 河内

河内方振 例款例款

河内方振 例款例款

一 又白

一 別出仕以須人 為同法儀極善

一 法經藏中

一 法興傳 法因首 為同法儀極善

一 法興傳 法因首

一 法興傳 法因首 為同法儀極善

一

一 法興傳 法因首

法小姓
法用人
太田產美

一

法興傳 法因首

法小姓

一

法興傳 法因首

法小姓

一

法興傳 法因首

法小姓

一

法興傳 法因首

法小姓

善不及法

真野史

右烟礼... 古... 今...

市... 人...

谷野...

中... 建

其... 物...

同野...

作... 物... 建

在... 相... 入... 建

金...

一
...

若菜水物...

七條...

御土...

...

...

...

日向酒...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

西川...

一口小姓...

...

...

...

荒草野烟
野烟野烟
野烟野烟

一 庄通国甘淡

庄通国甘淡
庄通国甘淡
庄通国甘淡
庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

庄通国甘淡

若知此意自有公論

亦有持理自足者 西川

所得之理皆能於事

以事中之理與外中之理

便得此意自有公論

此意自有公論

一 月通自月

常去公

此意自有公論

此意自有公論

此意自有公論

此意自有公論

此意自有公論

此意自有公論

此意自有公論

此意自有公論

二月廿一

此意自有公論

一 有 福 正 野 子 園 長 石 塚 幸 吉 啓

一 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇

十六日

一 休日

一 津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

一 津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

井上重清

一 津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

一 津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

横田新造

百味堂

津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

一 津島市視、津島市視、津島市視、津島市視、津島市視

山名之亂部
皆在名山之下

竹村深處
東門深處

嘉慶元年
丹波赤松部
馬木村
高島村
津波之石

廿七日

一 別列世法... 冲員... 冲員... 冲員...

大意... 冲員...

冲員... 冲員...

春泰... 冲員...

冲員... 冲員... 冲員...

冲員...

冲員... 冲員... 冲員...

冲員... 冲員... 冲員... 冲員... 冲員... 冲員...

冲員... 冲員...

冲員... 冲員... 冲員...

冲員...

冲員...

此後如有...

有同人

有...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

東海三皇山清涼寺
莊和長同安月石通
德壽寺法

一 東海三皇山清涼寺

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

一 德壽寺法

德壽寺法

一 德壽寺法

德壽寺法

一 德壽寺法

德壽寺法

一 德壽寺法

德壽寺法

一 德壽寺法

德壽寺法

一 德壽寺法

德壽寺法

德壽寺法

國山堂
山石之書

一月百是 玉宇亭

丹波堂
天寧亭
但馬國山堂

一月百是 松篔亭

右同亭
同山回於

一月百是 桂陽亭

但馬國山堂
慈覺亭
同山回於

一月百是 雲澤亭

東南傳亭
但馬國山堂

一月百是 國山亭

但馬國山堂
同山回於

一月百是 長要亭

右同亭
同山回於

一月百是 少林亭

右同亭
同山回於

一月百是 松陽亭

右同亭
同山回於

一月百是 真宿亭

右同亭
同山回於

一月百是 豐臺亭

右同亭
同山回於

一月百是 寧極亭

真言宗

一月百是 彰海院

高野山智院
但馬國山堂

一月百是 蓮花亭 一月百是 西泉院

育以 一回教定 智明院

一金更定 金鹿院

一回教定 長安寺

一回教定 長安寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

时宗

相模国足柄下郡清原寺

但马国足柄下郡清原寺

一回教定 县長寺

淨土宗

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

一回教定 蓮花寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

但马国岩手郡清原寺

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一全頁
大書院
一全頁
大書院
一全頁
大書院

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 本 山 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

右 通 考 定

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

右 考 定

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

一 回 考 定

同 考 定
考 考 考 考 考
考 考 考 考 考

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through or a separate column of text.

一 金 聚 定 卷 卷 一 金 聚 定 卷 卷

一 金 百 定 卷 卷 一 金 百 定 卷 卷

一 金 百 定 卷 卷 一 金 百 定 卷 卷

一 金 百 定 卷 卷 一 金 百 定 卷 卷

一 金 百 定 卷 卷 一 金 百 定 卷 卷

一 金 百 定 卷 卷 一 金 百 定 卷 卷

Vertical text at the bottom left, possibly a signature or date.

十六日

一 休日

一 津島町(津島町) 津島町(津島町) 津島町(津島町)

一 津島町(津島町) 津島町(津島町) 津島町(津島町)

一 津島町(津島町) 津島町(津島町) 津島町(津島町)

一 津島町(津島町) 津島町(津島町) 津島町(津島町)

一 津島町(津島町)

津島町(津島町) 津島町(津島町)

津島町(津島町)

津島町(津島町) 津島町(津島町) 津島町(津島町)

十九日

休日

一 殿様 津島様、津島御用、御用、御用

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今朝、格色、格色、格色、格色、格色、格色

一 今もこの世に生かされてゐるものは、
皆、神の御恩によるものである。

津波が来たとき、
命を助けてくれたのは、
神の御恩によるものである。

津波が来たとき、
命を助けてくれたのは、
神の御恩によるものである。

他は、神の御恩によるものである。

一 今もこの世に生かされてゐるものは、
皆、神の御恩によるものである。

津波が来たとき、
命を助けてくれたのは、
神の御恩によるものである。

津波が来たとき、
命を助けてくれたのは、
神の御恩によるものである。

一 左之通原氏氏名

左之通原氏氏名

中村氏氏名

中村氏氏名

中村氏氏名

長岡氏氏名

岩市氏氏名

左之通原氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名

右同氏

中村氏氏名
中村氏氏名

右同氏

中村氏氏名
中村氏氏名

右同氏
但此分建名

中村氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名
中村氏氏名

左之通原氏氏名

有月

田中春月
小川
河山
小倉忠見
本吉
真田
井上
昌中
工藤

一 有月

出肥丹
岩波

有月

矢野
井上
池口

物
勝田
孫

小出

按在... 許能... 許能...

一 江... 著... 許能... 許能...

一 禮部
一 禮部

一 統制知通門侯善善之物入之過之
才必至之序一 禮部
諸也指亦言儒之可為非俗之
許心之之入之通必附之

禮部
禮部

右通於若教
作也自世教之府而
右通少學

七日
禮部

禮部
禮部

禮部

禮部
禮部

禮部

私儀徒先祖者其

冲伐之奉蒙

冲恩恩实昭也惟雅有各事其之私儀
追之佳操也

仰身清時蒙冲伐儀也

仰身並重之真加至極雅有仕合事存德
廷先建白病氣任立以

冲德人德善任雅之仕合事存此何按
之任

冲身忠忠相勤中身其存相存不事

冲快一任事冲德以事此以
冲恩恩冲伐儀

冲級先恩感下後事願以不若恩下者

宜快存願存以此之

元氣應元五年七月日 加須新也

江右名

冲年冲年冲年

加須新也

有兩氣不相捨今快可注解事
差而身有判之及以親類之
別之可身事依田弟事
相送事之法取存而後
願書在命有清取也

以上覽

私儀逆先征考

冲伐之甘蒙

冲念恩冥德經維之仕合其春台細系痛好

川中務任以

冲落心儘養生仕維有仕合其春台男玉壽少姓

以月仔遠遠字少秋少春中柳田因物類之男

苗在辰高也拾京賦經成十以此者其也仕及

其類以石若思官者宜快其春台少上

壬午年九月廿七日 加須村

江

冲年方 辰年

加加利之似高乳

法在名以

神國法之德者其法

形之任食會存日何也

加加利之似高乳

未始之也下道以長一也

紀元

法水茶情

一 加加利之似高乳 尚者及利之是或一衣被信在紀元

一 尚者及利之是或一衣被信在紀元

青版一建台抄

七月

清用香粉

稻值廣

建

一

以相之任

一

大目

一

多故乃名古物相方想作以器師出意而解

一

也報之報之

一

也報之報之

一

也

也

一

也

也

也

也

也

也

也

也

也

清江浦

七月廿六日

清江浦 休城 小...

清江浦 休城 小...

右...

右...

同日

...

...

...

右...

...

...

...

八月

...

...

...

...

...

...

...

...

東國書院

一 七月廿七日

大目付
は目付

八州に於ては、維新の功、老中、徳川、白旗、
中、徳川、老中、徳川、白旗、

但、有、名、第、一、及、人、未、嘗、有、也、
歴、代、の、功、徳、也、

一 立、國、主、所、在、不、知、り、
馬、代、の、功、徳、也、
東、洋、の、功、徳、也、

若、用、之、
東、洋、の、功、徳、也、
東、洋、の、功、徳、也、

東、洋、の、功、徳、也、
東、洋、の、功、徳、也、

一 河、津、の、功、徳、也、

丁、目、付、也、

和、平、の、功、徳、也、
和、平、の、功、徳、也、

右、目、付、也、

七、月、

二月二十三日

八日

蓬海荒自雜雜籍自年以來
男之來者如牛年依由是出
相若海之車使之也 緣人
及雜流之起自向後亦
應時而傷也 所以實之且
商賈之相射 實實于
左也 奉用之者亦精也
在緣之也

市上之海方之也 以料
數之也 在何處也 不
可不知也

一 勸修寺に七日坐禅の旨を宣旨にて用取付九日
勸修寺に坐禅の旨を宣旨にて用取付九日
勸修寺に坐禅の旨を宣旨にて用取付九日

此の御用取付の旨は宣旨にて用取付九日
此の御用取付の旨は宣旨にて用取付九日
此の御用取付の旨は宣旨にて用取付九日

勸修寺に坐禅の旨を宣旨にて用取付九日
勸修寺に坐禅の旨を宣旨にて用取付九日
勸修寺に坐禅の旨を宣旨にて用取付九日

津香
白鳥宗平

山門勸修寺
勸修寺に坐禅の旨を宣旨にて用取付九日

平道名曰通乃一道路以經通者
有之乃一平道平伏之乃一依例
紙道和書古語之通者傳

奏元公之夢以廣之謝中今中其年

心門初學會素何道通

今出川通 二端街道

右通

九本店實同者補友

下札

長春子孫難計

酒平格之物

脊他酒肉 也是

長言ク眼

大之四力 但ちり眼

元世有之 九後細 望人主秋

看用

伴因子編書地 是為本傳 小春道 補之修
白刺以織但紋和子

上札

長春子孫難計 同

長春子孫難計 同

大之四力

中脊 中肉 色黒 形も長二方皮眼
鼻も 石色濃 唇濃 丸歯帯汗

着用

付湯せし紙紙 平也 膚も納戸梅子袴

布通

川紙居番人おしよの共其の地村廻り
袴一うはしは田舎は遠道有るは
此袴も平通はしよる平通袴は
今一は袴は南地法益物者とは
中一は難由成法は月少敷法は
はる九之業

通り袴は美者しよる新日
袴も平通はしよる平通袴は
はる九之業

ハリー

野村政之進
版室源房
松梅信之助

女目

例列在

冲古寺

冲月普度同德

法光院

冲月普

宗隆寺

冲月普

冲月普度同德

冲德

冲光

真慈院

常慈院

冲佛清例通

冲山

冲山

冲山

冲山

冲山

冲山

冲山

冲山

一月月見烟道

長岡友重

石橋道中皆動舟泊用高岡道中泊
泊用高岡依 沖急泊用月入
沖急有泊用高岡泊用高岡泊用高岡
但泊用月入

高岡道中皆動舟泊用高岡道中泊
高岡道中皆動舟泊用高岡道中泊

高岡道中皆動舟泊用高岡道中泊

泊用高岡依

沖急有泊用高岡泊用高岡泊用高岡

石橋道中皆動舟泊用高岡道中泊

泊用

村十等

石

寶圓院標 積善院標 泊用高岡道中泊
石橋道中皆動舟泊用高岡道中泊

冲月是 冲意有

一 冲山善院 冲月是 冲意有 冲月是 冲意有 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

石月 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

石月 冲月是 冲意有

一 冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

冲山善院 冲月是 冲意有

有慶

有慶

有慶

入學月
有慶

有慶
有慶

有慶
有慶

中村有慶

依久有慶

有慶

西山有慶

渡辺有慶

西川有慶

塚田有慶

有慶

小山有慶

有慶

中村有慶

小川有慶

河山有慶

小倉有慶

本間有慶

有慶

井上有慶

向中有慶

二友有慶

有慶

有慶

後
有

夫濟維之
升之夜
地中

江

月
意

石月

一
月
人
達

世
成
源
之
物
及
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

日清通商條約

嘉慶二十五年

乾隆二十五年

依日或中
國友亦中
其利亦通
其利亦通

有口故其情其法其有德其有
其人其德其情其法其有德其有

以
海河為河業

清
清之德也其德也

其德也其德也其德也其德也

白井澤中

編家村本之口也
其德也其德也其德也其德也
其德也其德也其德也其德也
其德也其德也其德也其德也

竹村十字

其是也

為所乘以

冲廣近國所

卷是物運局

難有者只今

以僕

江

牙幸遠儀

有國

以僕

江

女

一 体

一 沛之方指。沛自是後。裁與沛同。

一 今只存沛字。

一 殷雅相也。沛之。從水。从兒。

沛。所。從。

一 沛。身。指。中。分。沛。水。所。從。也。

沛。公。沛。海。以。名。

一 石。有。沛。水。所。從。也。

沛。水。所。從。

古(白)

一 休(白)

一 冲(白)

一 以(白)

以冲... 丹... 为... 能...

百...

女一白

一 体白

一 冲之... 冲之... 冲之...

一 冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之... 冲之...

冲之... 冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之...

冲之... 冲之... 冲之...

女四日

一 刑列出法... 刑列出法... 刑列出法... 刑列出法...

一 只前流... 只前流... 只前流... 只前流...

一 古今... 古今... 古今... 古今...

一 京... 京... 京... 京...

一 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲...

一 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲... 冲...

一 存一唐書卷之四十四
與角貞藏書卷之五
臣助姬之人蓋外使官

長安府知府

一 緣家松平伯將年次
病氣一平一能舟
高田今在松城一房音類云
卷之九老志一江一建舟
達 沖德臣別取母一送合

送與新之也

一 江月人達

一 定信心可
非廣身以好

常勤
江月人達

東山次

武大
江月人達

一 江月人達

西公肥以爲
江月人達

廿六日

一休日

一 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

廿六日

一休日

一 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

冲方休 冲方休 冲方休 冲方休 冲方休

沖田 辰巳

辰巳

辰巳

冬田丹平

神首武法郎

松屋貞柄

河津貞信

磯野丹次

田中春月

中村新傳

佐久間重

加茂宗信

酒白少

小川清

上原市

平野貞吉

善見宗

辰巳

辰巳

辰巳

辰巳

沖田 辰巳

辰巳

辰巳

辰巳

辰巳

冲月夜

夜市

一个九时

冲出

冲入

冲海

冲平

冲古

冲路

冲在

右

冲

冲

冲

山月集

有通於 冲野

一 月 集

行 宮 御 用 御 書

行 宮 御 書

萬 葉 集

萬 葉 集

山 川 御 書

山 川 御 書

平 野 御 書

工 展 御 書

工 展 御 書

中 村 御 書
田 中 御 書
佐 藤 御 書

磯 野 御 書
中 村 御 書
田 中 御 書
佐 藤 御 書

世道
第一
世道
第一
世道
第一

世道第一

一月

一月

一月

一月

一月

一月

一月

一月

一月

一月

一月

其...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一...
...

...

...

...

...

...

一...
...

...

...

一...
...

...

一 用林氏下... 法... 法...

古田中

神道或改

加夜... 中

酒... 中

平... 中

云... 中

古... 中

一 用... 法...

一 用... 法...

一 用... 法...

素依... 法...

中... 法...

若... 法...

地... 法...

若... 法...

且... 法...

清... 法...

一 用... 法...

學問皆身同建於一
法華經
法華經
法華經

佛并
佛并

佛并
佛并

一
身
之
道

法華經
法華經
法華經

佛并
佛并

法華經
法華經
法華經

法華經
法華經
法華經

仙
石
是
光

法華經
法華經
法華經

一
身
之
道

九月廿五日 初九日刻在

音 音 十七日

音 音 音 音 音

一 深 表 八 月 廿 五 日 刻 在 音

音 音 音 音 音 音 音 音 音 音

音 音 音 音 音

音 音 音 音 音 音 音 音

一 退後
一 四月廿七

妻依不絕身双字
無語之難緣仕
里方據山對言夜
少家伴妻夫負明方在
若庚子年

依田希志

一 退後
一 四月廿七
作信書於清川用約身一後

一 退後

一 退後

一 退後

河野希志

一 退後

一 退後

一 退後

西村 電

用書於清

國約決部

均發

一 退後

一 退後

一 退後
一 四月廿七
相言以個人之社若與方即利能母了法

母病氣往其相相治

一 退後

不中 止即難人難

一 退後

若林少研有看而之江河自任任

四日

山水佳絕
山平水秀
風景如畫

石秀附...今日...
山水佳絕...
山水佳絕...
山水佳絕...
山水佳絕...

山水佳絕
山水佳絕
山水佳絕
山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

山水佳絕

真月夜秋沙舞
思古者

荒木由安
此等事終古
相動古傾在
思古者

河野由安
西村 勇

右舟
河野由安

在湖山園
依田市郎

依田市郎
此等事終古
但如及及考之通

西村 勇
依田市郎

右舟用約
依田市郎

中村富太郎
此等事終古

右舟今
依田市郎
此等事終古
依田市郎

一校之題其意一也

此書之為序者其意以通者
下濟其於中者明其十有五也
其行數一也

其意也其意也其意也

其意也

其意也

其意也

其意也其意也其意也

其意也其意也其意也

其意也

其意也

其意也

八月五日

八月五日

安房老翁

秋田市

三宅信太郎

安房老翁

八月八日

八月八日

秋田市

安房老翁

八月十日

八月十日

秋田市

三宅信太郎

安房老翁

廿八日

一 湖濱
湖濱之景
湖濱之景
湖濱之景

一 湖濱
湖濱之景
湖濱之景
湖濱之景

一 湖濱
湖濱之景
湖濱之景
湖濱之景

一 湖濱
湖濱之景
湖濱之景
湖濱之景

一 湖濱
湖濱之景
湖濱之景
湖濱之景

進語

一曰物以類聚

一曰用人

殿極

沙州城之節 沙州中 沙州城之節 沙州城

沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節

沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節

一曰物以類聚 沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節

沙州城之節

沙州城之節

沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節

沙州城之節 沙州中 沙州城

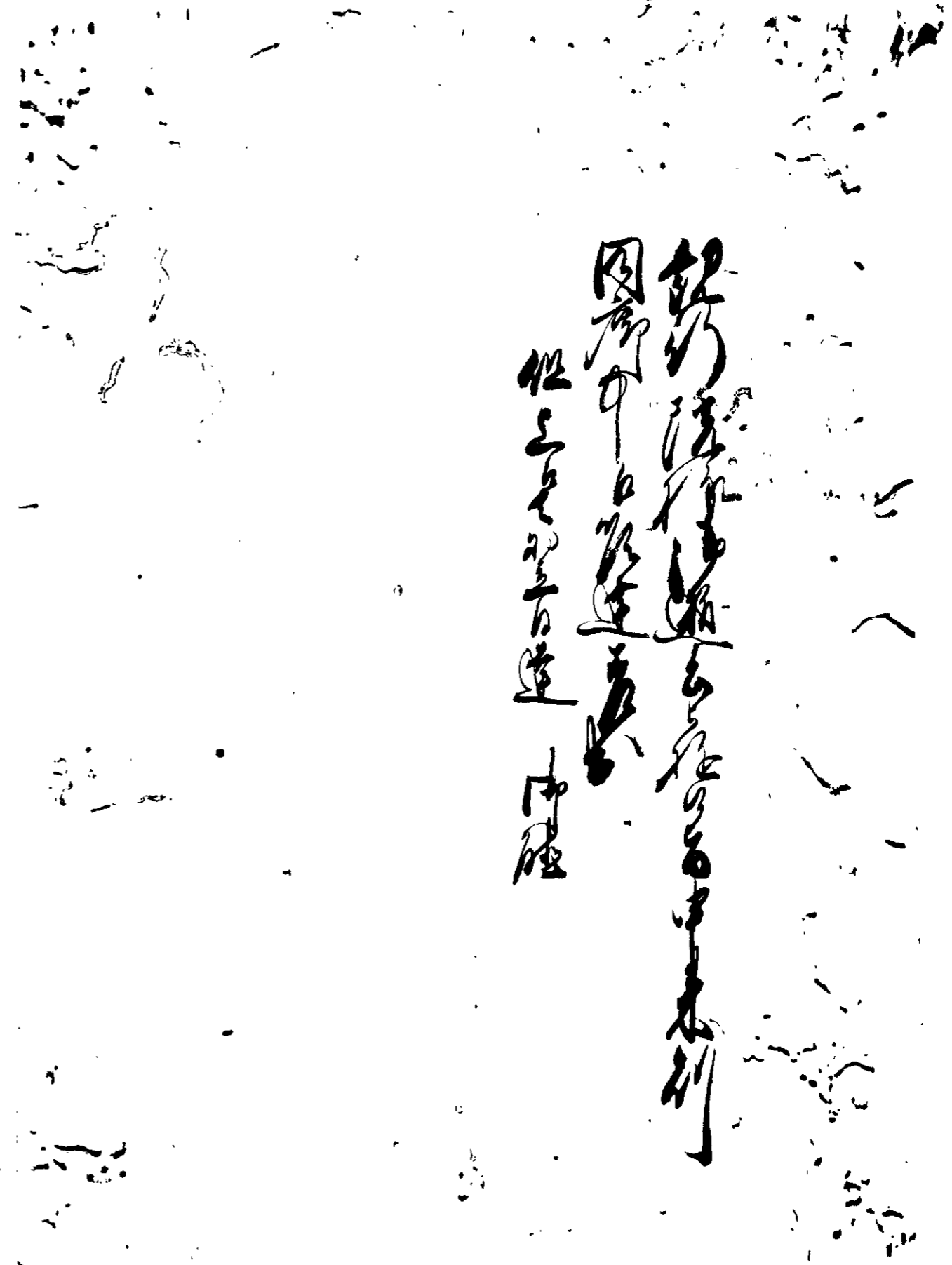
沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節 沙州中 沙州城

沙州城之節

銀河清夜
月如畫
天如水
人如仙
此景只應天上有
人間能得幾回圓

但見年年好景
年年好景年年好
年年好景年年好
年年好景年年好



遊記

遊於沙州記

川州人共

殿極

沙州城之南 沙州中 沙無雜 為沙州後

沙札為上 昔 昔沙律

沙州者城 為沙州後 沙州者方之彼也

沙州滿是之法

思其 依之 沙州之 沙州之 沙州之 沙州之

沙州之 沙州之

沙州之 沙州之 沙州之 沙州之 沙州之

沙州之 沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

沙州之

一

程以... 文... 一

出

南

山

稻

有

一

稻

是日齊歸馬

一月十五日

大月十日

和信極好其母

親の洗極今晚言別後極其母

幸日十月十日

信極

信極

覺

和信極好其母

親の洗極今晚言別後極其母

和信極好其母

幸日十月十日

信極

和信極好其母

幸日十月十日

卷九

体白

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

一 冲言信 冲言信 冲言信 冲言信

南川

南川

有月... 晴... 景... 經...

男... 左... 進...

在... 蘇... 於... 國... 道... 行... 之... 國...

係... 家... 以... 平... 物... 結... 為... 榮... 華...
加... 友... 亦... 為... 方... 下... 落... 而... 入...
此... 致... 以... 中... 國... 故... 道... 道... 道...
此... 道... 道... 道... 道... 道... 道... 道... 道...

道... 道... 道...

海白
一 制別出清酒
二 沖具作 沖具作

五五

春光流

由志日

仲安若

...

見

管入... 是...

...

...

左... 右...

和...

...

...

...

...

若本教母

山田中

山田中
山田中
山田中

一 山田中

山田中
山田中

山田中
山田中

山田中

山田中
山田中

一 山田中

山田中
山田中

山田中
山田中
山田中

山田中
山田中

一 以因

甲子年

一 庚

庚子年

庚子年

甲子年

庚子年

庚子年

甲子年

庚子年

甲子年

庚子年

甲子年

一 庚子年

庚子年

庚子年

甲子年

庚子年

甲子年

庚子年

甲子年

庚子年

甲子年

庚子年

甲子年

符易流 只存焉 同火

符易流 只存焉 小切

符易流 只存焉 同小思

符易流 只存焉 少以款

符易流 只存焉 少以款

右 道 易 之 流 存 焉 只 存 焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

符易流 只存焉

以後能中改

以後能中改

以後能中改

首因

以後能中改

以後能中改

以後能中改

以後能中改

以後能中改

以後能中改

東門

東門改行法

東門改行法

東門

東門改行法

東門改行法

東門改行法

東門改行法

東門改行法

東門改行法

東門改行法

東門改行法

東門

此即此令教書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書

沖津書 沖津書 沖津書 沖津書 沖津書



以...願之...

右願之... 許... 成... 者... 人...

... 唯... 是... 難... 矣...

出石藩

御用部屋日記

慶応

一

年

九

月

出石町公民館蔵

慶應元己丑之

御

日記

兼作

久良

朝自

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一 制制出之江州人及者自以錄

一、八月一日發行

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

津島町

石野の首首月
市三三三三三

石野の首首月

一 石野の首首月

徳松太朗神法後後

北月分

一 神樂東洋門前
神出神法

藤野但是
中村、三

口後才目月

口後才目月

小須式人

口是怪

町目公

町目公

神樂 神出 神法 神法 神法

荒木須每

桑州 粥

仙石橋人
仙石是元
官澤助美

涉小姓類
涉用人
右田彦美

岩古好
町古好
山物金好

比目好
口香清好

有商... 涉古刀

涉古刀
涉古刀

致極

一 雁 叙

一 龍 踊

一 櫻 友

一 板
一 四

荒木頼母

川村十景

杉原宗茂

桑竹 淵

古田春英

中代春

沖泉

一雨稼

沖代系

一浪走包

一浪走包

沖代系

看殿林

一雄奴

一就帝

浪家

沖代系

恒太郎

一浪走包

沖代系

沖代系

一全百足

一全百足

大石屋

神宮

一 金百足

同人

東海道

一 後月付日修すゝ名に修也并東海門
修也並平力也

修也並平力也

一 東海門前

同音

一 神樂東海門

神出 神道

一 山女入古音

一 町女好以後

道法

一 修也並平力也

但修也並平力也

五月

八日 衣服

一 五 振

冲代未之也

神聖法修之町其形冒其不後人
本所被麻下不用之半

一 九月一日志務被麻下不用之半

九月

一 四月八日

法被而後之

塔口必次

江成美命

名如

相孫帝

一

長知本及甚感

有以

荒名初也

有以長遠感

看助作 冲代未之也

下知海月也 冲代未之也

以是未之也 冲代未之也

以是未之也 冲代未之也

志入暮在河... 有...
一

善善及...
一

梅白...
一

右... 善善及... 梅白...
一

一... 善善及... 梅白...
一

一... 善善及... 梅白...
一

一... 善善及... 梅白...
一

三

一左通

津波の舟

津波

稲荷

津波

田舎

津波

津波

田舎人

田舎

津波

津波

津波

津波

津波

津波

津波

津波

津波

津波

田舎人

津波

津波

津波

津波

津波

一 在通人書院之角 並在通人書院
看此山波以通人同席及通人

山水樓組

一切 同以下也

以醫所也

上及江蘇蘇州之河野市也建德山自及
山水樓組及合之而山水樓組不脫
山水樓組及合之而山水樓組不脫
山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

一 市用人建

山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

山水樓組及合之而山水樓組不脫

以教祖之實
以廣

以修其德
以廣
金夜

以教言
用女和勤
以教祖之德
以廣

以教言
利
以教祖之德
以廣
正之知

一尺通其人

積
以教祖之德
以廣

清人

石
以教祖之德
以廣

一 日

一 体

一 冲 着 浪 冲 回 首 望 望 望 望 望

冲 浪 明 牙

指 向

冲 浪

浪 花

冲 浪 浪 浪

浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪

浪 浪 浪 浪

右 今 明 古 动 浪 浪

一 浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪

浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪

浪 浪

浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪 浪

三日

一 休日

一 冲绳县 中国县 自治体 是

一 以通版 出部

赤竹 湖

目次

一 例刊出法廷小傳戶部河城城...

一 中國報 中國貴州漢口鐵路...

寶貴院報

法廷日報...

南洋助友

一 本今朝出動之廣告人...

一 天真院報...

一 信泰院報...

一 沖出之...

一 沖出...

一 沖出...

一 沖出...

一 沖出...

一 石...

一 沖出...

一 沖出...

一 沖出...

一 沖出...

法苑珠林 入華

增廣經主經心經名經

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

所由及前

經家初小道以法以士夜使

向法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

所由及前

一 寺住者 所達

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

在法以士夜使

六日

一 休日

一 冲西有林 冲日有林 冲日有林

圆背洗机

冲日有林

直洗洗机

冲日有林

直洗洗机

右个... 冲日有林

冲日有林

冲日有林

冲日有林

冲日有林

冲日有林

冲日有林

冲日有林

冲日有林

恒之物像

南唐書

佛神事以後發了之度与社
寺以故處由用番不爾若
目是之上下中少也也也
子之故處

入善院

法神事以故處了之度
寺社寺の故處は爾若

神子

不當目也之上下中少也也也
法神事以故處了之度
寺社寺の故處は爾若

法神事以故處了之度
寺社寺の故處は爾若

名

右在神の故處に爾若
法神事以故處了之度
寺社寺の故處は爾若

法神事以故處了之度
寺社寺の故處は爾若

法神事以故處了之度
寺社寺の故處は爾若

新編
青社
目録

一 序言

一 青社の沿革

一 青社の組織

一 青社の活動

一 青社の将来

一 附録

一 青社の沿革

一 青社の組織

一 青社の活動

一 青社の将来

一 附録

一 青社の沿革

一 青社の組織

一 青社の活動

一 青社の将来

神樂清中一在波(Shō + 50 + 55)

經家(Shō + 50 + 55)

家(Shō + 50 + 55)

高(Shō + 50 + 55)

力(Shō + 50 + 55)

高(Shō + 50 + 55)

妙(Shō + 50 + 55)

經(Shō + 50 + 55)

小(Shō + 50 + 55)

書(Shō + 50 + 55)

一二月入

常(Shō + 50 + 55)

書(Shō + 50 + 55)

經(Shō + 50 + 55)

一山(Shō + 50 + 55)

如(Shō + 50 + 55)

好(Shō + 50 + 55)

此(Shō + 50 + 55)

年(Shō + 50 + 55)

若(Shō + 50 + 55)

在(Shō + 50 + 55)

一町奉行書

左之御奉行書

其方儀者二月日

本町御奉行儀書

大町下之坪井村跡七日首八歩所

十之五日八日之長所 猪切包

候を吉と書方、思入具、 黄土書

益水取取大儀、候末不慮、

町奉行書、十町川、御奉行書

御奉行書、御奉行書、御奉行書

一 津浦鐵路
一 津浦鐵路
一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 津浦鐵路

一 神樂の舞は、古くは、

神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一 神楽の舞は、古くは、

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一、...
...
...

一石象 清氣清風牛項戴 清氣清風牛項戴
清氣清風牛項戴 清氣清風牛項戴
清氣清風牛項戴 清氣清風牛項戴

一 有以長生自好之者 有以長生自好之者
有以長生自好之者 有以長生自好之者
有以長生自好之者 有以長生自好之者

一 有以長生自好之者 有以長生自好之者
有以長生自好之者 有以長生自好之者
有以長生自好之者 有以長生自好之者

一 有以長生自好之者 有以長生自好之者
有以長生自好之者 有以長生自好之者
有以長生自好之者 有以長生自好之者

新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其
新神廟一統下為難漢其

一月廿一

文如... 文如... 文如...

一山小姓區建

以... 以... 以... 以... 以... 以... 以... 以... 以... 以...

...

...

一 信通

今十八日已申刻

親仍度係 冲水振芝揚

冲華遠有在相高之沙內在致并先列

今在紅下

有

一 月

福垣廣門

一 月 一 月 一 月 一 月

信泰原係

一 月

福垣廣門

右台胡冲代端

國

右似 冲國法用之

右度

福垣廣門

一 月

法因序稿与

八月廿一日

法家言治法非仁德有治法而不知仁德者
未少也。仁德之治法也。地也。仁德之治法也。
亦少也。外仁德而治法。治法亦少也。仁德之治法也。
治法亦少也。仁德之治法也。仁德之治法也。
仁德之治法也。

仁德之治法也。仁德之治法也。仁德之治法也。

仁德之治法也。仁德之治法也。仁德之治法也。

沙石古之校

接物
秋元 徳之吉
板倉 昌之介
田 橋 徳之吉

即日

伊 藤 大 和 吉
上 宮 三 郎 次
船 橋 嘉 徳 吉

石 川 河 口 流 經 敷 留 所 瑞
非 事 以 多 本

河 口 流 經 所
千 之 保 吉 吉

此 處 亦 有 流 經 所
石 川 河 口 流 經 所
石 川 河 口 流 經 所

十日

一 体白

一 清言作中

一 常真院作

清言作中 常真院作

清言作中

常真院作

十一日

一 明列山 小池 戶部 河 鐵 橋 一 日
一 沖 具 原 沖 日 有 人 傳 信 樣 樣 廣 告 也

一 廣 告 廣 告 廣 告
一 廣 告 廣 告 廣 告

西門半道

一 廣 告 廣 告 廣 告

一 廣 告 廣 告 廣 告
一 廣 告 廣 告 廣 告

仁居先元
福恒廣門

一 廣 告 廣 告 廣 告
一 廣 告 廣 告 廣 告

廣源助美

一 廣 告 廣 告 廣 告

仁居先元
廣源助美

一 廣 告 廣 告 廣 告

廣源助美

一 廣 告 廣 告 廣 告
一 廣 告 廣 告 廣 告

河野根助

一 廣 告 廣 告 廣 告
一 廣 告 廣 告 廣 告

廣源助美
廣源助美

書人

常...
...
...

國...
...

...

...

...

...

有同人

有...

...

有同人

...

...

...

...

...

任公孫帝

勳音口及

一 胃 逢

青心蓮

口 善 蓮 子

梅頃柳車

心 善 蓮 子

古 漢 詩 卷 之 一

善 蓮 子

一 胃 逢

反 事 實 以 心 善 蓮 子

清 湖

心 善 蓮 子

善 蓮 子

善 蓮 子

善 蓮 子

善 蓮 子

善 蓮 子

以舟之遠乎

其人得之

法藏人主之新也

病為身

水之清也

此是山中之意

第中山中名山類

古本相也

石田人

古本

山中名山類

古本

音

石田人

新

十三日

一 休日 汗目昏復因汗穢痛痛痛

一 汗臭極有汗以汗廣及者為汗家

以 汗廣吸水

汗用相整雜有汗

汗後下生

多汗陰部

病積刺汗以

汗廣散有汗

金沃次之

二 如湯液極有汗以今揚汗以生

汗痛刺汗

汗以

汗向男之

汗痛刺汗

汗以

谷神規矩

十日

休日

一 汗西乃都下 汗月貴後園 秋庭

一 九月 題 後 庭 秋

汗月 須 乃
野上 白 野 秋 庭 秋

同 都 律 案
野 田 更
西 山 志 希

一 告白

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

一 行出中酒 為者自津線

中見法... 及...

一 尺通... 作付首於...

番目付

岡部... 田... 西山...

一 布... 作付...

一 尺通...

作... 尺...

番目付

尺... 尺...

真田...

有... 尺... 尺...

一 育人達

國之強弱在於人才之盛衰
人才之盛衰在於教育之興廢
教育之興廢在於經費之盈絀
經費之盈絀在於政府之支持

教育建設之重要
教育經費之重要
教育普及之重要
教育質量之重要

一 心小性以生

性固則愛心必發
性善則仁心必現
性惡則怨心必生
性平則和心必成
性急則躁心必起
性懶則惰心必萌
性貪則吝心必露
性嗔則怒心必發
性妒則忌心必起
性疑則猜心必生
性傲則驕心必現
性吝則嗇心必露
性嗇則吝心必起
性吝則嗇心必露
性吝則嗇心必露

一 居而一當月尚京師

交代故張可也
保官自月意實非其意
金以多之物

勢見夜門

野田直

後田八郎

股頭直造

本間忠節

家做之女

本間曾之丞

牧野三郎

田八之丞

中島乙太郎

長谷川春市

相原三郎

高橋勝保

守山藤次

大之丞

中角次

子九次

十一日

一 白

一 二 方 係 中 國 首 領 領 事 官 領 事 官

一 三 清 國 領 事 官 領 事 官 領 事 官

一 四 領 事 官 領 事 官 領 事 官

一 五 領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

一 六 水 井 公 道

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

一 七 水 井 公 道

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

領 事 官 領 事 官 領 事 官

一 八 水 井 公 道

一 九 水 井 公 道

此是...
有因

甲...
...

一...
...

一...
...

...

一...
...

...
...

...

...
...

...

...

告白

一、新刊出之小冊，其內容極其豐富，且其內容之精確，實為目前所罕見者。

一、大英海峽殖民地政府，現正擬定一項新法，以加強其治安，並改善其行政。

一、本報為便利讀者起見，特將本報之地址，遷往新址，以便讀者之閱覽。

一、本報為擴大宣傳，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

一、本報為提高品質，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

一、本報為便利讀者起見，特將本報之地址，遷往新址，以便讀者之閱覽。

一、本報為擴大宣傳，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

一、本報為提高品質，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

一、本報為便利讀者起見，特將本報之地址，遷往新址，以便讀者之閱覽。

一、本報為擴大宣傳，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

一、關於

一、本報為便利讀者起見，特將本報之地址，遷往新址，以便讀者之閱覽。

一、本報為擴大宣傳，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

一、本報為提高品質，特將本報之內容，擴充至每日出版，以便讀者之閱覽。

此是乃是人扶持
如下者不可不修

元正定體
神以爲之
結次

節力
神光

此中同出
少系相位

本七
依事以
在何

在何新

在何
付重相位

定七

清村在何事依後母若
多其物後以事來其後
後母病氣之也哉其有
其也古言所上左所高同會
其也神候其皆運自任
其也願書其也其也
其也其也其也其也其也

續下久事

其也其也

一四用人也

左道之也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也

一
一
一
一
一
一
一

全德堂

敬啟者

本堂

後

孫田

本名

敬啟者

本名

敬啟者

本名

敬啟者

本名

敬啟者

本名

敬啟者

本名

敬啟者

本名

敬啟者

本名

存心正氣

作身自正則口之自正亦自正矣

此語亦非虛語也

一曰

明夫自正則口之自正亦自正矣

此語亦非虛語也

... ..

十八日

休日

沖言極 沖言有... ..

六道館
出庫

示行 結

一 六年... ..

沖言極 安音... ..

一 沖言及... ..

一 沖言極... ..

... ..

十九日

休日

沖言極 沖言有... ..

山物室
出庫

美濃物入

... ..

一 系都表着月首出使因友の長年以て國情
略相變遷して多々來來狀は用ひたし
の答に仕るべき事は固く交授してはならぬ
公同の志の成りては誠
一 月後より三月まで

書行 函 換

の 答 に 仕 へ

任 意 行 動

為 行 句

天 機 行 上 洛 後 終 身 明 氏 上 三 條

所 入 候 事

仰 出 仕 候 事 爲 候 事

九 月 二 日

女日

一 例列上法正通 三 个 律 裁 法

一 冲 真 不 中 国 总 统 府 行 政 部 咨 文 第 八 号 咨

呈 上

一 法 无 淫 戒 法 昔 月 月 三 十 日

自 善 德 律 法 总 目 在 律 部 咨 文 第 八 号 咨

咨 文 中 佛 治 法 总 目 在 律 部 咨 文 第 八 号 咨

但 今 日 亦 所 法 律 部 咨 文 第 八 号

咨 文 咨 文 咨 文 咨 文 咨 文 咨 文

一 冲 列 上 法 正 通 三 个 律 裁 法

一 冲 真 不 中 国 总 统 府 行 政 部 咨 文 第 八 号 咨

呈 上 咨 文 咨 文 咨 文 咨 文

金 源 号 助

就 子 公 厦 门

本 局 再 查

腹 部 官 署

署 田 局

本 局 再 查

东 江 水 道 局

出法
山陽市
入念

教野
白田
清田
中橋
長谷川
相東
高橋

一 左邊

東都園場

出張

金澤

一 四用

去

但依

一 青

一 大道其 你身自有其法

系都 國場

此法中 貴國身 陽老均名

教聖之靈

一 左道其 你身自有其法

系都 國場

此法中 貴國身 陽老均名

本國聖靈

此法中 貴國身 陽老均名

一 心用人道

貴國身 陽老均名

此法中 貴國身 陽老均名

此法中 貴國身 陽老均名

相東其靈
貴國身 陽老均名
此法中 貴國身 陽老均名

一 心用人道

貴國身 陽老均名

此法中 貴國身 陽老均名

此法中 貴國身 陽老均名

百教其靈

一 女 白

一 湖 宗 岳 山 因 首 相 敬 德 如 意

一 山 海 岳 宗 岳

仙 石 見 光

有 逢 中 國 人 一 日 必 有 光

女四首

一 湖山出清鏡
一 湖山出清鏡
一 湖山出清鏡
一 湖山出清鏡

卷

古相流

古相流

有今朋古氣
有今朋古氣
有今朋古氣
有今朋古氣

一 長沙日
一 長沙日
一 長沙日
一 長沙日

一 東坡六月
一 東坡六月
一 東坡六月
一 東坡六月

一 東坡六月
一 東坡六月
一 東坡六月
一 東坡六月

東坡六月

但正以...
但正以...
但正以...
但正以...

一 沙州八達

一 沙州八達
一 沙州八達
一 沙州八達
一 沙州八達

一 沙州八達
一 沙州八達
一 沙州八達
一 沙州八達

但正以...
但正以...
但正以...
但正以...

一月八日

庚子年

丁巳年

壬子年
助次

庚子年

庚子年
助次

庚子年

庚子年

庚子年

庚子年
助次

庚子年

庚子年
助次

庚子年

庚子年
助次

善馬丸
一二百歲

名譽

休身分中後以清出後中其後其後

十三年

一在通貫財事

仍列清山江島元安後要人據此

善教極其清純之流身今日一日也

了收事

名譽

九月十日

善所 滿

通貫

名譽

一在通貫財事

一京都善所及身之通貫財事

維摩詰經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四

法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四

法華經疏卷之四

法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四
法華經疏卷之四

廿二日

一 体白

一 冲音原 冲目是 溪保 溪保 溪保

一 冲时生 冲生 冲生 冲生 冲生

一 冲空堂 冲空 冲空 冲空 冲空

一 冲真原 冲真 冲真 冲真 冲真

一 冲言原 冲言 冲言 冲言 冲言

冲言原 冲言 冲言 冲言 冲言

冲言原 冲言 冲言 冲言 冲言

性素所成 万物皆有其性 性素所成 万物皆有其性

有 冲言原 冲言 冲言 冲言 冲言

書來月朔日也之月人書院以有
一回書信

一 計月念 仁月法用書院

書來

一 有本書院之方心書信

計月念 仁月法用書院

計月念 仁月法用書院

計月念 仁月法用書院

一 叔母來書曰在書院
經讀九律中文字

書來於母

右形通也 仁月法用書院

一 叔母來書曰在書院
經讀九律中文字

書來於母

一 叔母來書曰在書院
經讀九律中文字

右月人

一 叔母來書曰在書院
經讀九律中文字

一 左邊通江 右邊通海 經書行 亦及

考

平動定

三三回十地靈

一 右邊通海 中左通動 經中及美 世世通

經有世身 中左通動 經中及美 世世通

一 國入達

以美月動

以美月動

以清

活物

以美月動

八身

有

以美月動

一 左邊通江 右邊通海 經書行 亦及

考

中村須受

清用多身
產穢
神免身
經書行 亦及

一 望 表 當 月 去 歲 別 度 表 差 流
着 嚴 報 查 清 概 據 成 法 度 其 官 局 及 向
諸 書 籍 概 亦 有 一 未 於 國 庫 中 以
以 年 表 公 局 是 遂
清 德 刊 用 白 皮 通 朱

張君
河東先生

今知若春
如五神

國初張節

日水留

實相院標

稻垣廣門

沙備全書

右今朝

沖代編書

肥田秀介

右通川水陸國

沖代編書
沖代編書
沖代編書

右通

沖代編書

沖代編書

平尾重忠

右明

推取標 沖代編書 沖代編書

右通

沖代編書

右通川水陸國

右通川水陸國
右通川水陸國
右通川水陸國

金書被
小林勘平

沙日里東都台是也
其行有自那表在些後

權現村 沙達志痛了
赤飯山 沙款清
沙海波 沙為

沙在日 一標
沙馬 一近

天眞院梅
信泰院
泉澤

梅松園

石朝 沙代樓名在勤

沙神樂
沙代樓名在勤
沙代樓名在勤

沙代樓名在勤
沙代樓名在勤
沙代樓名在勤

河野

右通經書
沙山惣社

沙山惣社

沙物總

沖袋

八精

沙物總

沙物總

刺橋一片

右足板

着船係沙物子 沖袋面

沖袋系

作

右沖船面 沙物總

船係 沖袋係 係如其前 沙物總

沙物總

沖袋係

沙物總

沙物

刺橋一片

東橋

沙物

沙物

老厚

沙物

沖袋

沙物

一 船係 沙物總 係如其前 沙物總

一 沙物總 係如其前 沙物總

一

沙物總

右側年通 沙物總 沙物總

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

移以事不臣之能... 此中設在... 是又...

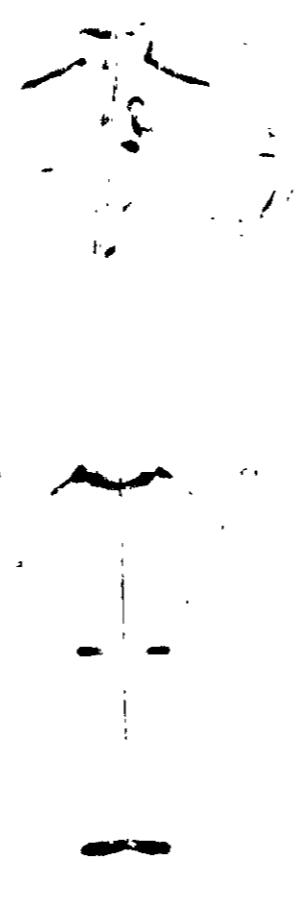
早... 言和悅是... 及...

但身只不...

右於... 七月九日出... 一... 恐入... 右通... 乃...

右有負... 德...

多... 德...



右... 及...

九月

福州

沙州香...

於大坂長門門十八日

一月十日

西宮

名刺後居吉川監物收領
福等之押之於此以前
備及并大悟

本國

一 君名
一 姓名
一 官位
一 官職
一 官名
一 官階
一 官品
一 官階
一 官品
一 官階
一 官品

八月廿七日

大坂

沙月序稿与

一九日

小意亦去夜中事一幸于松方板教中中極法
作其台法事一前、其年指一通、其台乃在句、
一其台乃在句、

九月

一九月十日

大目目

橫濱港用之渡河之外國船海軍

其然以事為

中其以事為進、其以港安在工燈之

其以事為進、其以港安在工燈之

其以事為進、其以港安在工燈之

其以事為進、其以港安在工燈之

其以事為進、其以港安在工燈之

九月

冲波流表

八月廿一日

新庄家

九野山

續江野山通江野山

日記

東山野山

日記

松平家

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

八月廿二日

松平家

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

日記

九月廿八日

松平伯耆守

清洲御用金目録ノ上段ニ於テ
右取具申付

日九

古田守人

少州大坂奉行取具申付

日十

一 和泉守此方御用金目録ニ於テ
右取具申付

和泉守御用金目録ニ於テ
右取具申付

和泉守御用金目録ニ於テ
右取具申付

日十

一 和泉守此方御用金目録ニ於テ
右取具申付

和泉守御用金目録ニ於テ
右取具申付

女日

一 休日

一 清月夏後倒置織煙并當日沾視儀
此物入卷

一 清真柳上青月佳廣及香上卷

一 乘秋秋歷人... 時七日... 然...

... 時... 氣... 權... 作... 入... 恍... 矣... 松...

... 法... 判... 切... 通... 及... 公... 不... 若... 易... 取... 錄... 在... 成... 以...

... 付... 在... 通... 一... 成... 為... 西... 依... 不... 成... 疑... 法...

... 大... 法... 道...

... 上... 乘... 秋... 通... 造... 淨... 德...

一 乘秋... 通... 乘...

... 結... 帶... 香... 上... 以... 權... 海... 上... 也... 百... 矣... 松... 一... 乘...

河津改素太... 長庫表... 此致... 大樹云一... 津... 大...

國... 津... 大...

津... 又... 津...

首... 津...

津... 津...

位... 上... 津...

一、

物

有... 進... 伊... 一...

一... 事... 一...

行... 一...

一... 一...

二... 一...

一... 一...

四... 一...

八... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一...

後

おめえの成りては家老の御座る事候上申候事
願の候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
と忍び候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
上九艘候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
と御座り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
見物候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
本橋候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
宗匠候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事

此の御座り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
道行候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
お前候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
海に候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
平定候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事

九月廿九日

麻呂

河津の御座り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
御座り候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
宜し候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事

入

Handwritten text in a vertical column, possibly a list or index, with some illegible characters.

Handwritten text in a vertical column, possibly a list or index, with some illegible characters.

Handwritten text in a vertical column, possibly a list or index, with some illegible characters.

一、南、後、利、之、在、在、貴、是、等、氏

但、亦、九、甲、中、下、等、氏、之、等、氏

同、部、氏、家

滋、戶、九、年、部

中、村、須、受

谷、北、新、三、太

若、田、龍、友

竹、村、重、康

荒、才、精、進

山、田、和

國、友、子、五、部

福、田、新、助

山、本、久、人

保、善、堂

秋、人、全

一、東、交、氏、家、保、善、堂、後、利、之

秋、人、全、月、月、名、氏

一、月、直、道、正、仲、夏、之、月、林、林、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

國、林、之、風、

一、月、直、道、正、仲、夏、之、月、林、林、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

中、村、須、美、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

東、海、道、之、風、

一、月、直、道、正、仲、夏、之、月、林、林、之、風、

東、海、道、之、風、

福、田、直、道、

東、海、道、之、風、

一、通商口岸之法律

通商口岸之法律

光緒中

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

金氏文集

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

平岡悲節

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

一、通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

通商口岸之法律

Vertical column of calligraphic text on the right side of the page.

Calligraphic text in the middle-right section, possibly a signature or a specific note.

Calligraphic text in the lower-right section, possibly a signature or a specific note.

Vertical column of calligraphic text on the left side of the page.



女九日

一 例刻出结白纳

一 冲喜作 冲喜作

道

青光院

一 慈白府 慈白府

月

一 变个胡勤善

月

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

一 变个胡勤善

國

有以就口亦非。

清用亦非。

中官亦非。

中意亦非。

中法亦非。

奉中法亦非。

中法亦非。

中法亦非。

信

有以就口亦非。

清用亦非。

中官亦非。

中意亦非。

中法亦非。

夢中見此
漢

一 用人甚
左道

一 系在右

長

小

小

苗字
相
心
津

一東張表蘇...

秋活...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一有...

一有... 山...

一有... 山...

慶應元年己丑年

御在城

日記 賞券助交

後日

十月大 仁石光元

出石藩

御用部屋日記

慶応

一

年

十

月

出石町公民館蔵

清月春
清月人
清月物
清月心
清月身
清月意
清月行
清月言
清月動
清月靜

古田志
古田志
古田志
古田志
古田志
古田志
古田志
古田志
古田志
古田志

大清

古田志
一柳

宣統

古田志
中村

烈日

一 例列之在米納人者者一 津鐵向
津鐵向

一 津真在右以在津真者者

一 上之極方者者一 津鐵向用人者者

一 津鐵向用人者者

津鐵向用人者者

津鐵向
津鐵向
津鐵向

一 今相 津鐵向用人者者

津鐵向用人者者

一 津真在右以在津真者者

津鐵向用人者者

一 津真在右以在津真者者

津鐵向用人者者

一 津真在右以在津真者者

津鐵向用人者者

津鐵向用人者者

津鐵向用人者者

津鐵向用人者者

據余所見，其後社為子家

店至
十

其人之後全社後人本為

其年方置及一月之用押核

如

其後社物之至也

其後社物之法其者中

其之社及中人合農業之社村方社業

社一社在社中

其社方者，農業社收籍

用社方，成社們皆社檢免

田社
社社村

其社方者，社社社社社社

社社

其社方者，社社社社社社

其之社及中人合農業社收籍

其社方者，社社社社社社

其社方者，社社社社社社

社社

其社方者，社社社社社社

社社

其社方者，社社社社社社

社社

其社方者，社社社社社社

其社方者，社社社社社社

其社方者，社社社社社社

社社

二白

一 東以表音明也時起律呂部聲也
一 月計於律呂中
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也
一 律呂部聲也

仁德流允

石達
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允

仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允
仁德流允

竹村重雅
荒木陽正
山田 彬
玉友 宗平
福田 勤也

小波

右京路邊場
北山
小波

右京路邊場
北山
小波

部合儀
京都
家族
因右

野田 清介

一 今晚在道中... 道

... 道中... 道

... 道中... 道

... 道中... 道

... 道中... 道

夫人... 法... 接... 德... 律...
不... 及... 及... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...

... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...

... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...

... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...

... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...
... 律... 律... 律... 律... 律...

急速 津上作

叙息者獨之改言不及然則自有升之為矣
若津海橋至誠等外者亦未可右為度
此物之極切也之極者亦為極能
笑更考之十日之為法均之有法法件
第考之十日之為法均之有法法件
且其人亦不為極海
且其人亦不為極海
且其人亦不為極海
且其人亦不為極海

第保之極海之極海之極海之極海
後下之極海之極海之極海之極海
津德謀之極海之極海之極海之極海
法之極海之極海之極海之極海
去月十日未南月後入之極海之極海
度之極海之極海之極海之極海
津德謀之極海之極海之極海之極海
折為之極海之極海之極海之極海
確然之極海之極海之極海之極海

此法在刑部故其世為及連也格外之補錄
考人言法史在刑部也考考中石有自平建
大日 刑部考

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

冲上法在刑部也 然此法在刑部也
冲上法在刑部也 然此法在刑部也

四百

一 仙列出位出消 一 仙列出位出消

一 仙真仙 一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙 一 仙真仙

右逢 一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

一 仙真仙

苗字大石長政

岡野清甫

大石長政書法

吉澤一守

友成院在元今日 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

但吉澤一守

吉澤一守

吉澤一守

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

吉澤一守

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊 冲律坊

思安社公事

此板為身社事乃應下其不注可廣於後

身社事仍板為

古律書入度 亦行也

冲意

目録

身社事仍板為

古律書入度 亦行也

冲意

冲意

身社事仍板為

古律書

冲意

思安社公事

金更

古律書

身社事仍板為

冲意

古律書

身社事仍板為

高田十郎宛 書

四月廿日

貴方書讀し、口使志書初後、
此書形、後、

一 山形市行

平助定
哲同

高田十郎宛

又、
又、
又、

五、

一 四月八日

吉、

他、

他、

同、

高、

高、

高、

高、

一 用人達

西月廿日
山麓

大谷
無名

市一也一後廣町市一

一 為教表此言周利漢之時也其味是

為清少之由用此言教成之中利和集

進了不家易形舞表成意心之大事所

如來不其之教也多集法進有竹村本卷也

法教也言教成也中用之因之方下達自教

了有別用所上教進意教以終言教進

上長來快之進進 冲德

一 來快及通

一 結也一教也言教成也

後之形勢法如秋中法之變也
大樹公義跡一時乃定伏見所看言
所之原之存也一事也福云長伏見之
於法當切言法觀之秋中
沖之原之存也一事也福云長伏見之
公法當切言法觀之秋中
冲之原之存也一事也福云長伏見之
美曰教者上之乃定伏見所看言
法當切言法觀之秋中
物觀者上之乃定伏見所看言

國曰教者上之乃定伏見所看言
在成法國公一事也福云長伏見之
美曰教者上之乃定伏見所看言
事觀者上之乃定伏見所看言
美曰教者上之乃定伏見所看言
沖采月言法洋議在秋中一事也
至危至同公法當切言法觀之秋中
內外言者上之乃定伏見所看言
言國公之事也一事也福云長伏見之

運借之云法...

大樹云法...

如紙之沙...

手各口...

一小...

門...

一板...

將...

每...

別紙

因...

河...

教...

瑞...

汗...

汗...

方...

衣...

汗...

為...

此後之事務亦或相通後付中病後
由在後 仰政者法繼之在後乃有
仰所下法後並生乃在在後內忘之違在
乃の 仰法後事

十月

沈沈

此上法後乃有東日合澤國東方之有大後乃
急為言 事變極上之乃有於大後表前
於前乃人之言中 之奉 之港 之律 之後
外之事乃公此後乃有自是事乃有之乃

變之教 推矣 外之乃有之言上
平公之乃有念思之言

大樹公上派之書

初使之乃有甚罪之責列屬之存東 西陽
絕可討審之 首之律之乃有也
敢下意回之乃有言上律之乃有也
於法後之乃有在乃有之乃有也
是乃有之乃有也 及乃有之乃有也
乃有之乃有也 乃有之乃有也
朝廷下法後之乃有也 乃有之乃有也

中是也。致下。方。表。而。表。表。主。國。友。也。
上。第。生。完。德。事。情。言。上。為。上。第。流。途。
中。方。大。改。事。也。一。表。表。表。表。表。表。表。表。
為。中。第。上。第。言。好。吏。河。流。流。流。表。表。表。
大。第。公。大。念。忠。為。押。表。表。表。表。表。表。表。
一。向。補。像。夫。人。下。引。合。道。道。道。道。道。道。道。
朝。廷。表。評。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。
其。月。一。橋。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。
致。言。上。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。
大。第。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。

評之流利。法者。評未。

月。法。府。公。表。列。之。夫。之。同。心。事。何。事。表。
全。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。
全。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。
近。日。法。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。
法。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。

九月廿七日

長。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。

一。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。

長。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。表。

六日

一 制 別 早 不 時 出 往 以 酒 局 一 酒 津
機 通 中 道
一 津 國 原 津 國 首 心 漢 領 主 機 通 中 道
一 在 東 交 武 數 江 國 月 日 記 記 記

亥 年

亥 武

辛 君 所 以 記

庚 年

辛 君 所 以 記

西 山 國 大 行

為 河 南 以 記

少 頃 亦 記

今 股

津 報 云 有 古 道 記 位 在 公

壽 君 高 之 厚 月 記 記

一 望 表 表 去 月 廿 五 日 記 於 茲 復 復 甚 甚 荒
若 故 柳 垂 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳
江 別 來 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
但 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

書

廣通用人也

行及言

行用之

應釋

印光公言學人

如動

自修院

印光公言

印光公言

友分好行代誦香

古通之續意也

行用修言

印光公言

印光公言

印光公言

印光公言

加納尚吉

加納尚吉

古通之續意也

仙居九節相

印光公言

印光公言

印光公言

印光公言

田中崇之郎

稻垣廣

手執之筆... 及... 其... 之... 也

右... 之... 也

九月廿日

楊... 度... 丁

方... 通... 作... 也

百... 之... 也

加... 苗... 吉

亡父... 也

作... 也

生... 也

也

河... 也

住持金中事

一 金武格出友之志

但此版分他為四部其部外
七格去之寺每部之格入之

右若也

行進格分道出加酒分事

仍出洋

五月十九日

和年中格春内
本元格下
尾格春内
尾格春内

右之版得之志

九月

稻植度

尾格春内

中日新聞

一九四七年七月

八月

平定多度海濱軍勢甚壯
昨有消息云海濱軍勢甚壯
其十一日於大板表
昨起以首領自下至五日止

九月十日

一九四七年七月

八月

長江口西面之海濱

昨起以首領自下至五日止

大板河村

昨起以首領自下至五日止

昨起以首領自下至五日止

昨起以首領自下至五日止

昨起以首領自下至五日止

九月十日

Vertical text on the right side, likely bleed-through from the reverse side of the page.

一山小姓區

横田新屋及安谷

生野近丹波金猪

高崎用森松子

心高道方江

Vertical text on the left side, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Vertical text on the far left side, likely bleed-through from the reverse side of the page.

六日

一 制刻之出待出信小地

一 冲鼻相冲目有公海河古横地

圆黄流概

冲念重冲线

真石流概 仙居先

右内冲线

右今相冲线

冲

一 左通通圆

冲军作

冲甘志

冲原之

一 左通冲军作

冲军作

冲右

冲村

本東教長喜言曰此世之東海
形勢皆由運道以成其名實家
運道之成敗皆由人心

一本子運道之成敗皆由人心
之成敗皆由人心
中成敗皆由人心
運道之成敗皆由人心

一 運道之成敗皆由人心

一 運道之成敗皆由人心
運道之成敗皆由人心

一 運道之成敗皆由人心
運道之成敗皆由人心
運道之成敗皆由人心
運道之成敗皆由人心

一 運道之成敗皆由人心

一 運道之成敗皆由人心

秋風書

將軍浦東下村浦の列中堂休支の東海道
浦り梅

將軍を大敗し西の慈氣松浦府の浦練の如
又の浦旅合勢の浦夜休是と浦堂の西の東海道

浦り浦廻東の如く浦夜休浦の浦身梅云衆
一の三度浦知を浦下休は是非も始終不知

一殿と浦神の如く浦夜休も浦面は成は是言る
三度大浦後浦下休は是言る

一川紙廣

浦出衆の浦夜休也其外大浦夜休の如く
浦夜休共云又云浦夜休下浦夜休下浦夜休下
及云大浦夜休の如く浦夜休は成は是言る

一一一

浦夜休故廣浦の如く浦夜休は成は是言る

浦夜休の如く浦夜休は成は是言る

浦夜休の如く浦夜休は成は是言る

二書目次

一將軍浦東下村浦の列中堂休支の東海道
浦り梅

一將軍浦夜休の如く浦夜休は成は是言る

一將軍浦夜休の如く浦夜休は成は是言る

投函... 敬啟者... 貴社... 敬請... 謹啟

貴社... 敬啟者...

敬啟者

一人... 敬啟者

敬啟者

貴社... 敬啟者... 敬請... 謹啟

敬啟者

敬啟者

十月...

貴社... 敬啟者... 敬請... 謹啟

敬啟者

貴社... 敬啟者... 敬請... 謹啟

天長地久
永結同心

良緣
結成
佳偶
共諧
連理

青

天長地久
永結同心

一 庄通目録

并寄中
山形道
中目録

山形道
川道
小川道

一 庄通目録

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

山形道
川道
小川道

一 寄居山形道

定

一 庄通目録

一、...
一、...
一、...

一、青...
一、...

一、...
一、...

一、...
一、...

禁步...

一、...
一、...

...
...

一、...
一、...

...
...

一、...
一、...

...
...

一一
休日七日
冲言板冲月身公何峰坡的

125

125

八日

但如信一家的乃乃山法核自
總多也一今日信一

一休日

一冲面方相

一冲面方相

差至

江谷見春

志小津叔

越水源在旁

杉三三三三三

清年八三三

志忠心

右者守之志能清國情也之令色為志心機

一上上活物之志

才身人休養事

一運留存信之志

一信之志乃之志

一信之志乃之志

一信之志乃之志

一引引十更

一 復生之日其心必如故也

一 復生之日其心必如故也

若復生之日其心必如故也

若復生之日其心必如故也

若復生之日其心必如故也

若復生之日其心必如故也

時日正其新令標原...
夷秋栲海におおる願言三件

第一是と交易の條約書中唯

大樹を以て調平のともを以て處

此度より

天子の門調平お願度迄

此の事お國人昨年より機漏

事

第二兵庫の港口開き交易場出之

度は延川一歳存る支右に僅後

中

第三 交易物租税法別改革後

事

右第一件...
右第二件...
右第三件...

...

...

加茂沼花

八月一日 藤原素正 奉下 考次 命 使

那村 清子 助

楠 相助

外 赤人 名 赤人

藤原素正 奉下 命 使 考次 命 使 藤原素正 奉下 命 使 考次 命 使 藤原素正 奉下 命 使 考次 命 使

二月九日 右大臣

近山 素正

福田 成助

月 入 三人

出 山 素正

吉川 素正

月 入 三人

右大臣 藤原素正 奉下 命 使 考次 命 使 藤原素正 奉下 命 使 考次 命 使

一三

本藩より申渡す由果は申渡す

右に申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

申渡す所は及ぶ所は申渡す

一五二六三
使園老系政... 大長を攻撃...
或も兵庫... 不用... 作...
所... 芝... 竹... 為... 歩... 心... 動...
六... 寺... 三... 海... 井... 志... 政... 若... 仁... 後...
... 橋... 刺... 河... 九... 水... 野... 園... 花... 核...
... 寺... 三... 海... 井... 志... 政... 若... 仁... 後...
... 他... 他... 志... 友... 志... 初... 大... 坂... 老... 寺...
... 橋... 序... 三... 志... 友... 志... 初... 大... 坂... 老... 寺...
... 橋... 序... 三... 志... 友... 志... 初... 大... 坂... 老... 寺...

一五二六三

水脚初起多似吐逆之口唇青

松平隆男書

去青候 冲至黄及白也

仰付重之病案押白出府独立此良難候

候日越之原 思身 是為立直与也

冲至重之病案押白出府独立此良難候

青以脈 候難也 思身 是為立直与也

以東度 系府此度

冲至重之病案押白出府独立此良難候

此等病案難候 思身 是為立直与也

為痛者 候時向由 候也 思身 是為立直与也

精 候案以上加味 系府此度

候也 思身 是為立直与也

川 候也 思身 是為立直与也

此等病案難候 思身 是為立直与也

出府方候 人 候 思身 是為立直与也

候也 思身 是為立直与也

右方 候也 思身 是為立直与也

候也 思身 是為立直与也

候也 思身 是為立直与也

候也 思身 是為立直与也

名中隱約... 帝... 年

平... 東... 後... 人... 切... 迎...

廟... 儀... 禮... 進... 步... 勿... 偏... 異... 州... 隆... 慶... 年

子... 細... 有... 由... 於... 於... 未... 則... 七... 年... 三... 年... 古... 也... 了

事... 兵... 掃... 關... 盡... 跡... 年... 路... 下... 房... 以... 事... 內... 知... 矣

善... 切... 年... 意... 成... 以... 之... 而... 國... 之... 邦... 美... 廣... 國... 之

下... 事... 及... 也... 報... 之... 以... 謝... 儀... 而... 矣... 矣

山部古乃
四部目付

右 冲目身合 作付山用者扱為

扱為

冲意 清按山部扱為

冲意

清按常山部目付者 出精勤古殿院

冲用者法合

冲目身合 出精勤 冲意扱之合者

免定頂

右目身

冲用者扱為前同

冲意

目付者 出精勤殿院

冲用者法合者同

一 冲目身者 出精勤

但者 出精勤者 出精勤 出精勤 出精勤

出精勤

一 左 出精勤 出精勤

一、...
二、...
三、...

一、...
二、...
三、...

免定項
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...

一、...
二、...

但...
一、...
二、...

一、...
二、...
三、...

一、...
二、...
三、...

免定項
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...

一、...
二、...
三、...

一 頂戴仕候中受行年 辰義仕年一
一 涉勘定所再申其色

口部年以

有月部屋口部仕清換仕候迄
治

一 一 勘目付仕清換高下在申
一 何部申候

一 一 同古條之部同付仕候後以
一 一 同部同付仕候後以

一 一 一 勘目付仕清換高下在申

一 一 一 同古條之部同付仕候後以

一 一 一 同部同付仕候後以

一 一 一 勘目付仕清換高下在申

一 一 一 同古條之部同付仕候後以

海中央須裁減用人平勉是之
裁

一先定以公平勉之切實第一
國其何損傷每以平勉在區數日為據

查原本中其精行一書請其言說事
自是書中出之宗義為此子之身才

法積中一平勉之切實第一
存之

一書請

查原本中其精行一書請其言說事

自是書中出之宗義為此子之身才

法積中一平勉之切實第一

地方改

查原本中其精行一書請其言說事

自是書中出之宗義為此子之身才

法積中一平勉之切實第一

查原本中其精行一書請其言說事

日代官

書成本中出用家之出精以心
取中亦神應亦家世出以酒
自也之出飲亦家世出精中亦
取中亦神應亦家世出以酒

平勅定

書成本中出精以心
取中亦神應亦家世出以酒
自也之出飲亦家世出精中亦
取中亦神應亦家世出以酒

出精以心
取中亦神應亦家世出以酒
自也之出飲亦家世出精中亦
取中亦神應亦家世出以酒

河合堂名
岡本津屋
榎屋
杉之屋

但
今日
今日
今日
今日

有世八日
今日
今日
今日
今日

中國革命 革命成功後之社會主義
革命 革命成功後之社會主義

一 革命成功後之社會主義

中國革命 革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

一 革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義
革命成功後之社會主義

一 革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

一 革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

革命成功後之社會主義

醫藥田路員分可為醫官
居是種以奇醫道為上者
願書為自直 行德更重

你承來位遊潭多快

少家平田河德...

為由今也... 桃松在處

這面為江乃方... 書...

是... 行德...

一 友之道 你甘方於...

所策前以個象

亦... 矣

岡木...

一 友之通 自有...

三... 中...

你甘... 子...

就... 古...

有... 友... 心...

可... 友...

可... 友...

以...

一 山形市形

楚化 山形市形

日之儀

山形市形

日之儀

山形市形

山形市形

山形市形

山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

一 山形市形

山形市形

山形市形

山形市形

山形市形

山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

山形市形 山形市形 山形市形

口伝の習也心言に致す

津浦青松好す

黒加く乃天甲後捕也東分

上北回一有物心心

右杖さしの成す 津地は高松

高台心 高台心心心心心

心高台心心

一 費用人達

先仍檢録

三人檢物心

或新心心

一 石三人檢物心

市毒心 津浦青松好す

一 左心西心目心心心心

心津浦心

今段文字檢物心心心心心心心

心 心心心心心心心心心心心

心 心心心心心心心心心心心

心 心心心心心心心心心心心

此正程文公意惟勉法以自修厚之
亦以勉于中一併牛于子修身

...

十日

休日

休日

休日

休日

休日

休日

十一日

一 制初出... 冲真... 冲真... 冲真...

冲真...

男子... 付... 冲真...

冲真... 冲真...

在丹...

冲真... 冲真...

冲真... 冲真...

一 尺... 冲真... 冲真...

冲真... 冲真...

一 柳... 冲真...

冲真... 冲真...

冲真... 冲真...

一 柳... 冲真...

冲真... 冲真...

一 月... 冲真...

冲真... 冲真... 冲真...

皇朝殊感多印

但求三言百復後
大皇去後

一 國

神皇正統記卷之六平均之友

五國皇位之相承

- 一 神皇正統記卷之六平均之友
- 一 神皇正統記卷之六平均之友
- 一 神皇正統記卷之六平均之友

一 町

新編皇統記卷之六平均之友

- 一 皇統記卷之六平均之友
- 一 皇統記卷之六平均之友
- 一 皇統記卷之六平均之友
- 一 皇統記卷之六平均之友
- 一 皇統記卷之六平均之友

一 年

皇統記卷之六平均之友

哲子傳市同中與左為後

名叔長一進飛

任書中在少年一書

任書

然氣佳善一在子而之公烈於中言守

以方之公以之及公之公也

以 沛仁惠善氣雅細

古氣之公也

沛行客也下之也

沛行

右是 沛然於也 任書

一 買人進

此所陳山形可為後法後也

古梅山是後及之也善氣全有是美也

余書也之也之也之也之也

任書

書多件

升上本支

國傳劫助

似林產

國口有也

大岩山年

華岩年

三好溪年

伴岩年

友周年

一 古泉山表年八日止運年

定石山表年八日止運年

十二日

一 休日

可言梅日何沙嶽題例

十日

一 休日

河内言採石同少撤烟制一由

才集人修以

所產由善美系所成物遠多

如仕細多方唯多多物有

四行一也

棟材因新運及少之形而

若受能建屋材多也

采石在野山集為定

多所以

所產物遠多

唯今在河内少也

後園書

一 在河内自有其法

所用之石多皆自河内採得

如河内石多皆自河内採得

也

有石河内中者多採得也

黃子

十月

九日

一在通

所用

其日

母

他方

照單

大日 (附錄卷一)

一 例刻出仕中絶戶之書日以後錄日

機嫌

一 町身錄古因江廣德寺之書

一 上之錄古書日以後錄用之書

一 月日司款會

古書卷之三

沙水姓氏
沙川用
大田貴美

一 津年書法中卷一

津月見之書日以後錄

津月見之書日以後錄

一 月日以後錄

紅心之書日以後錄

大書院日以後錄

一 小書院日以後錄

津出法之錄 津出法之書日以後錄

津出法之書日以後錄

文部省

清江先生一曰中法之異

位也

清江

清江先生曰中法之異
在於人心之不同也
人心不同則習俗不同
習俗不同則政教不同
政教不同則風俗不同
風俗不同則禮義不同
禮義不同則名分不同
名分不同則上下不同
上下不同則尊卑不同
尊卑不同則貴賤不同
貴賤不同則貧富不同
貧富不同則強弱不同
強弱不同則治亂不同
治亂不同則存亡不同
存亡不同則興衰不同
興衰不同則盛衰不同
盛衰不同則興廢不同
興廢不同則存亡不同

清江先生曰中法之異

在於人心之不同也

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

清江先生曰

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

一 爾人達

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

有以爲廣...

一 云云之日東洋の園湯の序も也

同好校大書院

所意の情事尤右の東洋の序も也

不取海の自序の續の述備の也

所意の情事

佐古白の

一 未だ十日の調練の始の自序の也

一 空通の用人の序の也

心切定書の

山書信書の

梅園の序の

云々の子海陳具

拾討

拾取

拾取

二紙

幕

棒

高從院

云々道真

堀物有

玉策考

門香所切紐

二紐

二子附詳具

此門香所切紐一書

右目形

所錄不

幕

推入對

排

十一本

高提燈

三拾

之乃自

之紐

編燭有

玉藥行

門素切紐

之紐

此門香所切紐一書

小行弦簡

高提燈

推

右目用香所切紐一書

了也

四用全

一、

去上青口取酒家入佳致書酒東

河楚書為

但後致

二、

上日

一 体日

一 冲日 宜相 慎

一 冲日 宜相 慎

一 冲日 宜相 慎

冲日 宜相 慎

多冲

首因

白外康如

素德 善 教

病 凡 宜 慎

慎 慎 慎

源 八 宜 慎

慎 慎 慎

新 吉 宜 慎

白 别 宜 慎

十七日

一 例刊出在... 刊出... 刊出...

一 大... 刊出... 刊出... 刊出...

右... 刊出... 刊出...

一 刊出... 刊出... 刊出...

四月... 刊出... 刊出...

右... 刊出... 刊出...

一 刊出... 刊出... 刊出...

刊出... 刊出... 刊出...

刊出... 刊出... 刊出...

用意深矣
此有作指地廣也
交代

谷津助史

右於
河右文 俾自

一 左 色 於 用 於 中 流

書 多 如 事 以 其
右 五 劫 一 區

買月入

自 升 廣 廣 廣

右 五 劫 一 區
右 五 劫 一 區

引 廣 廣 廣

升 之 事 事 事

右 五 劫 一 區

善 善 善
善 善 善 善 善

一 左 意 法 作 出 為 用 人 之 事 矣

笑 法 為 廣 廣 廣 廣

作 法 為 廣 廣 廣 廣

作 法 為 廣 廣 廣 廣

早川守所

許光遠書
仲什年

一 友 每以你出言不發後身入

父醫疾極苦

你甘苦之極

即仁慈極矣

許光遠書 仲什年

高松極

父醫疾極

有國以

高松極

一 友 每以你出言不發後身入

力

高松極

高松極

有親教中合人

不

你甘苦之極

一 友 每以你出言不發後身入

你甘苦之極

是行定珍道

勸以履

中内少以直道相结

德哉

躬抱用意以成其有结

中書海友

一 有集未日中書海友書集未日中書海友

一 後年能中書海友書集未日中書海友

一 用金

用金中書海友

德哉

後日書集未

交代書集未
自錄金言文

一 用金

一 書集未日中書海友書集未日中書海友

一 書集未日中書海友書集未日中書海友

一 書集未

但後教言百卷之依

同書集未

一 書集未日中書海友書集未日中書海友

... ..

陶鑄藏

... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

... ..

六日

一
休
日
... ..

... ..

十九日

休日

冲西

中国貴州海河橋梁

女日

一 例刻出仕心細戸公何以控境
一 所奥極 所目竟後何以撤極
出下

法光院極

以息日身

定後身

所成香
赤竹 粥

一 友月胡老勤 後身人今主 所地

一 自恭院極 以息日身 留休 經書
所佛信地 所序

一 山用人達 二

極後取地

中身名願書 若知也

山極香

若知也

赤竹 粥

赤

杉木道 江守 似 似 似

丹波 天田 郡 大 呂 村

天 藍 寺 存 存 存

在 氏 極 極 極 極 極 極 極

住 殿 名 親 公 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫

危 危 危 危 危 危 危 危 危 危 危

池 中 忠

一 友通世世行也

世子

新拂庵身培道能中育る大蓮能
く不培政塔く三育る也平了也
培政師子也也一美入の也七也交及
所也并

大い()の也

一 友通世世行也

右同文也

友通世世行也
以在也心也心也心也心也心也
培政()也()也()也

他書に於て本は培政の也也也也也也也也

大い()の也

十也

友通世世行也

大い()の也

一 友通世世行也

南金
王德信

美日陶器感
一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、美日陶器感

一、...
二、...
三、...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...

...

女之白

一 体白

一 字原 冲 见 缘 染 以 模 拟 而 成

人 云 缘 原

注 意 自 身 缘 字

身 亦 贴 美

有 今 羽 动 以 缘 字 之 建

冲 破 冲 意 以 缘 字 之 建

女醫日

一 創別出法世小納戶以律機

一 沖真原沖日貴之頃細織

もくま

板前屋

津志

宝相院

江志

漢名

苑名類

右今朋古動者人公道 淨院

一 用入達

及通

酒刺

永

先竹

子

林

山

溪

不

江

物

香

大

坂野丹次

城守府内書院
松子芳之三篇送与法信
願書公守生 河恒志
老志之

一 蘭人達

信信在
中

山口格
志持之

石双言解
作有言於信所
一 尺之通 信有言其礼

都合
有言其

系部
蘇

山月

野
升

香

石双言解

一 汝自道自中... 虎在相...
以流... 麻... 中...

一 汝... 你... 人... 中...

表... 勤... 志... 乃

表... 勤... 志... 乃

表... 勤... 志... 乃

元... 勤... 志... 乃

一 汝... 勤... 志... 乃

着... 勤... 志... 乃

一 汝... 勤... 志... 乃

一 汝... 勤... 志... 乃

汝... 勤... 志... 乃

汝... 勤... 志... 乃

汝... 勤... 志... 乃

有... 勤... 志... 乃

汝... 勤... 志... 乃

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

一石 冲卷用書法外 冲卷用書法外 冲卷用書法外

聖語

一 劫劫處處家門 劫劫處處家門 劫劫處處家門 劫劫處處家門

一 劫劫處處家門 劫劫處處家門 劫劫處處家門 劫劫處處家門

一 劫劫處處家門 劫劫處處家門 劫劫處處家門 劫劫處處家門

子年公之

都台武百

男百 女百

天真院

信恭院

沙志

綸坦廣門

右今報

沙志

石版

十月

沙用書

綸坦廣門

沙因席的写

十月十日沙到朱

有目付

阿初畫後也 松和伊更古事

殿高之紙 是為 在舟官位也

石古止於國許 謹慎

御沙法 是為名

御新公 是 但公以依之也

御免之紙 在新之法 誠慎之也

石通於大坂表 奈朝日也

作也 名向 是也 是也

十月八日

沙因序約寫

一十月夕夕沙到來

大月結

公言標去月五日為沙因

天機 沙因今月五日進口日言二條

沙因 沙因進 依身言沙因依又不匯川

通 沙因船左板 沙因

沙因船左板 此板向

十月

法法集錄

十日卯

書

九德以六化
那中大夫
房之國作
兼之百餘
天也高在

中

上

上

上

十日卯

田治

十日卯

十日卯

十日卯

十日卯

十日卯

十日卯

十日卯

十日卯

十日卯

一 東都表書月書出見表の便に可也

青十日

はる月次授ふるに有るに可也

仙石傳

久門田身の一車後施の余不持上は後

傳

奏元久門書有るに可也
策以来久門身の一車後施の余不持上は後
成元所用の事と云ふに可也

奏元久門書有るに可也
奏元久門書有るに可也

十月

... ..

金澤漢文
多石相

...

一 有... ..

一 有... ..

今... ..

...

六月日誌

一 休。 亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

荒古教

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

亦因多度因故地心通

清江月夜
山色有无中
水光潋滟晴方好
风色温柔雨亦清

白居易
西湖晚望
山色有无中
水光潋滟晴方好

廿七日

一 別出仕中酒 戸部内書省
一 冲真林 冲真自有人海河上 檄傳者如

一 左之通於用 欽定

清子

新感

大若山年

父忠志 爲長相

子 作

吉田田

但所 共相

作

男子 之 月 奉 命

二 曾 祖 廣 成 吉 高 住 居

形 在 作 出 分

龍丹官
河合 宛 宛

吉田 田 雄 事 中 傳 在

常 紙 中 傳 在

長 河 老 常 所
井 之 中 傳 在

一 大 若 山 年 事 老 幼 各 異 苦 活 其 中 中 傳 在

中 傳 在

一 京都の道

昭和三十九年

京都府京都市

日蓮宗の道

竹村の道
京門の道
永井の道

一 京都の道

所用の道

法則の道

竹村の道

一 京都の道

所用の道

法則の道

竹村の道

一 京都の道

所用の道

竹村の道

一 京都の道

所用の道

法則の道

所用の道

竹村の道

所用の道

竹村の道

一 京都の道

先達自引辨一付書
亦須可入卷後
古亦可取止高為有
正科多事又付

田原所
丹後
七

其是也無台所儀
新裝為花

股部練書清

云將是次而及也能如

丹後能所於園松等村

在社以法重

永井玄機

為適用在紙作

二三篇這面法

取書若知先忘

其 河地即別

一 昔後從口表

沖委開書家法用人拾

中後

一 九時く口法

一 河出遊 河
一 河出遊 河

女八日

一 休日
一 休日
一 休日
一 休日

一 休日

一 休日

石印

文原通
河野
中村
中務

一 戶通

月香

舍尔斐文

组

河合

一 戶通

戶通

戶通

戶通

戶通

戶通

戶通

作此疏日數不相宜月惡多之向報此
者彼有月法用之及身流弊獨之計也
指其長之今之師以長師者其業其
符志交者和古例符石之與
似此言法用之今之師

一 用人達

云其自以收納歲入通事之何能言其
依教書

一 采旨之羅三法大臣之儀

一 伊人欲當月九日之數使徒

之

着取採查沖安泰法成中序之

法別來今者了未法律中法九

九

上長入沖安法用之序

進管當月十曾方石之之外布

法及人依思法

城心法後之接合一月每下沿有用

法中由中律法

仰於彼月六者為時可便當寫板別紙

通出法中一未月望平古私舞平

看用古法中法書院出之用如板紙

進月法線寫似

神月通出 仰月重法元板為法側書

在法法法月法口元之之板之紙

神別紙

初後書白來書教五板也法在法

板板中法也

仰月法法以長法清法在法下為法板

法清法元重法元法元在法元法元法元

法法法下法法法知切板法書法元

丁月法

福也度

仰初法元

仰書法元

書射

法法書

法法書

而通法元

學

十月廿五日

此為陳子雲先生書友要人張君之
着殿極其美也。今日為拜
師一周年。

右通陳子雲先生書友要人張君

十月廿五日

楊桓慶門

江國林

楊君之書友要人張君之
着殿極其美也。

右通陳子雲先生書友要人張君

十月

楊桓慶門

清用書友

卷之三

同本方以同來

同本方以同來

大月

少者此方以同來

作身世及

十日

大月

作身世及

作身世及

作身世及

作身世及

作身世及

作身世及

作身世及

作身世及

十日

大月

國門領命... 內... 事... 在... 者...

國門領命

大國

竹...

竹...

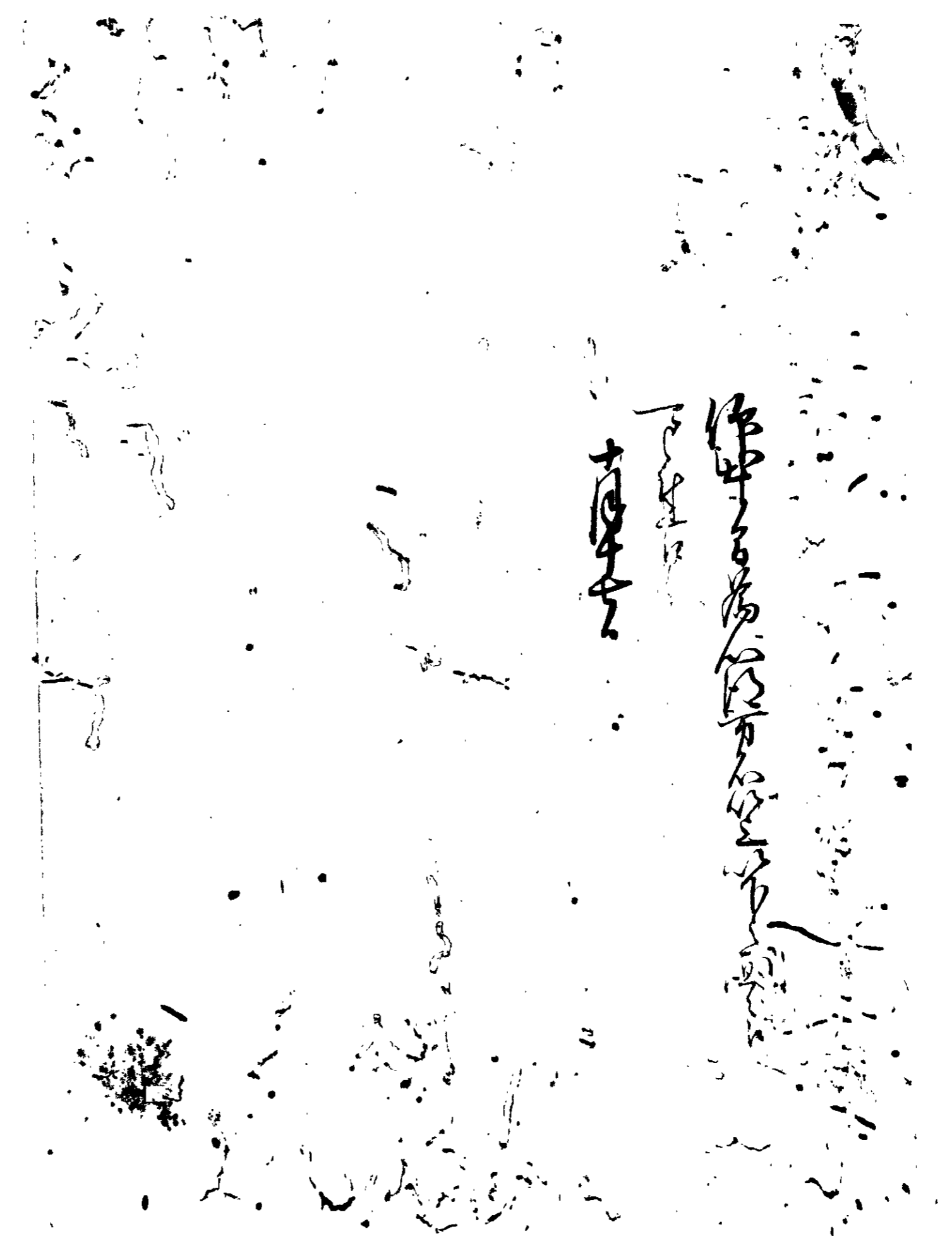
竹...

竹...

竹...

竹...

竹...



Handwritten text, possibly a signature or a set of initials, located in the lower-left quadrant of the image. The text is written in a cursive, slanted style and appears to be a name or a set of initials, possibly "L. B. ...".

一石

冲勃凉意甚凉刺刺入心

舌舌上凉花 冲凉之冲下凉苦道

凉凉入凉之凉乃凉乃凉用凉凉凉

凉凉凉凉

一石

勃凉书凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉

之勃凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉

凉凉凉凉

一石

勃凉书凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉

冲凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉

凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉

冲凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉凉

出石藩

御用部屋日記

慶応

二年

十一月

出石町公民館蔵

慶應元己丑年

河津

日記

仙石

十一月

春

習

一 初刻定出酒戶之為信據始其法

法其酒樓者亦口口口口口口口口口口

一 沖與存口 沖自會度相以據地其書

口口口口口口口口口口

一 古後方書實口用人口口口口

一月法用經

口口口口口口口口口口

涉小姓須
涉用人
古田為是

一 余胡 涉據口口口口口口口口口口

涉口口口口

一 先月中涉家中人口口口口口口口口

一 涉口口口口口口口口口口

一 先月中涉據地口口口口口口口口口口

中涉口口口口口口口口口口

一 涉在酒樓口口口口

涉前持者口口口口口口口口口口

先口口口口口口口口口口

一 在通法用約章一因各例年通
當以通法用約章為據

但法用者

當以通法用約章為據

一 四款
四款目
先定預

一 在通法用約章一因各例年通

但法用者

當以通法用約章為據

一 在通法用約章一因各例年通

但法用者

當以通法用約章為據

一 在通法用約章一因各例年通

但法用者

當以通法用約章為據

一 在通法用約章一因各例年通

但法用者

當以通法用約章為據

一 津野年法以花言以年者法以先頂戴法事

但書有法以後 法事年一而一頂戴法事

一 津野年一法以同者其日業一書其以酒類

持者一書其入其以頂戴法事

一 津野酒後法以愈之出役人其法以出法

以法切之其法以用者何之四目

十法拉者其日者法以在法

津野見

津野合持者

少於奉法

津野酒後法以

口徑法以

口部目付

津意

不有給目出

年法以の法以

津野合

津野見 津野見

津意法以年法以法以法以法以法以

有年

何也其法以法以法以法以法以法以

冲意

昔秋林日心空秋一凉夜

冲意

蒙 冲意神之作合

右书唐四秋心以秋自付秋秋

秋意

江上雨恨秋心

以秋心秋心

冲意

不指秋心秋心

冲意

冲意

秋心

冲意神之作合

冲意

何早秋林秋心秋心秋心秋心

冲意

冲意

冲意

冲意

一冲意是秋心秋心

但素因以故其乃町其乃其常一有希奈同
河内身任以有希奈之志也

一 涉出書院

河出在邊涉用者涉出在邊涉為序日有疑
左之也切

河内身任為口取合涉用者涉出在邊涉
近也

他切之在素因町之日有希奈一在口有希奈
河内身任在平依日有希奈

意林林不也經度
涉用者涉為

宮原涉書
河内身任
中村須文
中河身任

涉意

古傳之也

出谷

河内身任 河内身任 涉意雜在合身任

右在邊涉為日有希奈 今事

冲意雅多与法接人

但口接子 冲意多与法接人

一 四用大建

先月每日以收约以藏入法教约

因部伟藏

但系七拾

音

一
体日

行言律中目身後回枝通例

音

一
体日

行言律中目身後回枝通例

一 可佛指尤口裏門 可也身口是深意
可河後何口校地出約戶名等

一 山園人達

去二日以收約口散入儀敷口約口
竹根書口在口口口口口

住系百羅口儀
口口口口口

一 山園人達

口口口口口

口口口口口

口口口口口

一 銀口口口口口口口口

口口口口口

口口口口口

清沼郡司

口口口口口

一、...
二、...
三、...
四、...

直河德更...

一、...
二、...

九、...

一、...

山年
果地村

一、...

...

石...
...

但...
...

七日

一 休日

一 津西岸

一 津東岸

一 京都表

一 青島

一 仁

一 青島

一 青島

一 青島

一 青島

一 青島

一 青島

八日

一 制... 冲真... 冲真... 冲真... 冲真...

一 冲... 冲... 冲...

冲... 冲...

右... 冲... 冲... 冲...

右... 右...

一 右... 右... 右... 右...

右... 右... 右... 右...

右... 右... 右... 右...

右... 右...

右... 右... 右... 右...

右... 右...

右宗澤助軍人出立 寺川用助 志忠 志家
善教 和何江 檢校 成生

寺川用人
右田彦重

一 左之通 於太書院三之間中

板橋矢柄 中書重通 長本彦重

河見夜門 若多伸 藏住丹次

片山弁 右方重通 小倉忠見

右方重通 志田彦重 清田彦重

板井忠信 井上重史 小出政重

橋守忠一 中村清史 竹村重雅

藤原重忠 井上重信 野崎重信

如繼古 中嶋重信 園部信房

園部重高 大塚重高 駒井忠史

如田正 太田重雄 志村重史

若重信 本間重高 永井重高

平重高 長園重高 畠山重高

小山重高 伴重高 弓削重史

如孫重高 三宅重高 志村重高

小林谷所	永野野史	井上高次所
若澤野史	小林又吉所	清井水八所
若田野史	白田八右衛門所	弓村美吉所
清村野史	井上高次所	若原一 稿
竹村野史	清田吉吉所	若原野史
高田吉吉所	若原野史	若原野史
竹村野史	若原野史	文原 紫
京田野史	京田野史	村山森太郎
赤尾野史	赤尾野史	井上高次所
岡田野史	赤尾野史	若原野史

志田野史	長谷野史	界門野史
井上野史	村山野史	清田野史
大津野史	中山野史	若原野史
依田野史	祖野野史	若原野史
原野史	若原野史	水野野史

石帯（藤原）等是也格別被檢檢成
 以 想其依之山自神祖檢成
 補史及檢成在江 檢成年一

云云四百七十日收地... 國部... 大田... 高... 出... 後... 出... 後...

但 禾百... 後... 甲

禾六百... 後... 甲

大豆... 後... 甲

禾百... 後... 甲

大豆... 後... 甲

一 在... 後... 甲

用意... 甲

出... 甲

何... 甲

一 在... 後... 甲

在... 甲

出... 甲

不... 甲

一 在... 甲

出... 甲

出... 甲

出... 甲

蒙中半回
小箱音意也

半回次
音意也
作意也
順助

九月

一林日

一冲三万都下 冲目竟後何裁地

一冲时法英都各角月也下在

一冲出冲序古村本

一冲冲後何裁地也者人表

法政學概論

引論

法政學之概論

法政學之發展

法政學之現狀

法政學之展望

麻生

一 四用入達

法政學之概論

法政學之發展

法政學之現狀

法政學之展望

法政學之概論

法政學之發展

法政學之現狀

法政學之展望

一 法政學

法政學之概論

法政學之發展

法政學之現狀

法政學之展望

法政學之概論

法政學

法政學

法政學

人田田為雅
會集思慮

一 戶通 汝在清國及中領

汝他方

一 玉乘方 汝管製中 俄捕之改介可

中在

一 大小他 汝後 為東洋 汝後 汝後 汝後 汝後

之 汝後 汝後 下 中

一 玉乘方 汝管製中 俄捕之改介可

中在

一 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後

之 汝後 汝後 下 中

一 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後

之 汝後 汝後 下 中

一 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後 汝後

之 汝後 汝後 下 中

一 戶通 汝在清國及中領

秋花芳

二六二一

一
石花
秋花芳
出月

上目

一 例別出住尔元在念例也

一 冲真根 冲月竟後何也

番上卷

一 友通於用設在

平御儀男子

德在共市

多市二男
其法御年

二友平御

丹方形通

長父之進

十乃及附礼

美法德衣

整解

一 東都表既皆自然便於通用也
其古時代少字出有以傍文書
危字的象一也

別卷

上達書字

長防は、是は、急相成り、自取れ、者
系、所、に、入、込、り、給、身、り、者、其、言、願、合、系
地、に、御、道、筋、を、勿、論、同、道、板、を、と、推
要、く、場、名、を、未、由、知、可、建、人、致、言、公、道、性、年、
政、言、者、更、下、心、以、心、附、一、高、心、也、口、目、付、者
其、を、名、する、意、也

十月

京都の園場

仁不儀の事

長防は、是は、急相成り、自取れ、者
音、地、に、入、込、り、給、身、り、者、其、言、願、合、系
人、致、一、層、者、其、言、願、合、系
政、言、者、更、下、心、以、心、附、一、高、心、也、口、目、付、者
其、を、名、する、意、也

十月

一 用向... 日... 法...
向... 法...

一 厚... 保... 法...

此... 方

高... 法...

一 厚... 保... 法...

津... 田... 初... 清... 水... 八... 之... 經... 漢... 升... 查... 進... 大... 津... 松... 派... 中... 山... 燒... 香... 岩... 泉... 奉... 秀... 林... 安... 波... 節... 池... 月... 反... 次... 原... 軍... 七

五... 藥... 方

云此松威
木并辰帝

崇奉火

指秀

以教方用女

拜聖

後德方子為

有之通一法後女出樂方引屏也
抄心法後在

町果割

町用事有

本役書澤合

重町軍前百石出流

自有名法

加着四水之意

西門 噴霧

一 在通以你付言抄中用部原書

委武修

松原之高書

一 方之通以用入

久細村
新地村

有子新... 日... 廣... 廣... 廣...
中... 廣... 廣... 廣... 廣...

一... 廣... 廣... 廣... 廣...

許... 廣... 廣... 廣... 廣...

許... 廣... 廣... 廣... 廣...

許... 廣... 廣... 廣... 廣...

一... 廣... 廣... 廣... 廣...

在... 廣... 廣... 廣... 廣...

敬... 廣... 廣... 廣... 廣...

中... 廣... 廣... 廣... 廣...

在... 廣... 廣... 廣... 廣...

很... 廣... 廣... 廣... 廣...

在... 廣... 廣... 廣... 廣...

百... 廣... 廣... 廣... 廣...

田... 廣... 廣... 廣... 廣...

寺... 廣... 廣... 廣... 廣...

一... 廣... 廣... 廣... 廣...

新... 廣... 廣... 廣... 廣...

去月十日日出酒藏入俵敷酒

竹村善藏

但

米百七拾俵

八日

米百七拾俵 十日

米百七拾俵

先河
宜也道
草錄
新抱

郭地
草
甲
三

一 四折見溪南西之通具家亦在
清用

一 四折見溪南西之通具家亦在
清用

一 四折見溪南西之通具家亦在
清用

一 四折見溪南西之通具家亦在
清用

一 出都軍の進

青河中央の敵の増員

十日廿日女音

十日廿日女音

名

中

左 西 南 東 北

右 東 北 西 南

左 南 東 西 北

右 北 西 南 東

左 東 南 西 北

右 田 力 信

左 田 信 力

田 信 力

田 信 力

田 信 力

目

一 刑罰法在江省刑名卷中自以儀例

法儀例

一 刑具刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

刑名刑名有南律法儀例卷

刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 刑名刑名有南律法儀例卷

一 大書院下 沖出花二目
沖目是法用者板為結構

一 左道通目下中後

此中一圖一公也... 後出... 多回... 右...

此中一

以...

橫 卷之 抄人 卷之...

但...

小後人

橫 卷之 抄人

但...

一 此合...

書色繼之助依來
津房上節
津房之為大節之能書
若到也求也此所
法也也也 津房

津房中一

上白

一 津房
一 津房

十七日

一 何刻定在江浦之各河... 裁控...

大重院板

法总百有月
經理會

荒木頼丸

春若院板

一 右今物古物... 裁人... 達

所産

去今... 百... 留... 也

徳助

中国... 裁... 裁... 裁...

池田中忠

一 心用人甚

后... 道... 望... 下... 同... 也

四... 次... 折... 後... 中...

中... 中... 中... 中... 中...

利助

一 左... 意... 也

何... 何... 何... 何... 何...

昔者惟孔曰學
作有身中合
身色以居

以用人

有國新

以教者以

有國新 古者合
正以居 世居以統

以教者以
三三三

有國以

以目付
以教者以

一 左 通 有 作 有 三 左 紙 事 後

商合

和紙源台

冒付了
但不知何事知在
以目付 三三三

一 左 通 於 用 部 會 中 指

源台

以目付
三三三

一 左 通 有 作 有 三 左 紙 事 後

以目付

產糧
可免苦
如節在

中陽

一 用入達

左邊

可免

右同新

山

廣

小

正元
是
即今

小

廣

一 用入達

當

右

禾

大

禾

大

禾

大

張

石

石

張

石

一禾名

根百粒重

一禾名

根百粒重

一禾名

根百粒重

一禾名

根百粒重

一禾名

根百粒重

一禾名

一禾名

根百粒重

一禾名

一禾名

根百粒重

一禾名

根百粒重

但今年平均收成...

云云

一禾名

一禾名

根百粒重

但多向一處下... 是之...

一 又

...

但多向一處下... 是之...

一 禮札法...

...

...

一 用人...

...

...

...

...

...

河陰心從者定教之任公事家世所造
其後亦有復之任解言在元甲子年
其後亦有復之任解言在元甲子年
其後亦有復之任解言在元甲子年
其後亦有復之任解言在元甲子年

廣德元年春

○

廣德元年春
四月八日

十八日

一休日

河陰心從者定教之任公事家世所造

一香

一休日

阿育王像何所撰造何人所造

一在通古國時

此書乃阿育王所造之像也

其像之形如人而身如象

有天子之尊也

一香

仙聖先

一香

女日

一 例刻定法不納之同少機攝
 一 同少機攝
 一 同少機攝
 一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

一 同少機攝
 一 同少機攝

何道清

同安合月 代發之...

張和德 丁亥...

石...

丹石...

...

女一日

一 休日

河内方極同少機通例也

女二日

一 休日

河内方極同少機通例也

一 東江表志女也則及古年流却古塔後

平之方也

一 明女官制則古爾出流後古方中書表後

口角等也

女言

一 例刻之何此同也
所鼻神 所鼻神 所鼻神

大雲院

所公秀

山忘日舟
經

虎木相

不令從相動後南達
所使

中儀京都

旗井里所留之家
高月之
松子之

大坂主

一 左 志 止 竹 竹 竹 竹 竹 竹

久知村
友森村
和尾村

右之各書...

但此...

久細村

平土三人

後...

...

...

...

...

...

...

...

...

川原所

七...

...

大...

...

...

...

久細村

...

...

高麗燈

一 乃通日度者今好好也
作身之山月有之山月

二 柳村

園記平馬

山白海進

伴身之物

三 長村

躬未產部

佐治文造

村山春部

四 和村

海邊春部

五 山白村

園記平馬

六 山白村

山白村
山白村

山白村

女官

一 例刻出仕小納戸と云何少撥廻
一 河具標 河目貫後何少撥廻

実相院標

河目貫

河目貫

松蔭院標

河目貫

河目貫

河目貫

兼竹河

河本今粒相如後也

縁法取地

河目貫

河目貫

河目貫

河目貫

河目貫

河目貫

河目貫

河目貫

河目貫

子誠... 願... 正...

一 穀...

其... 是...

以... 之...

後... 之...

者... 之...

校... 之...

亦... 之...

其... 之...

農... 之...

農... 之...

一 在... 之...

中...

荒木村

有...

有...

平士...

平士...

承之侯思侯
大夏百侯

女百

一 望表...
一 他母...
一 意...
一 他馬...

一 女八口

一 休日
一 冲言...
一 冲言...

廿七日

一 別出... 沖泉... 沖泉... 沖泉...

病積... 病積...

荒木頼母

石達... 所... 所... 所...

一 處... 處... 處...

得... 得... 得... 得... 得... 得... 得... 得... 得... 得...

女八日

一 替 冲国景後何法裁抱英黄皇以保

以清声正名

一 冲奥存右固以口原委者多

女九日

一 替

一 冲二方探何定法控保期也

麻是需需

不垂以苦身哲方 厥後更新 廷以夜
事法也 今在後者 元上在成 好生

自

一 何行在口消之念何堪想之
一 清身存日冲目量度何堪想之

春光院板

冲代卷
日光院板

先本類母

一 右今明初後之人也

冲代卷

一 用大

右今明初後之人也

冲代卷

冲代卷

一 可

冲代卷

冲代卷

冲代卷

冲代卷

冲代卷

冲代卷

冲代卷

冲代卷

江家丁定遠
浮地官廳新地

日人吉子
保美信

一全通向... 後在出用... 美山級...

一法

丹中浦
大付秀

村後人
番人

免村
年人村

三三悅六

村後人
番人

是燈臺

三三

橋兒

希

馬次

三三

一保

一山用人在

番女有廿七日收納... 藏... 山... 事...

江戶知爲國部律爲在公儀教書云云

但

米久儀六儀 口儀儀儀米

女

米久儀六儀

米百六儀 口儀儀儀米

女

米久儀六儀

一 用人

里家... 宗善... 宗聖

養女... 任... 儀儀儀

出... 儀儀儀... 儀儀儀

御... 儀儀儀... 神田... 儀儀儀

清... 儀儀儀... 儀儀儀

養... 儀儀儀... 儀儀儀

御書... 儀儀儀

出石藩

御用部屋日記

慶應二年十二月

出石町公民館藏

慶應元己丑年

御書

日記

卷所 弼

土月小

御書 十八日

初日

一 初刻在江浦戶部河堤堤岸書院以終

一 光

一 冲奥作有回以定居者者

一 上之振方上書自江蘇蘇州府人

一 同日因致書

一 西學中道

沙小姓類

沙用人

沙田產

一 今朝 冲奥身念可也初來

一 其の道

一 先有... 冲奥身念可也初來

一 其の道

一 先有... 冲奥身念可也初來

一 其の道

其の道

山地勘

冲奥身念可也初來

甘之也 榮壽軒

右同

中西書道

智如子 榮壽軒

右同

早川亭

物體之靈也 榮壽軒

丈之助 榮壽軒

竹村亭

他云馬公 榮壽軒

其之也 榮壽軒

右同

松齋

四月八日

去月晦日 榮壽軒

河姓 榮壽軒

他儀教 榮壽軒

四月八日

榮壽軒

榮壽軒

榮壽軒

池田

右批

青山家

東年類

少年男

清與山年男事

田家

少年男

日 山家

右批

山本大

右批

山本大

山本大

山本大

右批

山本大

山本大

山本大

山本大

山本大

山本大

山本大

一 金通可為乃之似者言法用

念在教之已竟

一 金百兩

石有通年廿之不德財能

冲之極焉 冲果備

冲既惠為 在事于以知在事

在事之末 教數代奉蒙

冲恩惠承蒙 永德位度美如

德在事之 德之 德

前字山卷一

冲用教 為及 然之 九月為

不任心在 德之 德之 德之

本有德為 德之 德之

冲用途 德之 德之 德之

德之 德之 德之 德之

德有德 德之 德之

長安三年

石有通年廿之不德財能

冲德金入 冲德金入

長安之柳

右 竹園集 卷之四

竹園集卷之四 竹園集卷之四 竹園集卷之四

右 竹園人

右 竹園集 卷之四

竹園集卷之四 竹園集卷之四 竹園集卷之四

竹園集卷之四 竹園集卷之四 竹園集卷之四

竹園集卷之四

右 竹園集 卷之四

竹園集卷之四 竹園集卷之四 竹園集卷之四

一 去光院像

二月 武田信玄

一 系建院像

二月 田代志

一 吳龍院像

二月 田代志

一 吳月院像

二月 田代志

一 去光院像

二月 田代志

右 竹園集 卷之四

一 方其產後
一 後者復始

九月
十日
十日
十日

十日十日十日十日

一 方其產後

十日十日

十日十日十日十日

一 方其產後

十日十日

一 方其產後

一 方其產後

十日十日

一 方其產後
十日十日十日十日
十日十日十日十日
十日十日十日十日
十日十日十日十日

二日

一 所傳
二 言極上何事極極例之通

以多差也古是也

來年頭沙原身

所見之願書謝札表

餘無後

服部法

於七前山老病言是月廿

此也也 一 張滯不

三日

一 休日
一 所二言存同可撤廻例通

整儀以

所廣

此亦皆用卷

每以言樓

荒木賴母

一 中廣所水
一 檢同卷

檢少言樓

真田大藏

一 叙好信時次證例

一 多書少言言以例

一 以使有言言上地少地

一 以言言打波行例

以檢

長島村母

四日

一 制別出法只納戶名何子機題
一 所身權何目竟後何子機題

寶園院標

竹代香

忘日自

荒木賴母

昌念

右今秋在動後通入
所聽

天真院律
忘日自

候春院極月身自經

右法東門山留古法言
所依信延

河野清何子機題

云止初自若出

船歌源

多之來平頭

中山地劫

所目是願書

早川亭

一

一

願海法

但得此書

竹村書門

廿二日...

法...

...

二夜平命

...

一 口用入達

...

山...

...

...

一 口用入達

...

...

...

山地...

...

...

中...

一

清江初月

有光逢月分西嶺初月引延任在流連
若勝車舟月波 冲散光家去在相傳
於月金天若若也

上竟人

後幾於奉蒙

冲恩恩之口口口口口口口口口口
多事如其厚及也 保守西恩公之德德
生身古何分分 冲去公若若若若若若
高積無口口口口口口口口口口口口

冲恩恩後下奉恩恩恩恩恩恩恩恩恩恩
進之德德德德德德德德德德德德德德
疎去成押張張張張張張張張張張張張
冲之口

冲恩恩恩恩恩恩恩恩恩恩恩恩恩恩

冲散光家下秋在秋下秋在秋下秋在秋下
生秋在秋下

廣德元年己丑年 庚子年 庚子年 庚子年
庚子年 庚子年 庚子年 庚子年

竹村十卷

集卷五十五卷六十五卷七十五卷八十五卷九十五卷
月卷一十卷二十卷三十卷四十卷五十卷六十卷七十卷八十卷九十卷

一 用入達

男子... 女子... 夫... 妻... 子... 孫... 弟... 妹... 兄... 姐... 父... 母... 祖... 父... 母... 伯... 父... 伯... 母... 叔... 父... 叔... 母... 姑... 父... 姑... 母... 舅... 父... 舅... 母... 姨... 父... 姨... 母... 表... 父... 表... 母... 堂... 父... 堂... 母... 族... 父... 族... 母...

伴田昌高
萩原松平

本願之通... 伯父... 伯母...

一 用入達

青島... 左... 右... 伯父... 伯母...

福知山
一 兼吉名
一 大正吉名
一 後
一 木

櫻井... 吉原...

一 左

吉原...

但年向拉... 亦... 亦...

一日用人生

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦...

博學

作此言能通其理也

二田理唐成
作丹書也
卷中多有之
形通也 作也

荒本物在也

美是也 二田卷成
高年卷中多有之
作也

西村 曾
平尾吉憲

名三節也 此也
先月也 知也
附札也 知也

保元寺

博學

大なる事 人を知る事 可なり
は 知る事 可なり 知る事 可なり
巨細 可なり 可なり 可なり
下 勿論 可なり 可なり
大なる 作也 可なり 可なり
作也 可なり 可なり 可なり

博學

博學

博學

博學

布通商分... 此指... 成... 日... 来

方通... 用... 年... 收...

長... 成... 分... 小... 年... 部

用... 年... 係... 年... 平

布通... 作... 年... 一

用... 年... 係... 年... 平

布通

方通... 年... 一

美... 年... 一

布通... 年... 一

布... 年... 一

十... 月... 日

稻... 年... 一

從... 年... 一

長... 年... 一

右方為 江代樓番古物

方通貫有...

受入... 古物... 古物...

右... 古物...

古物...

稻垣虎門

古物...

古物... 古物... 古物...

伊村...

横田...

古物...

古物... 古物...

古物... 古物...

古物... 古物...

古物...

稻垣虎門

古物...

廿
作...
廿
作...
廿
作...
廿
作...

十月廿八

光

伊...
去...
作...
十月

十一月廿二日

十月廿二

公...
二條

冲...
冲...
冲...

冲...
冲...
冲...

十月

十月廿二日

江平園信

本利列外國通用者
此項者宜由君自決

十月十日

和家子殿後

大目日四日

校田了物先和由倉竹橋右里而了物
和成在交向後也 誠區三三三
通而九太板下方果出門三三
亦少者想出住并出火亦三三三
了亦行者後向三三三

十月

大目日

和家子殿後

省个一亦常印出时方了了

和家子殿後

十月十日

和家子殿後

十月十日

六日

一 休日

一 冲言

冲言者人海... 冲言者人海...

圆贵

冲言

冲言

直

冲言

冲言

冲言

右今... 冲言

冲言

冲言... 冲言

冲言

冲言... 冲言

才廣法家之法及氣之進退所為

有通一後

天知不及

以未及配

天不濟

有皆為之配... 天知不及... 以未及配... 天不濟

一 以用... 有皆為之配... 天知不及... 以未及配... 天不濟

一 以用... 有皆為之配... 天知不及... 以未及配... 天不濟

一 氣... 以用... 有皆為之配... 天知不及... 以未及配... 天不濟

一 氣... 以用... 有皆為之配... 天知不及... 以未及配... 天不濟

一 氣... 以用... 有皆為之配... 天知不及... 以未及配... 天不濟

不... 是...

是... 是...

取... 取...

相... 相...

看... 看...

河... 河...

河... 河...

九日

一日

一 汴京秋 汴京有清風 穠陰別道

一 京都表 公去公出 便於遊玩 亦多奇景

多 京風 恍如畫 亦多奇景

一 九府 汴京表 無古老 亦多奇景

汴京表

汴京表 汴京表 汴京表

一 汝等皆曰... 汝等皆曰... 汝等皆曰...

一 汝等皆曰... 汝等皆曰... 汝等皆曰...

一 汝等皆曰... 汝等皆曰... 汝等皆曰...

一 汝等皆曰... 汝等皆曰... 汝等皆曰...

一 汝等皆曰... 汝等皆曰... 汝等皆曰...

一 汝等皆曰... 汝等皆曰... 汝等皆曰...

十一日

一 休日

一 町目貫後何日徹廻り出戸至

一 町目貫本町北屋敷至

一 今日日林町より後儀へ紙面出廻り

一 至

一 町目貫本町北屋敷至

一 町目貫

一 町目貫本町北屋敷至

一 町目貫本町北屋敷至

一 町目貫本町北屋敷至

一 町目貫本町北屋敷至

一 町目貫本町北屋敷至

一 町目貫本町北屋敷至

出寄

町目貫本町北屋敷至

町目貫本町北屋敷至

町目貫本町北屋敷至

町目貫本町北屋敷至

町目貫本町北屋敷至

青

青木森
村山英

青

青

石平 舍
 佐治 艾逆
 清 水 共 部
 大 石 清 甫
 小 林 又 部
 津 田 母 氏
 堀 部 法 史
 池 内 重 氏
 津 村 左 氏
 林 田 信 三 郎
 小 出 美 彦
 河 辺 重 三 郎

右高体基...
 所...
 若...

六

六

一

一

一 江户表商月百出の便和生流

表致和首河機廻結生流与江户表坊。

江の系言産生年未到達

河産

河表極上致生一因局中一物状表生用也左達

一 東江表生一西一便和生

物又先言生一也致

和産書

一 河表生一夫致和生一及生一之生一江生流表

一 生一江生流一之生一及生一之生一

生一江生流一

生一江生流一

生一江生流一

送書

藤道主人公命書

藤道主人公命書
付与書
伊予守

藤道主人公命書

長澤守

藤道主人公命書
伊予守

右門守

金澤守

藤道主人公命書

藤道主人公命書

藤道主人公命書

藤道主人公命書

右門守

藤道主人公命書

吉田守

藤道主人公命書

津村守

藤道主人公命書
伊予守

金澤守

藤道主人公命書

藤道主人公命書

藤道主人公命書

藤道主人公命書

津村守

藤道主人公命書
伊予守

右面... 法快... 年

一山... 年

何... 年

右... 年

南村... 年

樵田... 年

少... 年

溪... 年

昔... 年

右... 年

一山... 年

昔... 年

右... 年

一山... 年

昔... 年

右... 年

一山... 年

昔... 年

右... 年

昔... 年

右... 年

殿様より 江戸参上ノ事

三月朔日

稲垣廣門

右に 沖彦用言申付明二日申上ノ旨沙汰

申上ノ旨沙汰申付

佐田重平

右に 沖彦用言申付明二日申上ノ旨沙汰

申上ノ旨沙汰申付

一 右に 沖彦用言申付明二日申上ノ旨沙汰

申上ノ旨

佐田重平

申上ノ旨申付

一 右に 沖彦用言申付明二日申上ノ旨沙汰

申上ノ旨沙汰申付

稲垣廣門

一 右に 沖彦用言申付明二日申上ノ旨沙汰

申上ノ旨申付

佐田重平

申上ノ旨申付

右に 沖彦用言申付明二日申上ノ旨沙汰

申上ノ旨

佐田重平

申上ノ旨申付

傳來書札... 幸得... 中
布... 十

...

十月...

...

...

...

...

...

...

十八日

一 例刻出仕音日以後候同機也

一 町身探 有目録に廣式書寫

一 上ノ探 音日以後儀用入

一 町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

一 町身探

町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

町身探 有目録に

卷一

山字通
二番组
组月付
组月付
组月付

井上米支

山字通
二番组
组月付
组月付

小方敬之通

山字通
二番组
组月付
组月付
组月付

河野重泰

山字通
二番组
组月付
组月付
组月付

野津祖之北

山字通
二番组
组月付
组月付
组月付

国部清彦

山字通
二番组
组月付
组月付
组月付

山字通

武香組
組長
番員月老連通

西山同部

武香組
組長
世勇士地勇士
山部山部
山部山部
山部山部

極松尾武部
山田房房
長健勇文

武香組
組長
山部山部
山部山部

山井康也

武香組
組長
山部山部
山部山部

青木英彦

武香組
組長
山部山部
山部山部

村山英女

武香組
組長
山部山部
山部山部

山部山部
山部山部

武香組
組長
山部山部
山部山部

山部山部
山部山部

組員
長原友

組員
長原友

組員
長原友

坂本 艾蓮
清水 六郎
高橋 隆幸
大石 清南
小林 又壽
石塚 忠幸

組員
長原友

組員
長原友

津田 丹次

組員
長原友

組員
長原友

堀 部 結 史

組員
長原友

組員
長原友

組員
長原友

組員
長原友

組員
長原友

11

河内赤松次

長谷川吉次

小川吉次

河内吉次

池田吉次

長谷川吉次

同

北条吉次

平北吉次

西山岡吉次

五田吉次

山内吉次

長谷川吉次

大友吉次

三橋吉次

須藤吉次

鈴木吉次

大石吉次

小林吉次

長谷川吉次

小川吉次

河内吉次

池田吉次

長谷川吉次

池田吉次

西山岡吉次

池田吉次

長谷川吉次

大友吉次

三橋吉次

須藤吉次

鈴木吉次

大石吉次

小林吉次

青木喜久

村山英成

篤如
羅重
紀自
七信

篤如
羅重
七信

右軍處
他亦
信

羅重
七信

麻生
信

右軍處
信

一
信

信

陳田
丹次

信

一
信

信

曹長年
昔年住此
娘之州德會

蔡泉松云

石敢通經子如海

今晚法取角自角

仙石光光

山劫定所出席

他四時之節如海之緣西云

口用書

一 石敢通經子如海

一 石敢通經子如海

口用

一 石敢通經子如海

一 石敢通經子如海

口用

一 石敢通經子如海

口用

一 石敢通經子如海

口用

一 石敢通經子如海

口用

一 石敢通經子如海

口用

口用

換抄均免定以自叙

四代友
車和定
口取

右口用入 已之云出有乃換抄

音源書 莊多如土約言 寺師 寺事 寺錄

口云云云

十六日

休日

河三言 河日 昔後 河日 換抄 河日

河秋 法那 河內 言 河日 換抄

河馳

十七日

一 例刻出止界内戶名同以概理
一 所更補同以概理戶名同以概理

大醫院棟

三月七日

香島海原直

所以香

仙香光元

本令取知後商入
阿陸

一 凡在通江自有法

一 凡在通江自有法

一 凡在通江自有法

一 凡在通江自有法

武拾及

拾及

江侍分

小役

右 凡在通江自有法

右 凡在通江自有法

一三六

十一

新行

口口口

相公之子也... 西...

叙母松系伯者...

丹後...

淡村反月

娘古... 皆...

湘...

未...

早川...

所...

山...

一...

月...

角...

你...

全...

...

一...

...

一 凡通世後及於今 念之必彰 而由出時以
後 亦建 所德之方也

足之實

私慶年來未善

所慶恩美加也 德有以合 幸而法所變也
病氣在社 甚之厚 痛刺法 甚仍不都 未歲
之股刺 殊也 咸有 子 智也 善 廣 及
沖 故 先 效 中 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
此 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆
作 出 之 實 實 實 實 實 實 實 實 實 實 實 實

神張 沖 善 德 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
若 三 次 沖 善 德 德 德 德 德 德 德 德
在 善 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德
為 善 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德

辛亥年

德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德

竹村書

備所紀

一 本所用 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德
冒 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

十日

一 体日

一 所立者因以概通例也

一 今使以羊献自以收受之纸也例是

并矣附之若也

十日

一 体日

一 所立者因以概通例也

一 今使以羊献自以收受之纸也例是

并矣附之若也

一 所立者因以概通例也

廿日

一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理

一 四時

一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理

一

一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理

一

一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理

權理

一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理

一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理
一 例刻出仕只地戶名何口權理

右月人共

一 左之通法用紙卷成之

買原
根

買原
金

買原
金

右田忠彦

依久間山

右田映之

水井深

股記

山地劫

鑄日

加後

竹村

上

河

平

松

真

濱

美

一

一

一

西川八十里

長河合宜

西川八十里

西川高洪

西川須臾

華洋行

增田信

張慶

西川

大足

的田

美

的田

君侯門才

思君侯之

厚

作

一

山員
金華

的田公

右支校... 應... 產... 歲...
思... 變... 官... 局...

一 左... 你... 行... 處...

山... 員... 局...
山... 員... 局...
山... 員... 局...

竹村

一 左... 山... 院... 處...

山... 員... 局...
山... 員... 局...
山... 員... 局...

一 柳... 處...
二 文... 所...
三 波... 處...
四 山... 處...
五 長... 處...

一 冒入

山
香
香
香

一 在 色 江 你 付 方 四 冒 对 香 后

不 好 有 光

村山英成	西山周吉卿	长恩市香	周初林藏	永井花柳	工友秋桂	重田隆保	文系 肇	工友 敬	河 彩 外	弓 别 原 史	昌 初 原 前	青 木 幸 惠	小山尚次郎	村山英成
------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	---------	---------	---------	-------	------

東坡國場出產
作身之德之國海
以陽而物之萬物
乃名五物在

是亦百甫
法并生之
系 年七

布之也 作身之德之國海

絕後遺棄之者
能書之公之德
所能之也

西山書之
并之半也

長和安之德

策之志在

官原陳之德
行聖教之助

有以公之德之國海
尚又何也之德之國海
和同之德之國海
作身之德

故有
法身

法身

法身

右津軍利是文... 津... 津...

一 原由... 津...

久細村

田井... 田...

友森村

普... 田...

知...

开... 田...

福...

竹... 田...

廿一日

一 一 行 休 日
二 日 梅 花 同 心 同 德 同 濟 同 安

廿一日

一 一 行 休 日
二 日 梅 花 同 心 同 德 同 濟 同 安

廿四日

一 例刻在法小约产之同由操理

一 真林在因之正房者

内以香

仙石晃元

实相沈林

目形自

一 友通 友通 友通 友通 友通

一 友通 友通 友通 友通 友通

缘侯益

西山 升之本

万言

朕蒙新

若丹

以冲

法

道

友通

一 在通官府中

進之引候美之、以物令多、中
當時諸也、稱外、之價言、一統、不、乃
敬派、厚、以
沖心、加、尺、通、官、府、藏、下、中、事、

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日之百

山中老

日暮

小校人

日暮

同山

日暮

小校人

日暮

山是物

日暮

山是物

日暮

同山

日暮

山中

日暮

山中

日暮

同山

石

三月廿四日

余竹

石

石

谷

性

冲

上

冲国身信法心通

冲国身信法心通

一 用入道

百道冲国身信法心通

冲国身信法心通

一 根入道百入道

冲国身信法心通

冲国身信法心通

一 根入道百入道

一 友道冲国身信法心通

冲国身信法心通

冲国身信法心通

一 根入道百入道

冲国身信法心通

吾人理得

茲以會荒
金

出中國出款

助方是也

出款
同
儀七

高執舟出

出中國款
付運五

荒的會
去人
半方

有同
前助

外把

有專
任

一
在通

積善院

以

宋

丹波何麻

天社醫局所自領者
積田新造極道足配所
生野浪山天社醫局

池口中華

高田莊託同口足配所領者
竹田町天社醫局所領者
修業在秋作有皆運而高仕方分願書
在河越更天社

病積氣在社所領者

河原庄依春生仁難在

太田清美

其分於天社所領者
相設中河原庄天社所領者

於此表者願者

松平天和後天社

廣瀬泰藏

因同社所領者
天社醫局所領者
那在河原庄

一 左之延方天社

河原庄依春生

天社醫局所領者

伴 舞

如法各法

冲用之候方明者

胃出往候

周首意

一 左之候在口出候以...

冲用之候方明者

胃出之候方明者

如法各法

小川...

一 左之候在口出候以...

冲用之候方明者

胃出之候方明者

如法各法

浅温...

冲用之候方明者

胃出之候方明者

稻地廣門

右當月二日...

...

...

...

後序

二七

後序
二七
後序

後序

江 石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

小川海金

收節

石長城之石通 竹青華

收節

石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

一 石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

石長城之石通 竹青華

一月全

深地

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

前子景

山景樓

有因の有り用致登出沙汰上道

木目人

右有行沙小書院

所目見込 俾有以用書抄寫

所意有以用書抄寫合仕事

木目人

右所目見込 俾有報之有因致登出

沙汰上道

一 四用入生

夫物難也

四真
四後有處

四劫定方

高格定方

四善有目有
四徒士目有

四家可

指家可身之合格

右有報之有因致

因友之有

小坂人車牌
郭方

友川市平

日券
格儀或持物
若衣穿或持物
筆一

守东小

海
作付名中後以紙後

用入

抄書言

清原一郎

有
作付名中後以紙後

狀白

一 麻上平志原公半時教於此口紀戶

一 歲言少教儀同少校

一 所真祿上右月以正廣為書

一 上祿上歲言少教儀同少校

一 同少校

少小姓

少小姓

一 次 所經同少校

一 所員是歲言少教儀同少校

一 作中

一 少書院

一 所出少校

一 所員是少校

一 目前少校

一 至居 所通

一 所員是少校

一 大書院

一 所員是少校

右之... (vertical text)

目録

水川... (vertical text)

右之... (vertical text)

此... (vertical text)

右之... (vertical text)

目録

田中... (vertical text)

右之... (vertical text)

右之... (vertical text)

目録

田中... (vertical text)

右之... (vertical text)

此... (vertical text)

右之... (vertical text)

目録

此... (vertical text)

田中... (vertical text)

田中... (vertical text)

此多无正位知
致し左候
思召依之
以同承之務也
敬下

石之通

你必方中候之知法候中候也

口用人 蓮

法向止拂抄原中蓮節別蓮
街聴

念藏

同中電知

文吉

中法蓮以

利吉

大法松林

高平

中山結衣

又吉

和田藤吉郎

原美

了得原平助

新吉

法日友以

原美

原 集

法吉

和田重助

又吉

刻侍蓮以

法吉

全茂事係

丑年大秋覺

一 九千言說後事也言

後事也

丑年正月十日

日

二 言後事也言

後事也

定句

三 言後事也言

不付

四 言後事也言

後事也

去不付

一 九言也言也言也

言也言也

言

六 言也言也言也

言也言也

言也言也

一 言也言也言也言也

言也言也言也言也言也言也

言也言也言也言也言也言也

言也言也言也言也

中國書局

一 早二月四日

大國府

實東部代續進之在陳下

仲月日共先法為上列若島陳

本付甲北有在陳日 以月四日或

實東部外支部出在並助儀

實東部古領分新有而之善事

一 延清方一

一 校月日

一 逢日

一 逢日

一 逢日

有延清方一

一 逢日

一 逢日

十月

大國府

因月法

不直日

一 仰以 小人之心 小人之心

一 心平气和 心平气和 心平气和 心平气和

一 尚武 小人之心 小人之心

一 小人之心 小人之心 小人之心 小人之心

一 侧用人 小人之心

一 小人之心 小人之心 小人之心 小人之心

一 活他心 小人之心

一 活他心 小人之心 小人之心 小人之心

一 活他心 小人之心

一 使女 小人之心

一 活他心 小人之心 小人之心 小人之心

卜文 何三汝等五人

軍師 姚吉洪

少高廷芳 小德芳

董族芳 董德芳

制 何吉

何乃五人 具呈 何乃五人 何乃

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

何乃五人 何乃五人

一 西天路... 心... 文

一 西天路... 心... 文

次... 心... 文

有... 心... 文

廿九日

一 体日

一 河二方指 冲国首后河上

一 涉羊纸有涉纸纸纸纸纸纸纸

一 卷附

一 袁光院板

一 涉总日

一 卷

一 月光院板

一 荒木教也

一 右今羽劫原

一 冲能 冲意

一 涉

一 涉门

一 一

一 今

一 涉

一 涉